

評価日		2017年6月1日			V	′er. II 2016
評価者						
	_{所偶} 氏名	東京 次郎				
	ЦЦ					
検証日		2017年8月1日				
検証者	会社名等					
評価、 検検 業指地事 事主敷階基 金 「 「 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	所属					
	氏名	日本 花子				
		100001			評価No.	
					町Ⅲ110.	
		東京環境工業株式会社 代表取締役社長 東京 太郎				
事業所の)名称	東京環境工業 東京工場				
主たる用	途	工 場	-			
		<u>100,000</u> m ² 延床面積又は事業所の床面積 100,000		棟数	20	棟
			年4月			2
基準排出	量		t-CO2/年		kg-CO2/m MJ/㎡·年	ī·年
		前年度一次エネルキー消費量実績 450,000	GJ/ 平	4,500	MJ∕ m. ±	
途別床面	面積	※ 床面積は各用途の共用部分を含 を各用途の面積比で按分したもの				
用	途名	含まれる用途	/		床面積 [㎡]	, 床面積 比率
		事務室、会議室、図書室、研究室 等			6,500	6.5%
	房	食堂、レストラン、喫茶店、厨房等			300	0.3%
電算室 エ場・プラント(空調) エ場・プラント(換気) 冷凍・冷蔵庫		電算室、サーバー室、コンピューター室、CPU室、マシン室 等			200	0.2%
		工場、プラント、実験室、試験室等のうち、大半に空調設備のある		30,000	30.0%	
	工場、プラント、実験室、試験室 等のうち、大半が換気設備で空調設備がない建	キーセンター 等	60,000	60.0%		
工場・プラント(換気) 冷凍・冷蔵庫 特殊空調室		冷凍庫、冷蔵庫、冷凍冷蔵倉庫 等	18 44		0.000	0.0%
特殊空調	室	冷凍庫、冷蔵庫、冷凍冷蔵倉庫 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー	-ド 等		3,000 100,000	3.0% 100.0%
<u>特殊空調</u> 合	<u>『室</u> · 計 -消費先 比	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー ・ エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。	計量設備に		100,000 実績値がある	100.0% る場合は、
特殊空調 合 ネルギー ^{エネルギージ}	<u>『室</u> · 計 -消費先 比	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー メエネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。		より把握した 総括表 [GJ/年]	100,000	100.0%
特殊空調 合 ネルギー ^{エネルギージ}]室 ·計 - 消費先比 消費先区分 細目	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー ・ エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。	計量設備に、	総括表	100,000 実績値がある 採用値	100.0% る場合は、
特殊空調 合 ネルギー ^{エネルギージ}]室 ·計 - 消費先比 消費先区分 細目	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー と本 ※ エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等	計量設備に、 実測値 [GJ/年]	総括表 [GJ/年]	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年]	<u>100.0%</u> 3場合は、 採用値
特殊空調 合 ネルギー ^{エネルギージ}	室 ·計 · 消費先上 消費先区分 細目 蒸気供給	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー * エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971	100.0% 5場合は、 採用値 <u>6.0%</u>
特殊空調 合 ネルギー ^{エネルギーシ} 区分	雪室 計 消費先と 消費先区分 報気、 一 一 業熟、 二 計 の 一 計 の 計 の 一 計 の 一 計 の 一 計 の 一 計 の の の の	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー ※エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971	100.0% 5場合は、 採用値 <u>6.0%</u> 23.3%
特殊空調 合 ネルギー ^{エネルギージ}	<u>諸</u>	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー * エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670	100,000 実績値がある [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3%
特殊空調 合 ネルギー エネルギーシ 区分	<u>国室</u> 計 消費先区目 無気熱 却搬ジン変電	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー * エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション等 変圧器、蓄電池等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592	100,000 実績値がある [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 3.1%
特殊空調 合 ネルギー エネルギーシ 区分 ユーティ リティ設	<u>室</u> 計 消費 先 日 統 型 般 二 一 業 数 の か 制 で 計 で 計 で 計 で 計 の で 計 の で 計 の で 計 の で 計 の で う の の の の の の の の の の の の の の の の の	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー メエネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660	100,000 実績値がある [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660	100.0% 5場合は、 5場合は、 5. 3.3% 0.8% 3.3% 0.8% 3.1% 0.6%
特殊空調 合 ネルギー エネルギーシ 区分 ユーティ リティ設	室 計 着費 た 目 蒸 熱 力 搬 ジ 変 空 計 で 計 費 先 日 台 源 塔 二 計 で 計 の う う う う う う う う う う う う う う う う う う	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザークリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー ※エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582	100,000 実績値がある [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582	100.0% 5場合は、 5場合は、 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.6%
特殊空調 合 ネルギー エネルギーシ 区分 ユーティ リティ設	室 計 消費、細気、熱小酸・一受縮排 る。 注入の目給、 「一、一、一、 「一、」 「一、」 「一、」 「一、」 「一、」 「」 」 「」	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザークリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー * エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7%
特殊空調 合 ネルギー エネルギーシ 区分 ユーティ リティ設	室 計 消費、細気、熱小酸、一受縮 結給水湯 型 圧給給水湯理	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザークリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー ※エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372	100.0% 5場合は、 5場合は、 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.6%
特殊空調 合 ネルギー エネルギーシ 区分 ユーティ リティ設	<u>達</u> 計 消費 た よ 消費 た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザークリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー * エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444	100.0% 5場合は、 5場合は、 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4%
特殊空調 合 ネルギー エネルギーシ ス ーティ 設 備等	<u>国室</u> 計 消費 た 国 供 源 考 統 へ 熟 一 受 縮 排 の の 数 一 の で 数 の 合 熟 一 の 変 の 定 新 の た の の の 数 の の の の の の の の の の の の の の	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー * ※エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 	100,000 実績値がある [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9%
特殊空調 ネルギー エネルギー エネル イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	<u>室</u> 計 費 た 二 一 一 費 先 二 気 細 気 熱 冷 熱 一 受 縮 給 裕 水 湯 型 た 二 気 細 気 熱 冷 熱 一 受 縮 給 れ 次 変 昭 振 の 冷 熱 一 受 縮 名 水 の 空 記 二 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー * ※エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給泳ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 	100,000 実績値がある [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4%
特殊空調 合 ネルギー エネルギーシ ス ーティ 設 備等	<u>室</u> 計 着費、細気、熱 冷熱受縮給 部 が空 服 が 変空水湯 型空調 気 明 気 明 気 明 気 明 気 細 気 熱 穴 熱 一 受 縮 給 れ 水 の 空 計 の で 約 の 一 の の の の の の の の の の の の の の の の の	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザークリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー ※エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給水ポンプ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874	100.0% 5場合は、 5場合は、 5場合は、 0.8% 0.8% 0.8% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8%
特殊空調 ネルギー エネルギー エネル イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	室計 消費、細気、熱冷熱一受症給給水%般般照昇ン 日供源塔送ェ電気水湯理空調気明機ン	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザークリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー ※ エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給水ポンプ 等 給水ポンプ 等 給水ポラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0%
特殊空調 ネルギー エネルギー エネル イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	室 計 着 費、細気熱冷熱一受縮給給水%般般照昇ン厨 た。目供源塔送ェ電気水湯理空調気明機と房	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー 米エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給水ポンプ 等 給水ポンプ 等 給水ポラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用空調機、厨房用ファン 等 	計量設備に 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 0.0%
特殊空調 ネルギー エネルギー エネル イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	室 計 着 た 気 熱 穴 熱 一 受 縮 給 給 水 沙 空 勝 先 紙 気 熱 冷 熱 一 受 縮 給 給 水 沙 空 版 男 ン 岡 料 の の 約 の う 数 一 の 変 縮 約 の う 数 一 の 変 縮 約 の う 数 一 の 変 約 の の の の の の の の の の の の の の の の の	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー 米本ルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機 等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 3335 6,223 231 31,016	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 0.0% 5.1%
特殊空調 ネルギー エネルギー エネル イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	室 計 着 た 気 熱 穴 熱 一 受 縮 給 給 水 沙 空 勝 た 、 気 熱 冷 熱 一 受 縮 給 給 水 沙 空 、 か 熟 一 受 縮 給 給 水 沙 空 版 殿 、 の へ 熟 一 一 受 縮 約 、 の 熟 一 の 変 縮 約 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー (米本ルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト等 オフィス機器、家電 等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、 厨房用泉、厨房用パッケージ形空調機、 素気加熱装置、蒸し器、冷却装置等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 118,643	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 0.0% 5.1% 1.0%
特殊空記 エネル エネル エネル イレ エネル イン イン ディン ティン 建設 建設 単設	室計消費、細気熱心愛医診察、動物で、「「「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー 米 エネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用ファン 等 工業炉、乾燥炉、焼き機 等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置 等 成形機、ミキサー、コンベア、ポンプ、ファン、ブロワ 等 	計量設備に 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.3.%
特殊空記 エマン 本レン エネル エネル エネル ティ等 全 建設 産 アイン ア	室 計 着 た 気 熱 へ 熱 一 受 症 給 給 水 沙 空 勝 換 照 昇ン 厨 料 教 、 熱 一 受 症 給 給 水 水 の 空 上 、 の 、 熱 一 受 症 給 給 れ 、 の 、 空 加 版 、 の 、 之 の 、 の 空 加 版 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー (米本ルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水酸、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水酸、温水ボイラー等 冷水プンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション等 変圧器、蓄電池等 エアコンプレッサー等 給水ポンプ等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器等 排水処理設備、ブロワ等 パッケージ形空調機等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット等 給排気ファン等 照明器具等 エレベーター、ダムウェーター、リフト等 オフィス機器、家電等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用ファン等 工業炉、乾燥炉、焼き機等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置等 成形機、ミキサー、コンペア、ポンプ、ファン、ブロワ等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 118,643	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 0.0% 5.1% 1.0%
特 ユリ 林 エネル 区 ーテ備 建設 産ント ア・	室 計 消費、 素 熱 一受症給給水小シ空 調気明機と房焼用の加気 がシッショ調気明機と房焼用の加気 のシッシュ で た の の の の の の の の の の の の の の の の の の	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー (採用値の欄に数値を記入してもよい。) 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水酸、温水ボイラー等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション等 変圧器、蓄電池等 エアコンプレッサー等 給水ポンプ等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器等 排水処理設備、ブロワ等 パッケージ形空調機等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット等 給排気ファン等 照明器具等 エレベーター、ダムウェーター、リフト等 オフィス機器、家電等 厨房器具、厨房用バッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用ファン等 工業炉、乾燥炉、焼き機等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置等 成形機、ミキサー、コンベア、ポンプ、ファン、ブロワ等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用バッケージ形空調機等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 118,643	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 23.6% 3.8%
特 ユリ 株 エネル レ ホン レ ホン ナ ティ等 20 シス株: ア・2 ア・2 ア・3 ア・2 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・4 ア・3 ア・4 ア・3 ア・3 ア・3 ア・4 ア・3 ア・4 ア・4 ア・4 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・5 ア・5 ア・5 <td>室 計 着 た 気 の た る 見 供源 塔送 本 電 気 水 湯 型 王 治 費 先 細 気 熱 冷熱 一 受 症 給 給 水 沙空 降 セ の 料 利 の 微 動 気 物 般 三 受 縮 給 約 水 の 空 縮 給 約 水 の 空 縮 約 の の 空 術 約 の の の の の の の の の の の の の の の の の の</td> <td>クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー (米本ルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水酸、温水ボイラー等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション等 変圧器、蓄電池等 エアコンプレッサー等 給水ポンプ等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器等 排水処理設備、ブロワ等 パッケージ形空調機等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット等 給排気ファン等 照明器具等 エレベーター、ダムウェーター、リフト等 オフィス機器、家電等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用ファン等 工業炉、乾燥炉、焼き機等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置等 成形機、ミキサー、コンペア、ポンプ、ファン、ブロワ等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機等 グリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用空調機等</td> <td>計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 118,643</td> <td>総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514</td> <td>100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514</td> <td>100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.3.%</td>	室 計 着 た 気 の た る 見 供源 塔送 本 電 気 水 湯 型 王 治 費 先 細 気 熱 冷熱 一 受 症 給 給 水 沙空 降 セ の 料 利 の 微 動 気 物 般 三 受 縮 給 約 水 の 空 縮 給 約 水 の 空 縮 約 の の 空 術 約 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー (米本ルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水酸、温水ボイラー等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション等 変圧器、蓄電池等 エアコンプレッサー等 給水ポンプ等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器等 排水処理設備、ブロワ等 パッケージ形空調機等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット等 給排気ファン等 照明器具等 エレベーター、ダムウェーター、リフト等 オフィス機器、家電等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用ファン等 工業炉、乾燥炉、焼き機等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置等 成形機、ミキサー、コンペア、ポンプ、ファン、ブロワ等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機等 グリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用空調機等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 118,643	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.3.%
特 ユリ 林 エネル 区 ーテ備 建設 産ント ア・	室 計 消費、蒸熱、冷熱ー受圧給給水・小空 、 が、 た。 気気、却搬ジ変空排。 線・か空・ 、 日供源塔送ェ電気水湯理2回機、 アン・ の料利カカルシ空・ 、 の、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー 米 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用クァン 等 工業炉、乾燥炉、焼き機 等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置 等 成形機、ミキサー、コンベア、ポンプ、ファン、ブロワ 等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用パッケージ形空調機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用空調機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用空調機 等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 118,643	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 0.6% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 23.6% 3.8% 7.9%
特 ユリ 株 エネル レ ホン レ ホン ナ ティ等 20 シス株: ア・2 ア・2 ア・3 ア・2 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・4 ア・3 ア・4 ア・3 ア・3 ア・3 ア・4 ア・3 ア・4 ア・4 ア・4 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・5 ア・5 ア・5 <td>室 計 消費、蒸熱冷熱一受圧給給水小型 降セ 関料利力の加少空 ・ 排 の た 組 気 熟 冷熱一受症給給水小空 降 セ 関料利力の加少空 ・ 排 の た 細 気 熟 の へ 熟 一 受縮給 給水 小空 勝 路 の 空 ・ 勝 の 、 か空 ・ 部 の の 、 の の 字 ・ 二 の に の の う の の の の の の の の の の の の の の の</td> <td>クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー (採用値の欄に数値を記入してもよい。) 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用空調機、厨房用ファン 等 工業炉、乾燥炉、焼き機 等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置 等 成形機、ミキサー、コンベア、ポンプ、ファン、ブロワ 等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用パッケージ形空調機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用空調機 等 冷凍庫、冷蔵庫 等 脱臭装置、VOC処理装置、スクラバー 等</td> <td>計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 118,643</td> <td>総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200</td> <td>100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200</td> <td>100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 3.1% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.3.6% 3.8% 7.9% 4.2%</td>	室 計 消費、蒸熱冷熱一受圧給給水小型 降セ 関料利力の加少空 ・ 排 の た 組 気 熟 冷熱一受症給給水小空 降 セ 関料利力の加少空 ・ 排 の た 細 気 熟 の へ 熟 一 受縮給 給水 小空 勝 路 の 空 ・ 勝 の 、 か空 ・ 部 の の 、 の の 字 ・ 二 の に の の う の の の の の の の の の の の の の の の	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー (採用値の欄に数値を記入してもよい。) 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用空調機、厨房用ファン 等 工業炉、乾燥炉、焼き機 等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置 等 成形機、ミキサー、コンベア、ポンプ、ファン、ブロワ 等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用パッケージ形空調機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用空調機 等 冷凍庫、冷蔵庫 等 脱臭装置、VOC処理装置、スクラバー 等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 118,643	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 3.1% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.3.6% 3.8% 7.9% 4.2%
特 ユリ 株 エネル レ ホン レ ホン ナ ティ等 20 シス株: ア・2 ア・2 ア・3 ア・2 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・4 ア・3 ア・4 ア・3 ア・3 ア・3 ア・4 ア・3 ア・4 ア・4 ア・4 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・5 ア・5 ア・5 <td>室計 消費、蒸熱冷熱一受圧給給水%%%、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、</td> <td> クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、パイオハザー アネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 諸水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用ファン 等 工業炉、乾燥炉、焼き機 等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置 等 成形機、ミキサー、コンベア、ポンプ、ファン、ブロワ 等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用で調機 等 冷凍庫、冷蔵庫 等 脱臭装置、VOC処理装置、スクラパー 等 純水供給設備、RO装置 等 </td> <td>計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 </td> <td>総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200 10,004</td> <td>100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200 10,004</td> <td>100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.1% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.3.6% 3.8% 7.9% 4.2% 1.7%</td>	室計 消費、蒸熱冷熱一受圧給給水%%%、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、パイオハザー アネルギー使用量総括表での把握が難しいものについて、 採用値の欄に数値を記入してもよい。 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ 等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 諸水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用ファン 等 工業炉、乾燥炉、焼き機 等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置 等 成形機、ミキサー、コンベア、ポンプ、ファン、ブロワ 等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用で調機 等 冷凍庫、冷蔵庫 等 脱臭装置、VOC処理装置、スクラパー 等 純水供給設備、RO装置 等 	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200 10,004	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200 10,004	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.1% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.3.6% 3.8% 7.9% 4.2% 1.7%
特 ユリ 株 エネル レ ホン レ ホン ナ ティ等 20 シス株: ア・2 ア・2 ア・3 ア・2 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・3 ア・4 ア・3 ア・4 ア・3 ア・3 ア・3 ア・4 ア・3 ア・4 ア・4 ア・4 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・4 ア・5 ア・5 ア・5 ア・5 <td>室計 消費、蒸熱冷熱一受圧給給水%%%、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、</td> <td>クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー (採用値の欄に数値を記入してもよい。) 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用空調機、厨房用ファン 等 工業炉、乾燥炉、焼き機 等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置 等 成形機、ミキサー、コンベア、ポンプ、ファン、ブロワ 等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用パッケージ形空調機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用空調機 等 冷凍庫、冷蔵庫 等 脱臭装置、VOC処理装置、スクラバー 等</td> <td>計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 </td> <td>総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200</td> <td>100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200</td> <td>100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 3.1% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.3.6% 3.8% 7.9% 4.2%</td>	室計 消費、蒸熱冷熱一受圧給給水%%%、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室、バイオハザー (採用値の欄に数値を記入してもよい。) 主なエネルギー消費機器等 蒸気ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等 冷凍機、冷温水機、温水ボイラー 等 冷却塔 空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等 コージェネレーション 等 変圧器、蓄電池 等 エアコンプレッサー 等 給水ポンプ 等 給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器 等 排水処理設備、ブロワ 等 パッケージ形空調機 等 一般空調用空調機、ファンコイルユニット 等 給排気ファン 等 照明器具 等 エレベーター、ダムウェーター、リフト 等 オフィス機器、家電 等 厨房器具、厨房用パッケージ形空調機、厨房用空調機、厨房用空調機、厨房用ファン 等 工業炉、乾燥炉、焼き機 等 蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置 等 成形機、ミキサー、コンベア、ポンプ、ファン、ブロワ 等 誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用パッケージ形空調機 等 クリーンルーム、恒温恒湿室、変温室、動物実験室用空調機 等 冷凍庫、冷蔵庫 等 脱臭装置、VOC処理装置、スクラバー 等	計量設備に、 実測値 [GJ/年] 36,488 118,643 	総括表 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 40 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200	100,000 実績値がある 採用値 [GJ/年] 36,488 140,971 4,578 19,670 18,592 3,660 3,582 4,444 2,372 11,481 8,666 16,874 40,279 335 6,223 231 31,016 5,859 142,514 22,775 47,856 25,200	100.0% 5場合は、 採用値 6.0% 23.3% 0.8% 3.3% 3.1% 0.6% 0.7% 0.4% 1.9% 1.4% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.8% 6.7% 0.1% 1.0% 2.3.6% 3.8% 7.9% 4.2%

エネルギー使用量総括表

				エネルギ	一使用量				
No.	管理区分	設備・機器	燃料	電気	熱	合 計	エネルギー	エネルギー	調書
		種類·容量·台数等	[GJ/年]	[MWh/年]	[GJ/年]	[GJ/年]	使用割合	消費先区分	
			127,186	35,237	-	-	-		
			99,912	49,528	16,307	599,607	100.0%		
1	第1工場	機械加工設備		4,967		48,480	8.1%	電動力応用	0
	第1工場	乾燥炉 蒸気			3,378	3,378	0.6%	熱利用	0
3	第1工場	電気炉		676		6,593	1.1%	電気加熱	0
4	第1工場	パッケージ形空調機		556		5,424	0.9%	一般パッケージ空調	0
5	第1工場	給排気ファン		1,526		14,892	2.5%	換 気	0
6	第1工場	照明器具		2,484		24,240	4.0%	照明	0
7	第1工場	オフィス機器		248		2,424	0.4%	コンセント	
8									
9	第2工場	塗装前処理工程 蒸気			2,481	2,481	0.4%	熱利用	0
10	第2工場	塗装前処理工程		532		5,189	0.9%	電動力応用	0
11	第2工場	電着塗装ライン		1,329		12,973	2.2%	電気加熱	0
12	第2工場	塗装乾燥炉 ガス	31,016			31,016	5.2%	燃料燃焼	0
13	第2工場	塗装乾燥炉 通風装置他	1	1,152		11,244	1.9%	電動力応用	0
14	第2工場	塗装ブース		4,431		43,245	7.2%	電動力応用	0
15	第2工場	空気熱源ヒートポンプユニット 10台		996		9,721	1.6%	熱源	0
16	第2工場	空調用ポンプ		139		1,356	0.2%	熱搬送	0
17	第2工場	塗装ブース用空調機		1,772	8,862	26,160	4.4%	特殊空調機	0
18	第3工場	塗装用排気ファン		532		5,189	0.9%	電動力応用	0
19	第3工場	蓄熱燃焼式脱臭装置	25,200			25,200	4.2%	特殊排気	0
20	第2工場	一般空調用空調機		725	1,586	8,666	1.4%	一般空調機	0
21	第2工場	照明器具		1,242		12,120	2.0%	照明	0
22	第2工場	オフィス機器		124		1,212	0.2%	コンセント	
23									
24	第3工場	クリーンルーム用空調機		2,223		21,696	3.6%	特殊空調機	0
25	第3工場	生産装置		2,988		29,167	4.9%	電動力応用	0
26	第3工場	生産装置 電気炉		329		3,208	0.5%	電気加熱	0
27	第3工場	照明器具		124		1,212	0.2%	照明	0
28	第3工場	オフィス機器		12		121	0.0%	コンセント	
29									
30	ユーティリティ	貫流ボイラー 2t/h×5台	36,000	50		36,488	6.1%	蒸気供給	0
31	ユーティリティ	直焚吸収冷温水機 450RT×3台	7,659			7,659	1.3%	熱源	0
32	ユーティリティ	ターボ冷凍機 450RT×1台		12,663		123,591	20.6%	熱 源	0
33	ユーティリティ	冷却塔		469		4,578	0.8%	冷却塔	0
34	ユーティリティ	空調用ポンプ		1,876		18,314	3.1%	熱搬送	0
35	ユーティリティ	ガスエンジンコージェネ 400kW×2台						コージェネ	0
36	ユーティリティ	受変電設備ロス		1,905		18,592	3.1%	受変電	0
37	ユーティリティ	エアコンプレッサー 5台		375		3,660		圧縮空気	0
38	ユーティリティ	給水ポンプ		367		3,582	0.6%	給排水	0
39	ユーティリティ	排水処理施設		243		2,372		排水処理	0
40	ユーティリティ	純水供給装置		1,025		10,004		純水供給	0
41	ユーティリティ	給排気ファン		118		1,152	0.2%	換 気	0
42									
	事務棟他	パッケージ形空調機	1	621		6,057		一般パッケージ空調	0
	事務棟他	給排気ファン	1	85		831		換 気	0
	事務棟他	照明器具		277		2,707	0.5%	照明	0
	事務棟他	パソコン・OA機器	1	253		2,466		コンセント	
	事務棟他	電気給湯器		4		40		給湯	0
	事務棟他	エレベーター		34		335		昇降機	0
	事務棟他	厨房機器·厨房用空調·換気	37	20		231		厨房	
50	事務棟他	フォークリフト		35		342	0.1%	輸 送	0

少様ない(慶区17月に2月の19月の)には、17月に2月の「第二区分事業所)

地球温暖化対策推進状況評価結果一覧表(第二区分事業所)

※評価分類の欄の◎印は必須項目、〇印は一般項目、+印は加点項目を示す。

、不合格の要件の欄の×印は、トップレベル事業所の必須要件を満足しない場合を示す。

		. <u> </u>		※計画分類の欄の◎印は必須項目、O印は 不合格の要件の欄の×印は、トップレベル		必須要件			示す。
	評価項目の区分	評価 分類	No.	評価項目	不合格 要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集計
I 1.	CO2削減推進体制の整備	O	1.1	CO2削減推進会議等の設置及び開催		1	0.400	0.400	0.940
		O	1.2	PDCA管理サイクルの実施体制の整備		0.8	0.300	0.240	+0.000
		0	1.3	ISO14001の取得		1	0.150	0.150	
		0	1.4	CO2削減に関するQCサークル活動、改善提案制度の導入		1	0.150	0.150	
		+	1.5	エネルギー管理優良工場、省エネ大賞等の表彰		0	0.160	0.000	
2.	図面、管理標準等の整備	O	2.1	図面・改修履歴等の整備		1	0.300	0.300	1.000
		O	2.2	設備台帳等の整備		1	0.300	0.300	+0.000
		O	2.3	管理標準等の整備		1	0.400	0.400	
3.	主要設備等に関する計測・計量	O	3.1	エネルギー管理システムの導入		1	0.750	0.750	2.700
	及び記録	O	3.2	電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・計量設備の導入		1	0.300	0.300	+0.000
		O	3.3	エネルギー消費先別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入		0.8	0.600	0.480	
		O	3.4	系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入		0.7	0.600	0.420	
		O	3.5	管理日報・月報・年報の作成		1	0.150	0.150	
		0	3.6	ユーティリティ設備の分析に必要な計測・計量設備の導入		1	0.600	0.600	
4.	エネルギー消費量・CO2排出量	O	4.1	生産工程・処理工程のエネルギー管理		1	0.225	0.225	4.410
	の管理	O	4.2	エネルギー消費特性の把握、エネルギー消費原単位の算出及び管理		1	0.450	0.450	+0.000
		O	4.3	CO2排出量の管理		1	0.225	0.225	
		O	4.4	CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案及び実績の集約・評価の実施		1	1.125	1.125	
		O	4.5	CO2削減対策の啓発活動の実施		1	0.450	0.450	
		0	4.6	改善策の立案・実施及び効果検証の実施		1	1.575	1.575	
		0	4.7	ユーティリティ設備の運転解析の実施		0.8	0.450	0.360	
		+	4.8	従業員等への環境・エネルギー情報提供システムの導入		0	0.360	0.000	
5.	保守・点検の管理	0	5.1	保守・点検計画の策定及び実施		1	0.500	0.500	0.500
I 1	a. 蒸気供給設備	0	1a.1	高効率蒸気ボイラーの導入		1	2.671	2.671	5.107
殳 ユ		O	1a.2	蒸気ボイラーのエコノマイザー又はエアヒーターの導入		-	-	-	+1.449
× ユ 帯		O	1a.3	蒸気弁・フランジ部の断熱		1	0.312	0.312	
2 テ		O	1a.4	蒸気ドレンタンクの断熱		1	0.016	0.016	
バ ィ 圭 リ		O	1a.5	蒸気ボイラーの台数制御の導入		1	0.921	0.921	
± り 勿 テ		0	1a.6	蒸気ドレン回収設備の導入		1	0.500	0.500	
D イ		0	1a.7	蒸気ドレンのクローズド回収方式の導入		1	0.578	0.578	
生設		0	1a.8	蒸気ボイラーの小型分散システムの導入		1	0.109	0.109	
能 備 こ 等		+	1a.9	省エネ型スチームトラップの導入		0.8	0.250	0.200	
剧の		+	1a.10	蒸気ボイラーの押込送風機インバータ制御の導入		1	0.012	0.012	
ま 省		+	1a.11	不要蒸気配管の撤去・蒸気配管ルート・サイズの変更		1	0.500	0.500	
5 エ 軍 ネ		+	1a.12	圧力差タービンの導入		0	0.100	0.000	
夏ル	,	+	1a.13	フラッシュ蒸気利用設備の導入		0	0.737	0.000	
ギ		+	1a.14	蒸気減圧エネルギー動力回収設備の導入		0	0.112	0.000	
性		+	1a.15	アキュムレーターの導入		1	0.737	0.737	
能		+	1a.16	負荷に適した容量のバーナーへの変更		0	0.737	0.000	
[1	b. 熱源·熱搬送設備、冷却設備	0	1b.1	高効率熱源機器の導入		0.803	17.016	13.664	15.640
		0	1b.2	水搬送経路の密閉化		1	0.505	0.505	+2.46
と ユ 青 丨		0		熱源の台数制御の導入		1	0.905	0.905	
2 テ	•	0	1b.4	冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御の導入		0	0.294	0.000	
い くうし		0	1b.5	熱源2次ポンプ変流量制御の導入		1	0.352	0.352	
リテ		0	1b.6	熱源2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプの導入		1	0.215	0.215	
) 1		+	1b.7	高効率冷却塔の導入		0.56	0.762	0.427	
設		+		高効率熱源ポンプの導入		0.8	0.647	0.517	
2 備 1 等		+		大温度差送水システムの導入		0.8	1.617	1.293	
		+		熱源機器出口設定温度の遠方制御の導入		0	0.290	0.000	
- 省		+	1b.11			0	0.458	0.000	
) エ エ ネ		+		冷却水ポンプ変流量制御の導入		0	0.773	0.000	
* ^ [ル		+		熱源2次ポンプの末端差圧制御の導入		0	0.102	0.000	
1		+		熱交換器の断熱		0.5	0.338	0.169	
<u>ايد</u>		+		蓄熱システムの導入		0.5	2.414	0.000	
性能		+		電流システムの等入 冷却塔ファンインバータ制御の導入		0	0.024	0.000	
HE	·	+		フリークーリングシステムの導入		0	1.448	0.000	
		+		クリークーランクシステムの導入 冷却水ろ過冷却リサイクルシステムの導入		1	0.061	0.000	
								0.001	
		+		冷却水ON/OFF制御システムの導入		0	0.046		
		+		中温冷水利用システムの導入		0	0.965	0.000	
		+		統合熱源制御システムの導入		0	1.931	0.000	
1	1	+	10.22	熱源2次ポンプの送水圧力設定制御の導入		0	0.078	0.000	

	評価項目の区分	評価 分類	No.	評価項目	不合格要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集計
1	c. コージェネレーション設備	+	1c.1	高効率コージェネレーションの導入		0.859	0.000	0.000	+0.0
ב	d. 受変電設備、配電設備	0	1d.1	高効率変圧器の導入		1	1.592	1.592	3.78
1		O		カ率改善制御システムの導入		1	1.592	1.592	+0.6
ティ		0		デマンド制御システムの導入		1	0.597	0.597	-
, 'n		+		低圧動力回路への力率改善コンデンサの導入		0	0.955	0.000	
テ		+		400V配電方式の導入 (4.4.4.4.5.5.1.6.4.4.4.5.5.1.6.4.4.5.5.1.6.4.4.5.5.1.6.4.4.5.5.1.6.4.4.5.5.1.6.4.4.5.5.1.6.4.5.5.1.6.4.5.5.1.6		1	0.637	0.637	-
イ設		+		低負荷変圧器の統合		0	0.637	0.000	-
備	ī	+		変圧器の台数制御の導入		0	0.637	0.000	-
等 の		+++		大型変圧器の冷却設備制御の導入 高効率UPSの導入		0	0.477	0.000	
省		+ 0		高効率UPSの導入 高効率エアコンプレッサーの導入		0.215	0.051	0.000	0.10
Т		0		局効率エアコンフレッサーの等入 エアコンプレッサーの台数制御の導入		0.215	0.392	0.004	+0.0
ネル		0		コンプレッサー室への換気設備の導入		1	0.016	0.000	+0.0
ギ		+		ニンクレクリック 主、の換入設備の等入 圧縮空気配管のループ配管化		0	0.010	0.000	-
		+		エアコンプレッサーの分散化		1	0.013	0.050	
性		+		上がコンクレフラーの方散に 圧縮空気配管の高圧ライン/低圧ラインの系統分割		0	0.107	0.000	
HC		+		ブースター方式の導入		0	0.107	0.000	
		+		吸気冷却システムの導入		0	0.050	0.000	
		+		コンプレッサーの排熱回収システムの導入		0	0.025	0.000	
		+		パージ制御装置の導入		0	0.088	0.000	
		+		エアコンプレッサー排熱の局所排気システムの導入		1	0.025	0.025	
		+		フィルタの低圧損化		0	0.013	0.000	
		+		高効率ドライヤーの導入		0	0.013	0.000	
	f. 給排水•給湯設備、排水処理	0		高効率給水ポンプの導入		1	0.153	0.153	0.1
	設備	+	1f.2	排水処理用の高効率ポンプ・ブロワの導入		0.64	0.081	0.052	+0.1
		+	1f.3	排水再利用システム等の導入		1	0.070	0.070	
		+	1f.4	微細気泡散気管の導入		0	0.081	0.000	
		+	1f.5	ばっ気用ブロワの変風量制御の導入		0	0.041	0.000	
		+	1f.6	ばっ気用ブロワの溶存酸素濃度制御の導入		0	0.041	0.000	
		+	1f.7	高効率給湯ヒートポンプユニットの導入		0	0.444	0.000	
2	a. 空調 · 換気設備	O	2a.1	高効率パッケージ形空調機の導入		0.69	1.474	1.017	1.08
. 建		0	2a.2	電気室・エレベーター機械室の温度制御の導入		1	0.072	0.072	+1.0
築設		+	2a.3	高効率空調機の導入		0.195	1.006	0.196	
設		+	2a.4	高効率空調・換気用ファンの導入		0.4	0.693	0.277	
備の		+	2a.5	ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入		1	0.002	0.002	
省		+	2a.6	空調機の変風量システムの導入		0.5	0.243	0.122	
エ		+	2a.7	空調機の気化式加湿器の導入		1	0.001	0.001	
ネル		+	2a.8	外気冷房システムの導入		1	0.003	0.003	
ギ		+	2a.9	局所冷暖房設備の導入		0	0.030	0.000	
-		+	2a.10	CO2濃度による外気量制御の導入		0	0.005	0.000	
住能		+	2a.11	ファンコイルユニットの比例制御の導入		0	0.016	0.000	
		+		空調の最適起動制御の導入		0	0.001	0.000	
		+		全熱交換器の導入		0	0.005	0.000	-
		+		大温度差送風空調システムの導入		0	0.047	0.000	-
		+		放射冷暖房空調システムの導入		0	0.151	0.000	
		+		置換換気システムの導入		1	0.462	0.462	-
		+		空調機の間欠運転制御の導入		0	0.095	0.000	-
		+		高効率厨房換気システムの導入		0	0.008	0.000	-
		+		厨房外調機・ファンの風量モード切換制御の導入		0	0.003	0.000	-
		+		人感センサーによる換気制御の導入		0	0.092	0.000	-
		+		デシカント空調システムの導入		0	0.011	0.000	-
		+++		ファンのインバータによる手動調整の導入 気流感創出ファン・サーキュレーションファンの導入		0	0.058	0.000	
		_⊤ ⊚		京加窓創山ファフ・リーイュレーフョンファンの導入 高効率照明器具の導入		1		3.241	4.4
	b. 照明設備	0		高刻準照明語具の導入高輝度型誘導灯・蓄光型誘導灯の導入		1	3.241 0.310	0.310	4.4
		0		高輝度空誘導灯・畜元空誘導灯の導入 照明のゾーニング制御の導入		1	0.310	0.310	⁺ ∪.t
		0		照明のソーーンソ前御の導入 照明の人感センサーによる在室検知制御の導入		0	0.862	0.862	-
		+		照明の人感センサーによる仕室検知制御の導入 照明の局所制御の導入		0.8	0.517	0.000	-
		+		照明の初期照度補正制御の導入		1	0.552	0.441	-
				照明の初期照度補正制御の導入 照明の昼光利用照明制御の導入				0.043	-
		+++				1 0.5	0.029		-
		++		照明のタイムスケジュール制御の導入		0.5	0.345	0.172	-
				タスク&アンビエント照明システムの導入 昭明の明ろさ感知による自動占減制御の道入		0	0.103	0.000	-
1		+++		照明の明るさ感知による自動点滅制御の導入 照明のセキュリティー連動制御の導入			0.055		-
				1999年117~11~11~11年期前(11)~ /	1	0	i U.UU2	0.000	1

	評価項目の区分	評価 分類	No.	評価項目	不合格 要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集計
I 2	c. 衛生設備	0		大便器の節水器具の導入		0.8	0.337	0.270	0.270
· 殳 建	2	+	2c.2	省エネ型便座又は洗浄便座のスケジュール制御の導入		1	0.368	0.368	+0.52
튂 築	5	+	2c.3	洗面器の自動水栓の導入		1	0.037	0.037	
を 設 ド 備		+	2c.4	女子便所への擬音装置の導入		1	0.123	0.123	
ド 備 圭 の		+	2c.5	自然冷媒ヒートポンプ給湯器の導入		0	0.254	0.000	
5 3		+	2c.6	潜熱回収給湯器の導入		0	0.152	0.000	
) I		0	2d.1	エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式の導入		1	0.072	0.072	0.08
生 ネ 皆 ル		0	2d.2	エレベーターの群管理制御の導入		1	0.014	0.014	+0.0
こ ギ		0	2d.3	エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時停止制御の導入		0.8	0.003	0.002	
目		+	2d.4	エレベーターの電力回生制御の導入		0.5	0.013	0.006	
t 性 5 能		0	2e.1	グリーン購入法適合商品のオフィス機器の導入		1	1.034	1.034	1.55
5 能 [4]	5	0	2e.2	省エネ型自動販売機又は自動販売機のスケジュール制御の導入		1	0.517	0.517	+0.0
F 頁		+	2e.3	高効率厨房機器の導入		0	0.012	0.000	
3	a. 建物外皮	+		高性能な建物外皮の導入		0.8	0.152	0.121	+0.1
		+		隙間風対策の導入		1	0.055	0.055	
建		+		ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入		0	0.027	0.000	
物 の		+		屋上緑化の導入		0	0.027	0.000	
省						-			
I		+		壁面緑化の導入		0	0.021	0.000	
ネ		+		遮熱塗料塗布・遮熱フィルムの導入		0	0.021	0.000	
ルギ	»	+		屋根への遮熱塗装の導入		0	0.011	0.000	
Ĩ	- b. 自然エネルギーの利用	+	3b.1	自然採光を利用したシステムの導入		0	0.552	0.000	+0.0
性	E	+	3b.2	自然通風を利用したシステムの導入		0	0.228	0.000	
能	ŝ	+	3b.3	太陽熱を利用したシステムの導入		0	0.007	0.000	
		+	3b.4	年間を通して安定した地中温度を利用したシステムの導入		0	0.014	0.000	
4.軍	写生可能エネルギー・未利用エネルギー	+	4.1	再生可能エネルギー・未利用エネルギーシステムの導入		1	1.448	1.448	+1.4
I 1	a. 蒸気供給設備	Ô	1a.1	蒸気ボイラーの空気比の管理		1	0.596	0.596	1.7
		O	1a.2	蒸気ボイラーの設定圧力の適正化		1	0.209	0.209	+0.0
〕 計 日		O	1a.3	部分負荷時の蒸気ボイラー運転の適正化		-	-	-	
ッ テ		O	1a.4	非使用エリアの蒸気供給バルブの閉止		1	0.298	0.298	
ドイ		0	1a.5	非使用時間帯の蒸気ボイラーの停止		1	0.298	0.298	
事 リ ミ テ		0		蒸気ボイラーの給水水質・ブロー量の管理		1	0.209	0.209	
R) 斤 イ		Õ		蒸気配管の保温の確認		1	0.149	0.149	
) 設		0		蒸気ボイラーの起動時間の適正化		0	0.894	0.000	
■ 備		+		スチームトラップの効果検証の実施		0	0.238	0.000	
月 等 こ の		0				1			6.0
目運		-		燃焼機器の空気比の管理			2.303	2.303	6.24
ト 用	3	0		冷凍機の冷却水温度設定値の調整		1	1.843	1.843	+3.1
5 管		0		冷温水管等の保温の確認		1	0.576	0.576	
事理	2	0		インバータ制御系統のバルブの開度調整		1	0.370	0.370	-
~		0		熱源不要期間の熱源機器等停止		1	1.152	1.152	
		0	1b.6	空調停止時の熱源運転時間の短縮		0	4.607	0.000	
		0	1b.7	熱源機器の冷温水出口温度設定値の調整		0	1.728	0.000	
		+	1b.8	部分負荷時の熱源運転の適正化		1	2.764	2.764	
		+	1b.9	部分負荷時の熱源ポンプ運転の適正化		1	0.358	0.358	
		+	1b.10	蓄熱槽の管理		0	1.935	0.000	
		+	1b.11	ミキシングロス防止のためのバルブ開度の確認		0	0.461	0.000	
		+	1b.12	空調開始時の熱源起動時間の適正化		0	0.921	0.000	
	c. コージェネレーション設備	0	1c.1	コージェネレーションの運転の適正化		1	0.000	0.000	0.0
	d. 受変電設備、配電設備	0	1d.1	不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断		1	0.759	0.759	1.5
		0	1d.2	変圧器タップ切換による電圧の最適化		1	0.759	0.759	+0.0
		+	1d.3	昼間運転設備の夜間移行		0	0.486	0.000	
	e. 圧縮空気供給設備	0		非使用エリアの圧縮空気供給バルブの閉止		1	0.090	0.090	0.3
		0		非使用時間帯のエアコンプレッサーの停止		1	0.075	0.075	+0.0
		0		部分負荷時のエアコンプレッサー運転の適正化	1	1	0.090	0.090	
		0		エアコンプレッサーの設定圧力の適正化		1	0.048	0.030	1
			-					0.048	-
		0		エアコンプレッサー吸入空気温度の管理		1	0.060		-
		+		ドライエアの設定露点温度の緩和		0	0.012	0.000	<u> </u>
	f. 給排水·給湯設備、排水処理	0		給水・給湯バルブの調整		1	0.146	0.146	0.14
	設備	+		給水圧力の管理		0	0.187	0.000	+0.1
		+		揚水ポンプのバルブの開度調整		1	0.117	0.117	
		+	1f.4	貯湯温度設定の緩和		0	0.145	0.000	
		+	1f.5	給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止		0	0.145	0.000	
1	1	+	14.6	ばっ気設備の必要ばっ気圧力に応じた空気供給圧力の管理	1	0	0.026	0.000	1

	評価項目の区分	評価 分類	No.	評価項目	不合格 要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集計
2	a. 蒸気供給設備	0	2a.1	蒸気ボイラーの点検・清掃		1	0.089	0.089	0.298
_		O	2a.2	蒸気配管・バルブ・スチームトラップからの漏れ点検		1	0.179	0.179	+0.00
그		0	2a.3	蒸気制御バルブ等の作動チェック		1	0.030	0.030	
テ		+	2a.4	蒸気ボイラーのメーカーによる遠隔監視		0	0.024	0.000	1
イリ	b. 熱源·熱搬送設備、冷却設備	0	2b.1	熱源機器の点検・清掃		1	0.576	0.576	0.92
ーテ		0	2b.2	熱交換器の清掃		1	0.115	0.115	+0.0
イ		0	2b.3	熱源用制御機器の点検及び制御バルブ等の作動チェック		1	0.230	0.230	
設備		0	2b.4	冷却水の適正な水質管理及び冷却塔の充填材の清掃		1	0.007	0.007	
備等		+	2b.5	熱源機器のメーカーによる遠隔監視		0	0.092	0.000	
Ø	oc. コージェネレーション設備	0	2c.1	コージェネレーション設備の定期的な点検		1	0.000	0.000	0.00
保守	e. 圧縮空気供給設備	0	2e.1	圧縮空気配管・バルブからの漏れ点検		1	0.003	0.003	0.00
可管		O	2e.2	エアコンプレッサー吸込みフィルターの清掃		1	0.003	0.003	+0.00
理		0	2e.3	インタークーラーの清掃		0	0.003	0.000	
3	a. 空調 · 換気設備	0	3a.1	居室の室内温度の適正化		1	0.007	0.007	1.28
. 建		0	3a.2	室使用開始時の空調起動時間の適正化		1	0.006	0.006	+0.3
连 築		0	3a.3	換気ファンの間欠運転の実施		0.8	0.689	0.551]
設		0	3a.4	クールビズ・ウォームビズの実施		1	0.379	0.379]
備の		0	3a.5	エレベーター機械室・電気室の室内設定温度の適正化		1	0.345	0.345	
運		+	3a.6	CO2濃度・外気温湿度による外気取入量の調整		0	0.006	0.000	
用		+	3a.7	居室以外の室内温度の緩和		0	0.002	0.000	
管理		+	3a.8	エレベーター機械室・電気室の換気ファンの夏季停止		1	0.342	0.342	
14		+	3a.9	エレベーター機械室・電気室の空調機の給気・還気設定温度の適正化		0	0.099	0.000	
		+	3a.10	ファンのプーリーダウンの実施		0	0.165	0.000	
		+	3a.11	パッケージ形空調機の省エネチューニングの実施		0	0.375	0.000	
	b. 照明設備	Ô	3b.1	事務室以外の照度条件の緩和		0.8	1.975	1.580	2.43
		0	3b.2	照明のタイムスケジュールによる消灯		1	0.823	0.823	+0.0
		0	3b.3	事務室の室内照度の適正化		1	0.030	0.030	
		+	3b.4	事務室の照度条件の緩和		1	0.039	0.039	
		+	3b.5	時間外等の照明点灯エリアの集約化		0	0.263	0.000	
	c. 衛生設備	+	3c.1	洗浄便座暖房の夏季停止		1	0.468	0.468	+0.9
		+	3c.2	給湯温度設定の緩和		1	0.145	0.145	
		+	3c.3	貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止		1	0.145	0.145	
		+		便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮		0.8	0.290	0.232	
	d. 昇降機設備	+		夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減		0	0.002	0.000	+0.0
	e その他	0		空調空間と非空調空間の境にある出入口の開閉の管理		1	0.082	0.082	0.08
		+		自動販売機の照明の消灯		1	0.041	0.041	+0.0
4	a. 空調 · 換気設備	0		空調機・ファンコイルユニット等のフィルターの清浄		1	0.046	0.046	0.20
建		0		センサー類の精度チェック及び制御ダンパ等の作動チェック		1	0.092	0.092	+0.0
築		0		空調機・ファンコイルユニット等のコイルフィンの清浄		1	0.046	0.046	
設備		0		パッケージ屋外機のフィンコイル洗浄		1	0.009	0.009	
の		0		ファンベルトの張力調整		1	0.014	0.014	-
保		+		省エネファンベルトへの交換		0	0.298	0.000	
守管		0		照明器具の清掃		0	0.033	0.000	0.00
理		+		照明用制御設備の作動チェック		1	0.026	0.026	+0.0
1		+	4b.3	ランプ交換時の初期照度補正リセットの実施		0	0.026	0.000	1

	評価項目の区分	評価 分類	No.	評価項目	不合格 要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集言
5	a.燃料の燃焼	Ø	5a.1	燃料の供給量・空気比を調整できるバーナー等の導入		0.8	0.319	0.255	1.32
生生		0	5a.2	通風量・燃焼室内の圧力を調整できる通風装置の導入		0.8	1.294	1.035	+0.0
産		0	5a.3	通風装置のインバータ制御の導入		0.8	0.046	0.037	
ープ		+	5a.4	工業炉のリジェネレイティブバーナーの導入		0	1.338	0.000	
		+	5a.5	工業炉のリジェネレーターの導入		0	0.531	0.000	
レン	b.加熱及び冷却並びに伝熱	0	5b.1	加熱・冷却制御システムの導入		0.8	0.237	0.189	0.18
+		+	5b.2	塗装ブースの3WET塗装システムの導入		0	0.379	0.000	+0.0
特	c.廃熱回収	0	5c.1	排ガスの廃熱回収設備の導入		0.2	0.664	0.133	0.13
殊	d.断熱•保温	0		燃焼設備・熱利用設備への二重扉の導入		0	0.221	0.000	0.4
設備		0	5d.2	燃焼設備・熱利用設備への空気流等による遮断設備の導入		1	0.221	0.221	+0.
備の		0		工業炉の炉壁外面温度による断熱強化		1	0.239	0.239	
省	1	+		燃焼設備・熱利用設備炉体開口部の縮小・密閉		1	0.177	0.177	
L L		+	5d.5	既存の燃焼設備・熱利用設備の断熱強化		0	0.051	0.000	
ネル		O	5e.1	生産プロセスにおける電動機の台数制御の導入		0.5	1.830	0.915	7.8
ギ		O		中・大容量モータ冷却ファンのモータ連動制御の導入		1	0.671	0.671	+0.2
1		0	5e.3	エアブロー機器への省エネ型エアノズルの導入		0.5	0.031	0.016	
性能		0	5e.4	生産プロセスにおける電動機の回転数制御の導入		0.5	12.200	6.100	
		0		電気溶接機のインバータ制御の導入		0.8	0.166	0.133	
		0	5e.6	油圧・空圧駆動成型機の電動化		0.5	0.000	0.000	
		0		高効率クレーンの導入		0.088	0.027	0.002	
		+	5e.8	生産プロセスにおける高効率ポンプの導入		0.16	0.049	0.008	
		+	5e.9	生産プロセスにおける高効率ブロワ・ファンの導入		0.3	0.220	0.066	
		+	5e.10	油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化		1	0.195	0.195	
		+	5e.11	空圧駆動アクチュエータの低圧化		0	0.050	0.000	
		+	5e.12	ブローエ程におけるエアコンプレッサーのブロワ化		0	0.053	0.000	
		+	5e.13	高効率コンベアの導入		0	0.244	0.000	
		+	5e.14	ブローエ程の縮小		0	0.006	0.000	
		+	5e.15	ブロワのインレットベーン制御の導入		0	0.264	0.000	
		+		ブロワの動力伝達装置による減速の導入		0	0.073	0.000	
		+	5e.17	塗料循環システムにおける油圧・空圧ポンプの電動ポンプ化		0	0.683	0.000	
		+	5e.18	塗料循環システムのフローコントロールシステムの導入		0	0.683	0.000	
	f.特殊空調設備	0		クリーンルームのローカルリターン方式の導入		-	-	-	1.1
		0	5f.2	省エネ型ファンフィルタユニットの導入		1	0.410	0.410	+0.9
		0	5f.3	ファンフィルタユニットの台数制御の導入		-	-	-	
		0	5f.4	半導体プロセス等における局所クリーン化の導入		1	0.266	0.266	
		0		クリーンルーム空調機のインバータ制御の導入		1	0.512	0.512	
		0		恒温恒湿室の部分層流方式の導入		-	-	-	
		0	5f.7	恒温恒湿室の再熱負荷の軽減手法の導入		-	-	-	
		0	5f.8	冷媒ホットガスレヒート除湿システムの導入		-	-	-	
		0	5f.9	高効率冷凍・冷蔵設備の導入		0.696	0.000	0.000	
		+		クリーンルームの顕熱処理用ドライコイルの導入	_	1	0.819	0.819	
		+		クリーンルームの局所冷却システムの導入	_	0	0.164	0.000	
		+		クリーンルームの陽圧排気の一般室利用		1	0.164	0.164	
		+		省エネ型クリーンルーム空調コントローラの導入	_	0	0.492	0.000	
		+		クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入		0	0.492	0.000	
		+		恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入		0	1.311	0.000	
		+		動物実験施設への空気熱交換器の導入		0	1.311	0.000	
		+		換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入		0	1.966	0.000	
		+		少排気量ドラフトチャンバーの導入		0	1.311	0.000	
		+		ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導入		0	0.082	0.000	
		+		空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムの導入		0	0.492	0.000	
		+		塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入		0	1.393	0.000	
		+		塗装ブース排気リサイクルシステムの導入		0	2.622	0.000	
	4.5.7.1.8.6.7.7.1.1.	+		冷凍車プラットホームへの冷房設備の導入		0	0.000	0.000	
	g.特殊排気設備	0	-	高効率脱臭装置の導入		1	1.898	1.898	2.2
		0		生産設備と脱臭装置の連動制御の導入	_	1	0.324	0.324	+0.
		+	-	直燃式脱臭装置の廃熱回収ボイラー・エコノマイザーの導入		0	1.035	0.000	
		+	-	直燃式脱臭装置の精留副生液の混合燃焼システムの導入	_	0	1.182	0.000	
		+	5g.5	直燃式脱臭装置の待機時温度低下制御の導入		0	0.009	0.000	
	1	+	5 ~ 6	スクラバーの廃熱回収システムの導入	1	0	0.431	0.000	1

	評価項目の区分	評価 分類	No.	評価項目	不合格 要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集計
Ⅱル5 ギ・	1.吨小 庆和政 脯	0	5h.1	純水ポンプのインバータ制御の導入		0	0.681	0.000	0.39
2 │ 生 借 性 産		0	5h.2	超低圧RO膜の導入		1	0.368	0.368	+0.00
■能・ と ラ		0	5h.3	高効率UV酸化装置の導入		1	0.030	0.030	
び う 建 ン	7	+	5h.4	純水ROブライン回収装置の導入		0	0.411	0.000	
勿 ト		+	5h.5	純水冷却循環システムの導入		0	0.003	0.000	
か 生 特	÷	+	5h.6	廃熱利用による蒸留式純水製造装置の導入		0	0.134	0.000	
能認	* i. 場内輸送設備	0	5i.1	高効率フォークリフトの導入		-	-	-	0.00
こ 備 切		0	5i.2	低燃費車の導入		-	-	-	+0.0
す 省る エ	- -	0	5i.3	高効率トランスファークレーンの導入		-	-	-]
事れ	、 j.追加評価事項	+	5j.1			0	0.000	0.000	+0.0
5	a.燃料の燃焼	0	5a.1	燃焼設備の空気比の管理		1	0.405	0.405	0.53
. Li		0	5a.2	燃焼設備の運転台数の調整		1	0.127	0.127	+0.0
生		0	5a.3			-	-	-	
•		0		燃焼設備の空運転時間の短縮		0	0.127	0.000	
「プ	b.加熱及び冷却並びに伝熱	0		熱媒体の温度・圧力・量の管理		1	0.151	0.151	0.5
5	B.MIRROUTIAN TO TO TAR	0		非使用時の蒸気供給バルブの閉止		1	0.024	0.024	+0.0
レト						1		0.301	10.0
		0		被加熱物・被冷却物の装てん方法の調整 「広内被加熱物の温度管理			0.301		-
特		0		炉内被加熱物の温度管理		0.5	0.151	0.075	-
殊		+		ヒートパターンの改善		1	0.048	0.048	
設備		+		工程間の待ち時間の短縮		1	0.024	0.024	
の運		+		複数の加熱等を行う設備の負荷の集約化		0	0.121	0.000	
運		+		断続的な運転を行う設備の運転の集約化		0	0.121	0.000	
用		+	5b.9	炉内ガス循環の改善		0	0.121	0.000	
管理		0		排ガスの廃熱回収率の管理		1	0.127	0.127	0.12
	d.断熱•保温	O	5d.1	燃焼設備・熱利用設備の開閉回数・開閉時間・開口面積の管理		0.5	0.151	0.075	0.0
	e.電動力応用設備·電気加熱設備	O	5e.1	非使用時の電気使用設備の停止		0.5	0.901	0.450	0.8
		0	5e.2	電気炉における被加熱物の装てん方法の調整		1	0.186	0.186	+0.0
		0	5e.3	電気炉における炉内被加熱物の温度管理		1	0.093	0.093	1
		0	5e.4	エアブローの適正化		1	0.090	0.090	
		+	5e.5	生産プロセスにおけるポンプ・ブロワ・ファンの間欠運転の実施		0.2	0.162	0.032	1
		+	5e.6	電気炉におけるヒートパターンの改善		1	0.030	0.030	
		+		電気炉における工程間の待ち時間の短縮		1	0.015	0.015	
		+		電解設備の電解効率の改善		0	0.149	0.000	
		+		電気加熱設備のタップ切替・ON/OFFの実施		0	0.223	0.000	-
		0		クリーンルームの清浄度の適正化		1	0.195	0.195	0.70
	1.行死上前改调					1			-
		0		非使用時の特殊空調室の低風量運転の実施		-	0.508	0.508	+0.0
		0+		冷凍・冷蔵設備冷却器の除霜(デフロスト)の実施					
				特殊空調室の温度・湿度設定の緩和		0	0.626	0.000	-
		+		特殊空調室の運転時間の短縮		0	0.313	0.000	
		+		特殊空調室の温度・湿度PID制御の調整		0	0.313	0.000	-
		+		気流シミュレーションによるクリーンルームの気流改善		0	0.313	0.000	
	g. 特殊排気設備	0	-	特殊排気設備の排気量の適正化		1	0.968	0.968	0.90
		0	-	非使用時の特殊排気設備の低風量運転の実施		0	1.585	0.000	+0.0
	h.純水供給設備	0	5h.1	純水原水加温設定温度の適正化		0	0.327	0.000	0.08
		0	5h.2	RO装置等の運転台数の適正化		1	0.082	0.082	+0.0
		+	5h.3	UVランプ・UV酸化器の間引き・停止		0	0.150	0.000	
		+	5h.4	製品洗浄待ち時間中のスタンバイブロー低減の実施		0	0.405	0.000	
		+	5h.5	RO装置回収率の適正化		0	0.190	0.000	
	i 場内輸送設備	+	5i.1	燃費の管理		0	0.002	0.000	+0.0
守6	ⁱ a.燃料の燃焼	0	6a.1	燃焼設備の定期的な保守・点検		1	0.025	0.025	0.02
E .	Eb.加熱及び冷却並びに伝熱の管理	-		熱交換器等の定期的な付着物の除去	1	1	0.030	0.030	0.03
」」		0		廃熱回収設備の定期的な保守・点検	1	1	0.025	0.025	0.0
;	/ d.断熱•保温	0		燃焼設備・熱利用設備の定期的な保守・点検	+	1	0.020	0.020	0.0
	7	0		配管の定期的な保守・点検	+	1	0.030	0.030	+0.0
		-					0.030	0.030	+0.0
		0		燃料・製品貯蔵設備の定期的な保守・点検	+	-			0.01
幣		-		電動力応用設備・電気加熱設備の定期的な保守・点検	+	1	0.135	0.135	0.2
討	#	0		生産プロセスにおけるブロワ・ファンのフィルターの清掃		1	0.116	0.116	+0.0
1)# Ø		0	6f.1	特殊空調設備の定期的な保守・点検		1	0.039	0.039	0.03
1	R	0	6f 2	冷凍・冷蔵庫の保温管理	1	_	L _	L _	+0.0

		評価項目の区分	評価 分類	No.	評価項目	不合格 要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集計
Π	5	a.共通	O	5a.1	高効率上水道ポンプの導入		-	-	-	0.000
设.	上		Ø	5a.2	上水道ポンプの台数制御の導入		-	-	-	+0.00
は 前 二	水		0	5a.3	上水道ポンプの回転数制御の導入		-	-	-	
及	道		0	5a.4	高効率ブロワ・ファンの導入		-	-	-]
び : 建 :	施設		+	5a.5	上水道ポンプの翼角制御の導入		-	-	-]
	の		+	5a.6	上水道ポンプのインペラの改良		-	-	-]
		b.取水 · 導水工程	0	5b.1	除じん機の上下流の水位差によるON-OFF制御の導入		-	-	-	0.00
	エネ		+	5b.2	場内雨水利用の導入		-	-	-	+0.00
	ホル	c.沈殿・ろ過工程	0	5c.1	かくはん装置の回転数制御の導入		-	-	-	0.00
	ギ		0	5c.2	かくはん装置の低速モータの導入		-	-	-	+0.00
する	Ⅰ 性		+	5c.3	自然平衡形ろ過池の導入		-	-	-	
	能	d.高度浄水工程	0	5d.1	オソンブロワのインバータ制御の導入		-	-	-	0.00
頁		e.排水処理工程	+	5e.1	天日乾燥と脱水機併用の汚泥脱水システムの導入		-	-	-	+0.00
			+	5e.2	排熱利用による濃縮汚泥加温システムの導入		-	-	-	
Π	5	a.共通	O	5a.1	水量・水圧の適正化		-	-	-	0.00
设	Ė		O	5a.2	上水道ポンプ台数制御の適正化		-	-	-	+0.00
	水	b.取水 · 導水工程	0	5b.1	除じん機の運転時間・運転間隔の適正化		-	-	-	0.00
び言	道	c.沈殿・ろ過工程	0	5c.1	汚泥かき寄せ機の運転時間・運転間隔の適正化		-	-	-	0.00
業 1	施設		0	5c.2	汚泥排出装置の運転時間・運転間隔の適正化		-	-	-	+0.00
<i>か</i>	の		0	5c.3	ろ過逆洗・空洗の頻度の適正化		-	-	-	
	運	d.高度浄水工程	0	5d.1	膜ろ過の膜洗浄の頻度・時間の適正化		-	-	-	0.00
= ;	用 管		0	5d.2	オゾン注入量の調整		-	-	-	+0.00
関 .	理	e.排水処理工程	0	5e.1	汚泥濃縮設備の運転時間・運転間隔の適正化		-	-	-	0.000
3			0	5e.2	汚泥脱水設備の運転時間・運転間隔の適正化		-	-	-	+0.00
事員	于 6 奎 .	a.共通	O	6a.1	上水道施設の定期的な保守・点検		-	-	-	0.00
	里保		0	6a.2	ブロワ・ファン等の吸気フィルターの清掃		-	-	-	+0.00

		評価項目の区分	評価 分類	No.	評価項目	不合格 要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集計
I	5	a.前処理工程	0	5a.1			-	-	-	0.000
	-		0		高効率主ポンプの導入		-	-	-	+0.00
	下 水		0		主ポンプの回転数制御の導入		-	-	-	
	ぶ道		0		スクリーン・揚砂設備の間欠制御の導入		-	-	-	
۶.	施		+		流入水量による池数制御の導入		-	-	-	
	設 の	b.水処理工程	0		ばっ気用ブロワの台数制御の導入		-	-	-	0.00
	省		0	5b.2	ばっ気用ブロワの回転数制御・インレットベーン制御の導入		-	-	-	+0.0
	エ		O	5b.3	微細気泡散気装置の導入		-	-	-	
	ネル		O		返送汚泥ポンプの台数制御の導入		-	-	-	
	ギ		0	5b.5	高効率返送汚泥ポンプの導入		-	-	-	
+			0	5b.6	汚泥かき寄せ機の間欠制御の導入		-	-	-	
	性能		0	5b.7	汚泥引き抜きポンプの間欠制御の導入		-	-	-	
頁	HE		0	5b.8	返送汚泥ポンプの回転数制御の導入		-	-	-	
			0		ばっ気用ブロワの送風量制御の導入		-	-	-	
			0		水中かくはん機の回転数制御の導入		-	-	-	
			0	5b.11	水中かくはん機の間欠制御の導入		-	-	-	
			0	5b.12	ブロワ管への超音波流量計の導入		-	-	-	
			0	5b.13	余剰汚泥ポンプの間欠制御の導入		-	-	-	
					軽量チェーン汚泥かき寄せ機の導入		-	-	-	
			0	5b.15	高効率ばっ気用ブロワの導入		-	-	-	
			+	5b.16	スチームタービン駆動ブロワの導入		-	-	-	
			+		硝化液循環ポンプの台数制御の導入		-	-	-	
			+		硝化液循環ポンプの回転数制御の導入		-	-	-	
	ŀ	c.汚泥処理工程	0				-	-	-	0.00
			0		高効率汚泥輸送ポンプの導入		-	-	-	+0.0
			0		汚泥輸送ポンプの回転数制御の導入		-	-	-	
			0		高効率汚泥脱水装置の導入		-	-	-	
			+		高性能フィルターの導入		-	-	-	
	ŀ	d.汚泥焼却工程	0		汚泥焼却炉等の流動ブロワ・誘引ファンの回転数制御の導入		-	-	-	0.00
			0		汚泥焼却炉等の炉壁外面温度による断熱強化		-	-	-	+0.0
			+				-	-	-	
			+		汚泥焼却炉等の廃熱蒸気による暖房利用システムの導入		-	-	-	
Π	5	a.前処理工程	0		主ポンプの高水位運転の実施		-	-	-	0.00
	.	b.水処理工程	0		必要ばっ気圧力に応じた空気供給圧力の管理		-	-	-	0.00
	下 水		0		ろ過装置洗浄工程の適正化		-	-	-	+0.0
	が道		0		脱臭空気量の低減の実施		-	_	-	-
۶.	施		+		スカム除去設備のスカム捕捉効率の管理		-	-	-	
	設 の	c.汚泥処理工程	0		消化タンクの投入汚泥濃度管理・温度管理		_	-	-	0.00
~	運		0		脱水汚泥の低含水率化の実施		-	-	-	+0.0
D	用	d.汚泥焼却工程	0		汚泥焼却炉等の燃料と空気量の適正化		-	-	-	0.00
	管理	· • ***********************************	0		汚泥焼却炉等の負荷率の適正化		-	_	-	+0.0
	エ		0		汚泥焼却炉等の熱媒体(砂)の温度・量の管理		-	-	-	
Į			+		汚泥焼却炉等の連続運転の実施		-	_	-	1
5			+		汚泥焼却炉等の自燃時間拡大の実施		-	_	-	
	守 6 管 .	e.共通	©	6e.1			-	-	-	0.00
頁見	官 . 理保		0		ばっ気用ブロワ・ファン等の吸気フィルターの清掃		_	-	-	+0.0

		評価項目の区分	評価 分類	No.	評価項目	不合格要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集計
Π	5	a.前処理工程	0	5a.1	高効率ごみクレーン等の導入		-	-	-	0.000
設	. 廃		0	5a.2	高効率ごみ投入扉システムの導入		-	-	-	+0.000
協備	棄		0	5a.3	高効率脱臭ファンの導入		-	-	-	
及	物		+	5a.4	乾燥機の廃熱利用システムの導入		-	-	-	
び 建	処理		+	5a.5	乾燥機の高効率バーナーの導入		-	-	-	
<u></u> 姪物	地施		+	5a.6	乾燥機の高効率自動乾燥制御装置の導入		-	-	-	
Ø	設	b.熱処理工程	Ø	5b.1	焼却炉等の自動燃焼装置の導入		-	-	-	0.000
性能	の 省		Ø	5b.2	焼却炉等の廃熱回収システムの導入		-	-	-	+0.00
肥に	Т П		Ø	5b.3	通風設備の高効率ブロワの導入		-	-	-	
関	ネ		0	5b.4	燃料式溶融炉の高効率バーナー等の導入		-	-	-	
する	ルギ		0	5b.5	電気式溶融炉の最適電力制御の導入		-	-	-	
る事	+		0	5b.6	高効率廃熱ボイラーの導入		-	-	-	1
, 項	性		0	5b.7	廃熱ボイラーの低温エコノマイザーの導入		-	-	-	1
	能		0	5b.8	通風設備のブロワの回転数制御の導入		-	-	-	1
			0	5b.9	焼却炉等の高効率断熱炉体の導入		-	-	-	1
			+	5b.10	焼却炉等における炉体のボイラー化		-	-	-	1
			+	5b.11	減温塔の最適水噴霧制御の導入		-	-	-	1
			+	5b.12	通風設備の蒸気タービン駆動ブロワの導入		-	-	-	1
			+	5b.13	通風設備の高効率蒸気式空気予熱器の導入		-	-	-	1
			+	5b.14	炉室内の最適換気制御システムの導入		-	-	-	1
		c.後処理工程	0	5c.1	コンベアのインバータ制御の導入		-	-	-	0.000
			0	5c.2	飛灰固化装置のインバータ制御の導入		-	-	-	+0.00
			+	5c.3	排ガス処理用触媒反応塔への低温触媒の導入		-	-	-	
			+	5c.4	白煙防止用空気加熱器の空気量制御の導入		-	-	-	1
			+	5c.5	加熱脱塩素化装置の最適温度制御の導入		-	-	-	
用皿	設 5 の、	a.前処理工程	Ø	5a.1	脱臭ファンの運転時間短縮の実施		-	-	-	0.00
関 設	運廃	b.熱処理工程	Ø	5b.1	焼却炉等の燃料と空気量の適正化		-	-	-	0.00
す 備 る 及	用棄 管物		Ø	5b.2	通風設備の送風量の適正化		-	-	-	+0.00
事び	理処		0	5b.3	発電用蒸気量の調整		-	-	-	1
項 事 業	施	c.後処理工程	Ø	5c.1	ろ過式集じん装置のヒーター温度制御の適正化		-	-	-	0.00
の	守 6 管 理保	d.共通	Ø	6d.1	廃棄物処理施設の定期的な保守・点検		-	-	-	0.00

基本情報

区分	No.	No.	適用範囲補正係数·評価項目	評価対象	数値	·単位
日範囲補	1	-	熱源2次ポンプ、熱源1次ポンプ、冷却水ポンプ	熱源ポンプ総電動機出力		
数に関		II 1b.8	高効率熱源ポンプの導入	-	479.0	kW
評価対	2	_	熱源2次ポンプ	熱源2次ポンプ総電動機出力		
		II 1b.5	熱源2次ポンプ変流量制御の導入	_		
		II 1b.6	熱源2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプの導入		111.0	kW
		II 1b.13	熱源2次ポンプの末端差圧制御の導入	-		
		II 2a.22	熱源2次ポンプの送水圧力設定制御の導入	-		
	3	-	熱源1次ポンプ	熱源1次ポンプ総電動機出力	140.0	
		II 1b.11	熱源1次ポンプ変流量制御の導入	-	148.0	kW
	4	-	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ総電動機出力	000.0	
		II 1b.12	冷却水ポンプ変流量制御の導入		220.0	k₩
	5	-	事務所外皮	事業所全体の建物外皮からの熱負荷	4,000	GJ/年
	6	-	事務所外皮	事務所の建物外皮からの熱負荷	650	GJ/年
	7	-	事務室	事務室の床面積		1
		II 2a.5	ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入			
		II 2a.7	空調機の気化式加湿器の導入	-		
		II 2a.8	外気冷房システムの導入	-		
		II 2a.10	CO2濃度による外気量制御の導入	-		
		II 2a.13	全熱交換器の導入	_	3,000	mீ
		II 2a.21	デシカント空調システムの導入	-		
		II 2b.6	照明の初期照度補正制御の導入	_		
		II 2b.7	照明の昼光利用照明制御の導入	_		
		II 2b.9	タスク&アンビエント照明システムの導入	_		
		II 2b.11	照明のセキュリティー連動制御の導入	-		
	8	_	通風装置燃料	燃焼設備総定格燃料消費量		
		II 5a.1	燃料の供給量・空気比を調整できるバーナー等の導入			
		II 5a.4	工業炉のリジェネレイティブバーナーの導入		2,000	MJ/h
		II 5a.5	工業炉のリジェネレーターの導入			
		II 5c.1	排ガスの廃熱回収設備の導入			
	9	-	通風装置燃料	通風装置のある燃焼設備総定格燃料消費量	1,500	M 171
		II 5a.2	通風量・燃焼室内の圧力を調整できる通風装置の導入		1,500	MJ/n
	10	-	通風装置電気、複数電動機、成型機、クレーン、生産ポン	電動力応用設備総電動機出力		
		II 5e.4	プ、生産ブロワ等、待機設備 生産プロセスにおける電動機の回転数制御の導入	-	10,000.0	kW
	11	ш 56.4	通風装置電気	通風装置総電動機出力	_	
		II 5a.3	通風装置のインバータ制御の導入		30.0	kW
	12	ш 5а.5	複数電動機	複数の電動機を使用する設備総電動機出力	_	
	. 2	II 5e.1	生産プロセスにおける電動機の台数制御の導入		3,000.0	kW
	13	ш бел —	電気溶接機、待機設備	電気加熱設備総定格消費電力	2.000.0	kW/
	14	_	電気溶接機	電気溶接機総定格消費電力	,	
		II 5e.5	電気溶接機のインバーター制御の導入		100.0	kW
	15		成型機	成型機総定格消費電力		kW
	16	_	クレーン	クレーン総電動機出力		A11
	-	II 5e.7	高効率クレーンの導入		30.0	kW
	17	_	生産ポンプ	生産プロセス用ポンプ総電動機出力		
	-	II 5e.8	一一つこここ 生産プロセスにおける高効率ポンプの導入		100.0	kW
	18	_	生産ブロワ等	生産プロセス用ブロワ・ファン総電動機出力		
		II 5e.9				
			ブロワのインレットベーン制御の導入	-	300.0	kW
			ブロワの動力伝達装置による減速の導入	-		
	19	-	存機設備	待機状態のある電気使用設備総定格消費電力	8,000.0	kW
		I			0,000.0	

熱源2次ポンプ	No.2	111	kW 🖊	No.1	479	kW =				0.232	
熱源1次ポンプ	No.3	148	kW 🖊	No.1	479	kW =				0.309	
冷却水ポンプ	No.4	220	kW 🖊	No.1	479	kW =				0.459	
事務所外皮	No.6	650	GJ/年/	No.5	4,000	GJ/年 =				0.163	
事務室	No.7	3,000	m 🖊		100,000	m =				0.03	
通風装置燃料	No.9	1,500.0	kW 🖊	No.8	2,000.0	kW =				0.75	
通風装置電気	No.11	30.0	kW 🖊	No.10	10,000.0	kW =				0.003	
複数電動機	No.12	3,000.0	kW 🖊	No.10	10,000.0	kW =				0.3	
電気溶接機	No.14	100.0	kW 🖊	No.13	2,000.0	kW =				0.05	
成型機	No.15		kW 🖊	No.10	10,000.0	kW =				0	
クレーン	No.16	30.0	kW 🖊	No.10	10,000.0	kW =				0.003	
生産ポンプ	No.17	100.0	kW 🖊	No.10	10,000.0	kW =				0.01	
生産ブロワ等	No.18	300.0	kW 🖊	No.10	10,000.0	kW =				0.03	
待機設備	No.19	8,000.0	kW 🖊	(No.10	10,000.0	kW +	No.13	2,000.0 kW)	=	0.667	
						-					-

地球温暖化対策推進に係る評価項目と取組状況(第二区分事業所)

	· //	设管理事項		頁目、〇印は一般項目、+印は加		
	1.	<u>_CO2削減推進体制の整備</u>		は実施している場合のみ記入する	-	
l	No.	評価項目	評価内容		取組状況の程度	評価
	1.1	CO2削減推進会議等の設置及び開催	CO2削減推進会議が設置され、どの程度の頻度で実施され	れているか。	月1回以上	1
	1.2	PDCA管理サイクルの実施体制の整備	PDCA管理サイクル(計画・実施・確認・処置)の実施体制な	がどの程度整備されているか。	計画・実施・確認のみ	0.8
)	1.3	ISO14001の取得	ISO14001が取得されているか。		取得	1
)	1.4	CO2削減に関するQCサークル活動、改善提案制度の導入	CO2削減に関するQCサークル活動、改善提案制度が導入	されているか。	導入	1
ŀ	1.5	エネルギー管理優良工場、省エネ大賞等の表彰	エネルギー管理優良工場、省エネ大賞[省エネ事例部門]	等で表彰されているか。	表彰無し	0
	2.	図面、管理標準等の整備				
ſ	No.	評価項目	評価内容		取組状況の程度	評価
,	2.1	図面・改修履歴等の整備	竣工図、機器完成図、改修履歴がわかる図面等が、どの利	呈度整備されているか。	概ね80%以上は整備	1
,	2.2	設備台帳等の整備	エネルギー使用機器の管理のために、設備台帳等が、どの	の程度整備されているか。	概ね80%以上は整備	1
)	2.3	管理標準等の整備	管理標準及び運転操作マニュアルが整備されているか。		整備	1
	3.	主要設備等に関する計測・計量及び記録	2			
[No.	評価項目	評価内容		取組状況の程度	評価
)	3.1	エネルギー管理システムの導入	ユーティリティ設備(蒸気供給、熱源、コージェネ及び圧縮) のエネルギー使用量を総合的に管理できるエネルギー管:		エネルギー消費分析・管理	1
)	3.2	電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・ 計量設備の導入	┃ 電力負荷状況、発電状況並びに各変圧器の需要率、負荷 計測・計量設備が、一次側の電圧が400V以上の変圧器全 で導入されているか。		80%以上に採用	1
)	3.3	エネルギー消費先別の使用量把握に必要な計測・ 計量設備の導入	エネルギー消費先別の細目の電力量・燃料消費量・熱量 によるー次エネルギー実測値が、事業所全体のエネルギー 割合になっているか。		50%以上70%未満	0.8
)	3.4	系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の 導入	部署別、工程別、設備別に系統を分割し、その系統別の電量を含む使用量の把握に必要な計測・計量設備が、電力 熱量、蒸気量及び圧縮空気量は全系統数に対して、どの利 か。	量は動力盤及び分電盤総面数、		0.7
			1	電力量の系統別の細分化	80%以上に採用	1
			100	熱量(冷温水)の系統別の細分化	40%以上80%未満に採用	0.5
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	素気量の系統別の細分化	40%未満に採用又は採用無し	0.0
				王縮空気量の系統別の細分化	40%未満に採用又は採用無し	0
ŀ	3.5	 管理日報・月報・年報の作成	 管理日報、月報及び年報の作成が実施されているか。		実施	1
	3.6		ユーティリティ設備(蒸気供給、熱源、コージェネ及び圧縮) 転効率等の分析に必要な電力量・燃料消費量・熱量・流量 水量等の計測・計量設備が、設備区分の数に対して、どの か。	·温度·蒸気量·圧縮空気量·給	1又は3/4に採用	1
L	4.	」 エネルギー消費量・CO2排出量の管理				
r	No.	デージャング ガリー 1002 第一里の日空 評価項目	評価内容		取組状況の程度	評価
L	4.1	生産工程・処理工程のエネルギー管理	 生産工程・処理工程の操業状況に応じたエネルギー使用	状況の管理や分析が実施されて		
ŀ			いるか。		実施	1
)						
ŀ	4.2	エネルギー消費特性の把握、エネルギー消費原単 位の算出及び管理	エネルギーマネジメントシステム等のデータを活用し、電力 等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギー との比較により、省エネルギー状況の管理が実施されてい	肖費原単位算出及び類似の建物	実施	1
			等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギージ	肖費原単位算出及び類似の建物 るか。	実施	1
)	4.3	位の算出及び管理	等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギー との比較により、省エネルギー状況の管理が実施されてい	肖費原単位算出及び類似の建物 るか。 D頻度で実施されているか。 202削減対策項目ごとの具体的		1
	4.3	位の算出及び管理 CO2排出量の管理 CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案	等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギー との比較により、省エネルギー状況の管理が実施されてい 事業所全体のCO2排出量及び原単位の管理がどの程度の 2019年度までのCO2排出量削減に向けた目標を設定し、(肖費原単位算出及び類似の建物 るか。 D頻度で実施されているか。 202削減対策項目ごとの具体的 ているか。 省電力化、冷凍冷蔵庫・プライン	月1回以上	1
	4.3 4.4 4.5	位の算出及び管理 CO2排出量の管理 CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案 及び実績の集約・評価の実施	等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギー との比較により、省エネルギー状況の管理が実施されてい 事業所全体のCO2排出量及び原単位の管理がどの程度(2019年度までのCO2排出量削減に向けた目標を設定し、 な計画の立案及び実績の集約・評価がどの程度実施され 空調・照明等の使用時間短縮、事務用機器・パソコン等の	肖費原単位算出及び類似の建物 るか。 り類度で実施されているか。 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	月1回以上 全て実施	1
· · · · · ·	4.3 4.4 4.5 4.6	位の算出及び管理 CO2排出量の管理 CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案 及び実績の集約・評価の実施 CO2削減対策の啓発活動の実施	等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギー との比較により、省エネルギー状況の管理が実施されてい 事業所全体のCO2排出量及び原単位の管理がどの程度の 2019年度までのCO2排出量削減に向けた目標を設定し、 な計画の立案及び実績の集約・評価がどの程度実施され 空調・照明等の使用時間短縮、事務用機器・パンコン等の ド等の効率運用などCO2削減対策に関する啓発活動が実 エネルギーマネジメントシステム等のデータの活用等によ 善すべき課題の決定、具体的な対策・計画及びチューニン	肖費原単位算出及び類似の建物 るか。 つ類度で実施されているか。 202削減対策項目ごとの具体的 ているか。 省電力化、冷凍冷蔵庫・プライン 施されているか。 り問題点を抽出し、優先的に改 グなどの改善策の立案と実施、 空気)のエネルギーデータの運 の選定等、運用実態に即した運	<u>月1回以上</u> 全て実施 実施	1 1 1
	4.3 4.4 4.5 4.6 4.7	位の算出及び管理 CO2排出量の管理 CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案 及び実績の集約・評価の実施 CO2削減対策の啓発活動の実施 改善策の立案・実施及び効果検証の実施 ユーティリティ設備の運転解析の実施	等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギー との比較により、省エネルギー状況の管理が実施されてい 事業所全体のCO2排出量及び原単位の管理がどの程度の 2019年度までのCO2排出量削減に向けた目標を設定し、(な計画の立案及び実績の集約・評価がどの程度実施され 空調・照明等の使用時間短縮、事務用機器・パンコン等の ド等の効率運用などCO2削減対策に関する啓発活動が実 エネルギーマネジメントシステム等のデータの活用等によい 善すべき課題の決定、具体的な対策・計画及びチューニン その効果の検証がどの程度実施されているか。 ユーティリティ設備(蒸気供給、熱源、コージェネ及び圧縮 転解析により、需要パターンに応じた機器の選択と稼働率 転計画と運転効率の検証が、設備区分の数(対象設備が	肖費原単位算出及び類似の建物 るか。 D頻度で実施されているか。 202削減対策項目ごとの具体的 ているか。 省電力化、冷凍冷蔵庫・ブライン 施されているか。 J問題点を抽出し、優先的に改 グなどの改善策の立案と実施、 空気)のエネルギーデータの運 の選定等、運用実態に即した運 無い場合を除く。)に対して、どの	月1回以上 全て実施 実施 全て実施	1 1 1 0.3
	4.3 4.4 4.5 4.6 4.7 4.8	位の算出及び管理 CO2排出量の管理 CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案 及び実績の集約・評価の実施 CO2削減対策の啓発活動の実施 改善策の立案・実施及び効果検証の実施 ユーティリティ設備の運転解析の実施 従業員等への環境・エネルギー情報提供システム の導入	等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギー との比較により、省エネルギー状況の管理が実施されてい 事業所全体のCO2排出量及び原単位の管理がどの程度実 2019年度までのCO2排出量削減に向けた目標を設定し、 な計画の立案及び実績の集約・評価がどの程度実施され 空調・照明等の使用時間短縮、事務用機器・パソコン等の ド等の効率運用などCO2削減対策に関する啓発活動が実 エネルギーマネジメントシステム等のデータの活用等によい 着すべき課題の決定、具体的な対策・計画及びチューニン その効果の検証がどの程度実施されているか。 ユーティリティ設備(蒸気供給、熱源、コージェネ及び圧縮) 転解析により、需要パターンに応じた機器の選択と稼働率 転計画と運転効率の検証が、設備区分の数(対象設備が 程度の割合で実施されているか。 イントラネット等を介して、従業員等がいつでも環境・エネル	肖費原単位算出及び類似の建物 るか。 D頻度で実施されているか。 202削減対策項目ごとの具体的 ているか。 省電力化、冷凍冷蔵庫・ブライン 施されているか。 J問題点を抽出し、優先的に改 グなどの改善策の立案と実施、 空気)のエネルギーデータの運 の選定等、運用実態に即した運 無い場合を除く。)に対して、どの	月1回以上 全て実施 実施 全て実施 2/3又は1/2で実施	1 1 1 0.8
)))	4.3 4.4 4.5 4.6 4.7 4.8 5.	位の算出及び管理 CO2排出量の管理 CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案 及び実績の集約・評価の実施 CO2削減対策の啓発活動の実施 改善策の立案・実施及び効果検証の実施 ユーティリティ設備の運転解析の実施 従業員等への環境・エネルギー情報提供システム の導入 保守・点検の管理	等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギー との比較により、省エネルギー状況の管理が実施されてい 事業所全体のCO2排出量及び原単位の管理がどの程度定、 2019年度までのCO2排出量削減に向けた目標を設定し、 な計画の立案及び実績の集約・評価がどの程度実施され、 空調・照明等の使用時間短縮、事務用機器・パソコン等の ド等の効率運用などCO2削減対策に関する啓発活動が実 エネルギーマネジメントシステム等のデータの活用等によい 善すべき課題の決定、具体的な対策・計画及びチューニン その効果の検証がどの程度実施されているか。 ユーティリティ設備(蒸気供給、熱源、コージェネ及び圧縮 転解析により、需要パターンに応じた機器の選択と稼働率 転計画と運転効率の検証が、設備区分の数(対象設備が 程度の割合で実施されているか。 イントラネット等を介して、従業員等がいつでも環境・エネル 況を提供する見える化のシステムが導入されているか。	肖費原単位算出及び類似の建物 るか。 D頻度で実施されているか。 202削減対策項目ごとの具体的 ているか。 省電力化、冷凍冷蔵庫・ブライン 施されているか。 J問題点を抽出し、優先的に改 グなどの改善策の立案と実施、 空気)のエネルギーデータの運 の選定等、運用実態に即した運 無い場合を除く。)に対して、どの	月1回以上 全て実施 実施 全て実施 2/3又は1/2で実施 採用無し	1 1 1 0.8
	4.3 4.4 4.5 4.6 4.7 4.8 5. No.	位の算出及び管理 CO2排出量の管理 CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案 及び実績の集約・評価の実施 CO2削減対策の啓発活動の実施 改善策の立案・実施及び効果検証の実施 ユーティリティ設備の運転解析の実施 従業員等への環境・エネルギー情報提供システム の導入	等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギー との比較により、省エネルギー状況の管理が実施されてい 事業所全体のCO2排出量及び原単位の管理がどの程度実 2019年度までのCO2排出量削減に向けた目標を設定し、 な計画の立案及び実績の集約・評価がどの程度実施され 空調・照明等の使用時間短縮、事務用機器・パソコン等の ド等の効率運用などCO2削減対策に関する啓発活動が実 エネルギーマネジメントシステム等のデータの活用等によい 着すべき課題の決定、具体的な対策・計画及びチューニン その効果の検証がどの程度実施されているか。 ユーティリティ設備(蒸気供給、熱源、コージェネ及び圧縮) 転解析により、需要パターンに応じた機器の選択と稼働率 転計画と運転効率の検証が、設備区分の数(対象設備が 程度の割合で実施されているか。 イントラネット等を介して、従業員等がいつでも環境・エネル	肖費原単位算出及び類似の建物 るか。 つ頻度で実施されているか。 202削減対策項目ごとの具体的 ているか。 省電力化、冷凍冷蔵庫・ブライン 施されているか。 川問題点を抽出し、優先的に改 グなどの改善策の立案と実施、 空気)のエネルギーデータの運 の選定等、運用実態に即した運 無い場合を除く。)に対して、どの レギー情報を見ることができる状	月1回以上 全て実施 実施 全て実施 2/3又は1/2で実施	1 1 1 0.8

		備及び建物の性能に関する事項										
	1.	ユーティリティ設備等の省エネルギー性能	UL L	※ 採用した	-システム及び制御手注	去は、運用上	も活用して	いる場合に	おいて評価	する。		
	a. No.	蒸気供給設備 . 評価項目			評価	i内容				取組状:	兄の程度	評価点
0		1 高効率蒸気ボイラーの導入	高効率蒸気	ミボイラーが	、全ての蒸気ボイラー		弓受入を含さ	む。)に対して	こ、どの程	42/111 127		
-			度導入され	ているか。								1
				設置年度	ボイラー機種	ボイラ− 容量 [kW]	定格 エネルキ [・] 一 消費量	エネルキ [・] - 種別	台数	年間熱製 造量実績 [GJ/年]	ボイラ−効率	
			1	2014	蒸気ボイラー	1,000		[MJ/h]ガス	1	[00, 1]	0.90	1
			2									
			3									
			4									
			5									
			6									
			7									
			8									
			9 10									
			10									
			12									
			13									
			14									
			15									
			16									
			17									
			18									
			19									
			20									
			21									
			22									
			23									
			24									
			25 26									
			20									
			28									
			29									
			30									
	1a.2	2 蒸気ボイラーのエコノマイザー又はエアヒーターの		コノマイザ・		気ボイラー0	D全てに、i	追加的なエコ	ノマイザー	计存储	となっていた。	
0		導入	が導入され		10 10 - #							_
0		3 蒸気弁・フランジ部の断熱			が、どの程度断熱され	ているか。					及び装置回り	1
		4 蒸気ドレンタンクの断熱			ウが断熱されているか。	生生	、) よ ()首 つ	キカナハフム			用	1
O		5 蒸気ボイラーの台数制御の導入 6 蒸気ドレン回収設備の導入			御(オペレーターによる 、定格蒸気消費量(直						们	1
0	1a.6			回収設備が 記入されてい		ix rinti9 (31	ロのを味く。		しの性皮	80%以上	トに採用	1
0	1a.7	7 蒸気ドレンのクローズド回収方式の導入	蒸気ドレン	回収にクロー	ーズド回収方式が、定格 合で導入されているか。		量(直接利用	用するものを	除く。)に	80%以上	上に採用	1
0	1a.8	3 蒸気ボイラーの小型分散システムの導入			散システムが導入され					採	们	1
+		3 省エネ型スチームトラップの導入	程度の割合	こ適した省エ 含で導入され	ニネ型スチームトラップか いているか。	が、スチーム	トラップの含	全個数に対し	て、どの	70%以上95%	る未満に採用	0.8
+		0 蒸気ボイラーの押込送風機インバータ制御の導入								1		
+		1 不要蒸気配管の撤去・蒸気配管ルート・サイズの 変更	ずれかが行	テわれている							用	1
+		2 圧力差タービンの導入			蒸気ラインがある場合、		-ビンが導기	くされている;	か。		目無し	0
+		3 フラッシュ蒸気利用設備の導入			備が導入されているか。	-					まし	0
+		4 蒸気減圧エネルギー動力回収設備の導入			かカ回収設備が導入され	れているか。					目無し	0
+		5 アキュムレーターの導入			入されているか。	3 二 の パ _ ユ		キカナハフム			(用)	1
+	1a.1	6 負荷に適した容量のバーナーへの変更	ハーナー名	ト 里 い 迥 大 な	は場合、負荷に適した容	キ里のハーナ	一に変更す	されしいるか	0	採用	月無し	0

	b .	(優良将正地球温暖化対東事業所の認正 熱源・熱搬送設備、冷却設備	./v·11 /·1	~ (3 7—1		10						
	No.	深标"茶顶达設确、小平設确 評価項目			評価	「内容				取組状》	兄の程度	評価点
Ø		高効率熱源機器の導入			とての熱源機器(地域)		を含む。)に	対して、どの	程度導入			0.803
			されている	か。							冷熱源	0.768
				r	1	ı —					温熱源	0.873
			種別	設置年度	冷熱源機種	熱源容量	定格 エネルキー	エネルキ゛ー	台数	年間熱製 造量実績	定格COP	
			作主力リ		/11 ///////反1主	[kW]	消費量	種別	口奴	逗重天頓 [GJ/年]	ボイラ効率	
		1	冷熱源	2000	直焚吸収冷温水機	1,582	4,612.5	[MJ/h]ガス	2		1.23	0.695
		2	冷熱源	2014	直焚吸収冷温水機	1,582	4,221.0	[MJ/h]ガス	1		1.35	0.997
		3	冷熱源	2000	空気熱源ヒートポンプユニット	87	28.0	[kW]電気	10		3.11	0.195
		4	冷熱源	2000	ターボ冷凍機	1,582	254.0	[kW]電気	1		6.23	1
		5										0
		6										0
		/	-									0
		8										0
		10										0
		10			<u></u>			Fra . (1, 7, 1)*				
			温熱源		直焚吸収冷温水機	1,324		[MJ/h]ガス	2		0.86	0.963
		ے م	温熱源		直焚吸収冷温水機 ^{空気熱源ヒートポンプユニット}	1,291		[MJ/h]ガス [LW]電气	1 10		0.88	0.914
		3	温熱源	2000	エメいきのはレート小ノノユーツト	90	27.0	[kW]電気	10		3.33	0.548 0
		5		 								0
		6	<u> </u>			-			1			0
		7	<u> </u>	<u> </u>								0
		8		1		1				1		0
		9				t				1		0
		10	<u> </u>			1						0
0	1b.2	水搬送経路の密閉化	蓄熱槽の2	次側で実揚	程10m以上の水搬送総	経路が密閉	とされている	か。		密閉式回	回路のみ	1
0	1b.3	熱源の台数制御の導入			入されているか。					採	用	1
0	1b.4	冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御の導入			な制御又は発停制御が、	、冷却塔ファ	ン総電動機	出力に対し	て、どの程	5%未満に採用	又は採用無し	0
Ŭ	16.5	熱源2次ポンプ変流量制御の導入		で導入されて	こいるか。 制御及びインバータに、	トス亦法号	目泊ちる	百っったポンプ	必要動機			Ť
0	10.5	窓源2次小ンノ変加重前仰の導入			度の割合で導入されて		川川/ //、 <u>ポ</u> ペル	泉2次小ノノ)	応电别做	95%以上	こに採用	1
	1b.6	熱源2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプ			容量分割又は小容量が		源2次ポンプ	プ総電動機出	出力に対し	05% 121 -	こに採用	1
0		の導入			導入されているか。		0			95%以上	二、抹用	1
+	1b.7	高効率冷却塔の導入			₽塔(エアコンプレッサ− の程度の割合で導入さ			のものを含	む。)総電			0.56
			到饭山 刀1		の性皮の司口で待入で	11 (1,0)	。 省エネ形			70%にJ 上 95%	未満に採用	0.8
							モータ直結	形ファン		70%政工95% 5%未満に採用		0.8
								////////////////////////////////////	ータ	5%未満に採用		0
								ミアム効率(1	-	5%未満に採用		0
							ファン高効	率(IE2)モー	·۶	5%未満に採用	又は採用無し	0
							散水ポンフ	『永久磁石(II	PM)モータ	5%未満に採用	又は採用無し	0
							散水ポンプフ	『レミアム効率	(IE3)モータ	5%未満に採用	又は採用無し	0
							散水ポンフ	『高効率(IE2)モータ	5%未満に採用	又は採用無し	0
+	1b.8	高効率熱源ポンプの導入	7 /	原ポンプが、	熱源ポンプ総電動機出	力に対して	、どの程度	の割合で導	入されてい			0.8
			るか。				永久磁石()	[DM)エニタ		5%未満に採用	マチャット	
								FWDモータ 効率(IE3)モ				0
							フレミアム: 高効率(IE		,	5%未満に採用 95%レト	こに採用	0
+	1b.9	大温度差送水システムの導入	熱媒が水の	の場合、執拗	般送設備の設計送水温	度差がどの				-	_1~採用 上10℃未満	0.8
+		熱源機器出口設定温度の遠方制御の導入			度の遠方制御が導入さ					採用		0.8
		熱源1次ポンプ変流量制御の導入	熱源1次ポ	ンプの台数	制御又はインバータに	よる変流量		原1次ポンプ	総電動機			-
+					度の割合で導入されて					5%未満に採用	リメは採用無し	0
+	1b.12	冷却水ポンプ変流量制御の導入			前御又はインバータによ		御が、冷却	水ポンプ総	電動機出	5%未満に採用	又は採用無し	0
	1h 13	熱源2次ポンプの末端差圧制御の導入			の割合で導入されてい 差圧制御等が、熱源22		雪動機出力(こ対して ど	の程度の			
+		and the second sec		しされている						5%未満に採用	又は採用無し	0
+		熱交換器の断熱			熱交換器全台数に対して	て、どの程度	の割合で導	導入されてい	るか。	40%以上80%	赤満に採用	0.5
+	1b.15	蓄熱システムの導入	蓄熱システ	-ムがどの利	星度導入されているか。							0
					形式	蓄熱容	[!] 量[m3]	蓄熱量	₫[MJ]	年間蓄熱量	実績[GJ/年]	-
										 		
					L	 						
	1h 16	 冷却塔ファンインバータ制御の導入	と11世コー	·	┃ 一タ制御が、冷却塔ファ	<u></u>	71+-	田乃バナ产	プロチュロ			┝───┤
+	10.10	/ ロムマーロンテンコンパーブ 単山岬の 等八			ータ制御か、冷却塔ノノ 助機出力に対して、どの				ノロビへ用	5%未満に採用	又は採用無し	0
+	1b.17	フリークーリングシステムの導入			ウーリングシステムが					採用	まし	0
+	1b.18	冷却水ろ過冷却リサイクルシステムの導入			クルシステムが導入さ						用	1
+	1b.19	冷却水ON/OFF制御システムの導入	不要時の語	没備停止に	伴う冷却水のON/OFF	制御システム	₄が導入され	っているか。		採用		0
+	1b.20	中温冷水利用システムの導入	中温冷水和	利用システム	ムが、主たる熱源システ	ムの一部に	導入されて	いるか。		採用	無し	0
+	1b.21	統合熱源制御システムの導入			バポンプ等をシステムと	して最も高效	め率に制御	する統合熱源	原制御シス	择田	目無し	0
1	11.00	ᅒᇄᇄᇃᇧᆗᇝᇼᅪᆮᆂᇌᆸᆂᄤᇾᇾᇕ		しされている		0.18-12. — ² ^	2.65.11.100.11.	h1-+11	じかわか	1本八		, v
+	1b.22	熱源2次ポンプの送水圧力設定制御の導入		ンフの送水 導入されてし	圧力設定制御が、熱源 いるか。	2次ホンブ※	8電虭磯出:	カに対して、	との程度	5%未満に採用	又は採用無し	0
		<u> </u>			W10 0					<u> </u>		

县様式(愿良特定地球) 、対体事業能の認定せてい / hh-<u>سد ج</u> ۸ 1 11 11 1 第

1f.2 排水処理用の高効率ポンプ・ブロワの導入

1f.3 排水再利用システム等の導入

1f.5 ばっ気用ブロワの変風量制御の導入

1f.7 高効率給湯ヒートポンプユニットの導入

1f.6 ばっ気用ブロワの溶存酸素濃度制御の導入

1f.4 微細気泡散気管の導入

+

+

++

,	C.	コージェネレーション設備										
	No.	評価項目				i内容				取組状況	兄の程度	評価の
F	1c.1	高効率コージェネレーションの導入	高効率コージェネレー	ションが、全	てのコージ	ェネレーショ	ンに対して	、どの程度導	導入されて			0.85
			いるか。	00.0%	左眼亚均	ᆥᅒᆁᄆᇴ	00.0%	一左眼亚林	5%乙基亚	115.0	01/	
			年間平均発電効率	39.3%		非熱利用率	30.0%	午间平式	9総合効率	115.2	OK 年間排熱	
			コージェネ機種	発電容量	定格 エネルギー	エネルキ゛ー	台数	定格	年間燃料 消費量	年間発電 量実績	午间排熟 利用量	0
				[kW]	消費量	種別	1 34	発電効率	// g 重 [GJ/年]	エスng [MWh/年]	[GJ/年]	Ŭ
			ガスエンジン	400	4,000.0	[MJ/h]ガス	2	40.0%	1,000	110	300	0.84
			ガスタービン	500	4,500.0	[MJ/h]ガス	1	44.4%	100	10	30	1
			_	1.300	12.500	_	3	_	1,100	120	330	4
L				1,000	12,000		0		1,100	120	000	
	d.	受変電設備、配電設備										
Г	No.	文发电仪阱、电电仪阱 評価項目			証価	内容				取組状況	日の程度	評価
ŀ		高効率変圧器の導入	 高効率変圧器が、600	/を招え700	F 1 10		部に 立って	どの程度の)割合で道	47.111.17.1	// 07/1主/文	메 고
C	14.1	间别十女江部分夺入	入されているか。									1
							超高効率変	を圧器		30%以上70%	未満に採用	0.5
									014		未満に採用	_
							トップランナ	P 4		5%以上30%		0.0
5	1d 2	力率改善制御システムの導入	 力率改善制御システム	。が導入さ≯	いているか			HH		<u>370以上307</u> 採		0.2
5		デマンド制御システムの導入	デマンド制御システムが導入されているか。						採			
╎		低圧動力回路への力率改善コンデンサの導入	ティント制御システムか導入されているか。 カ率改善コンデンサが低圧動力回路に導入されているか。								<u> </u>	
[位圧動力回路への力率改善コンテンサの導入 400V配電方式の導入	カキロ音コンテンサが低圧動力回路に導入されているか。 主たる動力設備に400V配電方式が導入されているか。						採用		0	
⁻┝			主たる動力設備に400V配電方式が導入されているか。 低負荷率の変圧器がある場合、低負荷変圧器が統合されているか。							採		1
⊢⊦		低負荷変圧器の統合						採用		0		
۲Ļ		7 変圧器の台数制御の導入 変圧器の台数制御が導入されているか。						採用		0		
⊢								採用		0		
- [1d.9 高効率UPSの導入 変換効率90%以上の高効率UPSが導入されているか。						採用	無し	0			
	e.	圧縮空気供給設備										
ſ	No.	評価項目			評価	i内容				取組状》	兄の程度	評価
5	1e.1	高効率エアコンプレッサーの導入	高効率エアコンプレッ	サーが、エア	[•] コンプレッ ⁻	サー総電動	機出力に対	して、どの積	健の割合			0.21
1			で導入されているか。			1						0.21
							インバータ			30%以上70%	未満に採用	0.5
								PM)モータ		5%未満に採用	又は採用無し	. 0
							プレミアムき	効率(IE3)モ	ータ	5%未満に採用	又は採用無し	. 0
							高効率(IE:	2)モータ		5%未満に採用	又は採用無し	· 0
							2段圧縮方	式		5%未満に採用	又は採用無し	. 0
							インバータ	制御冷却フ	ァン	5%未満に採用	又は採用無し	. 0
							増風量制銜	即方式		5%未満に採用	又は採用無し	. 0
							圧縮機・モ	ータ直結構	告	5%未満に採用	又は採用無し	. 0
							複数台圧綱	宿機制御		5%未満に採用	又は採用無し	. 0
sŀ	1e.2	エアコンプレッサーの台数制御の導入	エアコンプレッサーのも	台数制御が	導入されて	いるか。						0
							末端圧力制	細		5%未満に採用	▽仕採田毎	. 0
							叶出圧力制			5%未満に採用		. 0
ŀ	10.3	コンプレッサー室への換気設備の導入	 コンプレッサー室へ換	気設備が道	えさわてい	ろか		13 144				
							プロ答んよ	ぶ道 1 さわて	1 \ Z +\	採	Э	1
H	1e.4	圧縮空気配管のループ配管化	圧縮空気配管距離が	反くなる場合	「、圧粕空ヌ	に官のルー	- ノ 皆 官 16人	い待人されて	. ເາວມາ。	採用	無し	0
⊦⊦	1e 5	エアコンプレッサーの分散化	 圧縮空気配管距離が:	長くなる場合	1. I77V	プレッサーの)分散化が減	草入されてい	るか。	垴		1
ŀ		上がコンシレフラ の方散に 圧縮空気配管の高圧ライン/低圧ラインの系統分	圧縮空気供給圧力の									
۲I	10.0	割	圧縮空気供給圧力のの		J /1551II 9 70-	吻 ㅁ 、 止 神 을	ニメロレ目の	回ル ノコン/	ドットノーノ	採用	無し	0
⊢┞	1e.7	ブースター方式の導入	圧縮空気供給圧力の		が混在する	場合、ブース	マー方式カ	「導入されて	いるか。	採用	無し	0
_		吸気冷却システムの導入	井水、冷却水などによ							採用		0
ŀ		コンプレッサーの排熱回収システムの導入	コンプレッサーの排熱					わていろか		採用		0
╞		パージ制御装置の導入	露点温度によりパージ							环元		0
-	16.10	ハーノ制御表直の導入	路点温度によりパン	工) (丹工)		NUS 7 '0/ 1	2 响叫衣匠			採用	無し	0
ŀ	1e.11	エアコンプレッサー排熱の局所排気システムの導	。 エアコンプレッサー排剤	熱の局所排	気システム:	が導入されて	ているか。				_	
-		λ								採	用	1
- [1e.12	フィルタの低圧損化	低圧損フィルタの導入	又はファイフ	トルフィルタ	の削減が行	われている	か。		採用	無し	0
-ŀ	1e.13	高効率ドライヤーの導入	高効率ドライヤーが導	入されてい	るか。					採用		0
L	I									20,0013		
	f.	給水·給湯設備、排水処理設備	※ 上水道施設、下水	首施設け証	価対象林と	する。						
		<u>和小·和杨故诵、拚小处理故诵</u> 評価項目		ヒルビロズトは計		<u>,る。</u> i内容				取組状影	日の程度	評価
Г		計画名口	高効率給水ポンプが、	加圧給ルナ			11111	* ポンプ ※*	専動地山	4X小旦1人第	心い住皮	6十1四
ļ	No.	立 効率給水ポンプの道 λ			·ノノユ—ツ	心电别饭口	コハメは桁	小小ノノ総議	电判陇田	1		1 .
-		高効率給水ポンプの導入			入されてい	るか。						1
-		高効率給水ポンプの導入	カに対して、どの程度		入されてい		E一定インバー	−タ制御ポンフ	°ユニット	95% DJ F	に採用	
-		高効率給水ポンプの導入			入されてい	推定末端日		−タ制御ポンフ	°ユニット	95%以上 95%以上		1
F		高効率給水ポンプの導入			入されてい	推定末端日 永久磁石(I	PM)モータ		°ユニット	95%以上	に採用	1
ວ		高効率給水ポンプの導入			入されてい	推定末端日 永久磁石(I	PM)モータ 効率(IE3)モ		°ユニット		に採用	1

排水処理用の高効率ポンプ・ブロワが、排水処理用ポンプ・ブロワ総電動機出力に対して、

「同ね」年(JE2)で一ろ 雨水利用システム、空調ドレン利用システム、中水利用システム等の排水再利用システム、又は再生水、工業用水、湧水等の雑用水利用システムが導入されているか。 微細気泡散気管が導入されているか。

ばっ気用ブロワの台数制御又はインバータによる変風量制御が導入されているか。

中央給湯方式の熱源機器がある場合、給湯ヒートポンプユニットが導入されているか。

ばっ気用ブロワの溶存酸素濃度(DO)による送風量制御が導入されているか。

永久磁石(IPM)モータ

高効率(IE2)モータ

プレミアム効率(IE3)モータ

どの程度の割合で導入されているか。

0.64

0

0

0.8

1

0

0

0

0

5%未満に採用又は採用無し

5%未満に採用又は採用無し

70%以上95%未満に採用

採用

採用無し

採用無し

採用無し

採用無し

	2. a.	建築設備の省エネルギー性能 空調・換気設備	※ 採用したシステム及び制御手法は、運用上も活用	している場合において評価する。		
[No.	評価項目	評価内容		取組状況の程度	評価点
0	2a.1	高効率パッケージ形空調機の導入	高効率パッケージ形空調機が、パッケージ形空調機 合で導入されているか。	総冷却能力に対して、どの程度の割		0.69
			高効率	通年エネルギー消費効率 APF	5%未満に採用又は採用無し	0
			機器	冷暖房平均COP	5%未満に採用又は採用無し	0
				インバータ制御機器	70%以上95%未満に採用	0.8
				高効率冷媒(R410A)	70%以上95%未満に採用	0.8
			設置方	法 冷媒配管の長さ(片道)	0m以上30m未満	1
				屋外機のショートサーキット無し	30%以上70%未満に採用	0.5
				屋外機の散水システム	95%以上に採用	1
0	2a.2	電気室・エレベーター機械室の温度制御の導入	電気室及びエレベーター機械室の温度制御が、全電 に対して、どの程度の割合で導入されているか。	気室数及び全エレベーター機械室数	80%以上に採用	1
+	2a.3	高効率空調機の導入	高効率空調機が、空調機ファン総電動機出力に対して、	どの程度の割合で導入されているか。		0.195
				プラグファン	5%以上30%未満に採用	0.2
				モータ直結形ファン	5%以上30%未満に採用	0.2
				永久磁石(IPM)モータ	5%未満に採用又は採用無し	0
				プレミアム効率(IE3)モータ	5%未満に採用又は採用無し	0
				高効率(IE2)モータ	30%以上70%未満に採用	0.5
				楕円管熱交換器	5%未満に採用又は採用無し	0.5
⊦	2a.4	高効率空調・換気用ファンの導入	↓ 高効率空調・換気用ファンが、空調・換気用ファン総電 ↓で導入されているか。			0.4
				モータ直結形ファン	5%未満に採用又は採用無し	0
				<u>- </u> 永久磁石(IPM)モータ	5%未満に採用又は採用無し	0
				プレミアム効率(IE3)モータ	5%未満に採用又は採用無し	0
				高効率(IE2)モータ	70%以上95%未満に採用	0.8
ł	2a 5	ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入	 ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入が、事務			
+		空調機の変風量システムの導入	合で導入されているか。		80%以上に採用	1
+	20.0		ファン(特殊空調設備用を除く。)総電動機出力に対し るか。		30%以上70%未満に採用	0.5
+	2a.7	空調機の気化式加湿器の導入	空調機の気化式加湿器が、事務室の床面積に対して、	どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1
+	2a.8	外気冷房システムの導入	外気冷房システムが、事務室の床面積に対して、どの	D程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1
+	2a.9	局所冷暖房設備の導入	高発熱領域に対する局所冷房設備又は大空間にお るか。	ナる局所冷暖房設備が導入されてい	採用無し	0
+	2a.10	CO2濃度による外気量制御の導入	CO ₂ 濃度による外気量制御が、事務室の床面積に対るか。	して、どの程度の割合で導入されてい	40%未満に採用又は採用無し	0
+	2a.11	ファンコイルユニットの比例制御の導入	ファンコイルユニットの比例制御が、ファンコイルユニー で導入されているか。	ット全台数に対して、どの程度の割合	40%未満に採用又は採用無し	0
+[2a.12	空調の最適起動制御の導入	空調の最適起動制御が、全空調機台数に対して、ど		40%未満に採用又は採用無し	0
+ĺ		全熱交換器の導入	全熱交換器が、事務室の床面積に対して、どの程度	の割合で導入されているか。	40%未満に採用又は採用無し	0
+	2a.14	大温度差送風空調システムの導入	低温送風による大温度差送風空調システムが、空調 電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されてし		5%未満に採用又は採用無し	0
+	2a.15	放射冷暖房空調システムの導入	放射冷暖房空調システムが導入されているか。		採用無し	0
+	2a.16	置換換気システムの導入	置換換気システムが導入されているか。		採用	1
+	2a.17	空調機の間欠運転制御の導入	空調機の間欠運転制御が、空調機ファン(特殊空調調 て、どの程度の割合で導入されているか。	役備用を除く。)総電動機出力に対し	5%未満に採用又は採用無し	0
+	2a.18	高効率厨房換気システムの導入	高効率厨房換気システム(置換換気、給排気形フート れているか。	「又はガス消費量連動制御)が導入さ	採用無し	0
+	2a.19	厨房外調機・ファンの風量モード切換制御の導入	厨房外調機・ファンの風量モード切換制御が導入され	ているか。	採用無し	0
+	2a.20	人感センサーによる換気制御の導入	便所の人感センサーによる換気制御が、主たる便所	に導入されているか。	採用無し	0
+	2a.21	デシカント空調システムの導入	デシカント空調システムが導入されているか。		採用無し	0
+	2a.22	ファンのインバータによる手動調整の導入	ファンの手動調整用インバータが、ファン総電動機出 れているか。	カに対して、どの程度の割合で導入さ	40%未満に採用又は採用無し	0
+	2a.23	気流感創出ファン・サーキュレーションファンの導入	事務室に気流感創出ファン等、又は大空間にサーキか。	ュレーションファンが導入されている	採用無し	0

	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
	2b.1	高効率照明器具の導入	高効率照明器具が、照明総消費電力に対して、どの程度の割合で導入されているか。		1
			高効率ランプ	95%以上に採用	1
			高反射率板	5%未満に採用又は採用無し	0
2	2b.2	高輝度型誘導灯・蓄光型誘導灯の導入	高輝度型誘導灯又は蓄光型誘導灯が、誘導灯総器具数に対して、どの程度の割合で導入 されているか。	80%以上に採用	1
2	2b.3	照明のゾーニング制御の導入	照明の点滅区分の細分化と、主たる廊下、エントランスホール等の間引きによるゾーニング 制御がどの程度導入されているか。	廊下の間引き	1
2	2b.4	照明の人感センサーによる在室検知制御の導入	照明の人感センサーによる在室・在席検知制御が、主たる階段室、便所、湯沸室等に対して、どの程度導入されているか。	便所相当に採用	0
2	2b.5	照明の局所制御の導入	照明器具ごとのスイッチ等による照明の局所制御が、事務室、廊下、便所又は湯沸室に対して、どの程度導入されているか。	事務室又は廊下の器具スイッチ	0.8
. 2	2b.6	照明の初期照度補正制御の導入	T照明の初期照度補正制御が、事務室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1
	2b.7	照明の昼光利用照明制御の導入	照明の昼光利用照明制御が、事務室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1
. 2	2b.8	照明のタイムスケジュール制御の導入	照明のタイムスケジュール制御が、主たる居室、廊下等の共用部に対して、どの程度導入 されているか。	共用部のみに採用	0.5
. 2	2b.9	タスク&アンビエント照明システムの導入	タスク&アンビエント照明システムが、事務室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	20%未満に採用又は採用無し	0
2	2b.10	照明の明るさ感知による自動点滅制御の導入	照明の明るさ感知による自動点滅制御が、窓のある主たるエントランスホール、廊下、便所 等に導入されているか。	採用無し	0
2	2b.11	照明のセキュリティー連動制御の導入	照明のセキュリティー連動制御が、事務室の床面積に対して、どの程度導入されているか。	40%未満に採用又は採用無し	0
2	2b.12	誘導灯の消灯制御の導入	誘導灯の消灯制御が導入されているか。	採用無し	0

		D.	衛生設備			
		No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
(0	2c.1	大便器の節水器具の導入	大便器の節水器具(100/回以下)又は超節水器具(60/回以下)が、主たる便所の大便器 数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	0.8
	+			省エネ型便座又は洗浄便座の夜間電源停止等のスケジュール制御が、主たる便所の洗浄 便座数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1
	+[2c.3	洗面器の自動水栓の導入	洗面器の自動水栓が、主たる便所の洗面器数に対して、どの程度の割合で導入されてい	80%以上に採用	1
	+		女子便所への擬音装置の導入	女子便所に擬音装置が、主たる女子便所の大便器数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1
	+[2c.5	自然冷媒ヒートポンプ給湯器の導入	自然冷媒ヒートポンプ給湯器が導入されているか。	採用無し	0
	+[2c.6	潜熱回収給湯器の導入	潜熱回収給湯器が導入されているか。	採用無し	0

昇降機設備 d. 評価項目 No. 評価内容 取組状況の程度 評価点 エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式の エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式(VVVF制御方式)が、エレベーター総電動 2d.1 95%以上に採用 0 1 機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。 導入 2d.2 エレベーターの群管理制御の導入 エレベーターの群管理制御が、複数台設置してある箇所のエレベーター総電動機出力に С 95%以上に採用 1 対して、どの程度の割合で導入されているか。 エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時停止制御が、全エレベーター台数に対し て、どの程度の割合で導入されているか。 エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時 停止制御の導入 エレベーターの電力回生制御の導入 2d.3 70%以上95%未満に採用 С 0.8 エレベーターの電力回生制御が、エレベーター総電動機出力に対して、どの程度の割合で 2d.4 30%以上70%未満に採用 + 0.5 導入されているか。

	e.	その他			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
С	2e.1	グリーン購入法適合商品のオフィス機器の導入	グリーン購入法適合商品のオフィス機器が、オフィス機器全台数に対して、どの程度の割 合で導入されているか。	80%以上に採用	1
С		省エネ型自動販売機又は自動販売機のスケ ジュール制御の導入	省エネ型自動販売機又は自動販売機のスケジュール制御が、自動販売機全台数に対し て、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1
+	2e.3	高効率厨房機器の導入	厨房換気量を低減するために、電化厨房機器又は集中排気型ガス厨房機器が導入されて いるか。	採用無し	0

建物の省エネルギー性能 3.

	а.	運物外皮					
	No.	評価項目	評価内容		取組状況の程度	評価点	
+	3a.1	高性能な建物外皮の導入	主たる事務所の建物外皮性能(PAL又はPAL*)が基準るか。	値に対してどの程度削減されてい		0.8	
				年間熱負荷係数 PAL*	削減率2.5%未満又は計算無し	0	
				年間熱負荷係数 PAL	削減率20%以上30%未満	0.8	
+	- 3a.2	隙間風対策の導入	空調空間と非空調空間の境にある主たる動線の全ての ン等の隙間風対策が導入されているか。	採用	1		
4	- 3a.3	ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入	主たる事務室のブラインドに日射制御又はスケジュール か。	主たる事務室のブラインドに日射制御又はスケジュール制御がどの程度導入されている			
+	- 3a.4	屋上緑化の導入	屋上緑化が導入されているか。		採用無し	0	
+	- 3a.5	壁面緑化の導入	壁面緑化又は緑化によるひさしが導入されているか。	採用無し	0		
+	- 3a.6	遮熱塗料塗布・遮熱フィルムの導入	開口部に対して遮熱塗料塗布又は遮熱フィルムが導入さ	されているか。	採用無し	0	
+	- 3a.7	屋根への遮熱塗装の導入	主たる屋根に対して遮熱塗装が導入されているか。		採用無し	0	

自然エネルギーの利用

	b.	自然エネルギーの利用			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
+	3b.1	自然採光を利用したシステムの導入	自然採光を利用したシステムが導入されているか。	採用無し	0
+	3b.2	自然通風を利用したシステムの導入	自然通風を利用したシステムが導入されているか。	採用無し	0
+	3b.3	太陽熱を利用したシステムの導入	太陽熱を直接利用するパッシブソーラーシステムが導入されているか。	採用無し	0
+	3b.4		クールトレンチ、ヒートトレンチその他の年間を通して安定した地中温度の利用のための措置が導入されているか。	採用無し	0

再生可能エネルギー・未利用エネルギー 4.

	No.	評価項目		評価内容						評価点
+			再生可能エネルギース るか。	生可能エネルギー又は未利用エネルギーを利用するシステムがどの程度導入されてい か。						
								年間発電 年間省エネル		1
				太陽光発電システム	電力系統連系有り	30	kW	30	MWh/年	

	. 設値 1. a.	#及び事業所の運用に関する事項 ユーティリティ設備等の運用管理 蒸気供給設備			
ſ	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	1a.1	蒸気ボイラーの空気比の管理	全ての蒸気ボイラーの空気比が、どの程度に管理されているか。	目標空気比	1
Ø	1a.2	蒸気ボイラーの設定圧力の適正化	全ての蒸気ボイラーの設定圧力が蒸気使用端の必要圧力に対して適正に調整されている か。	実施	1
Ø		部分負荷時の蒸気ボイラー運転の適正化	部分負荷時の負荷に応じた蒸気ボイラー運転の適正化が、蒸気ボイラー群系統数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	50%以上80%未満で実施	-
\odot	1a.4	非使用エリアの蒸気供給バルブの閉止	非使用エリアの蒸気供給バルブが閉止されているか。	実施	1
\odot	1a.5	非使用時間帯の蒸気ボイラーの停止	非使用時間帯の蒸気ボイラーの停止が実施されているか。	実施	1
0	1a.6	蒸気ボイラーの給水水質・ブロー量の管理	全ての蒸気ボイラーの給水水質及びブロー量が、ブロー率10%以下に管理されているか。	実施	1
0	1a.7	蒸気配管の保温の確認	蒸気配管及び蒸気還水配管の保温材の脱落が無いかを確認し適切に措置されているか。	実施	1
0	1a.8	蒸気ボイラーの起動時間の適正化	全ての蒸気ボイラーの起動時間が、季節によって、使用開始時間に合わせて適正に管理 されているか。	実施無し	0
+	1a.9	スチームトラップの効果検証の実施	最適なスチームトラップを選定するために、効果検証が実施されているか。	実施無し	0
	b. No.	熱源・熱搬送設備、冷却設備 評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0		燃焼機器の空気比の管理	直焚吸収冷温水機等の全ての燃焼機器の空気比が、どの程度に管理されているか。	目標空気比	1
0	1b.2	冷凍機の冷却水温度設定値の調整	全ての冷凍機の冷却水温度設定値が冷凍機の冷却水下限温度を目標に調整されているか。	実施	1
0	1b.3	冷温水管等の保温の確認	冷温水管等の保温材の脱落が無いかを確認し適切に措置されているか。	実施	
0	1b.4	ハッシートはなっていたのシューズの日本記書		~~~	1
		インバータ制御系統のバルブの開度調整	インバータ制御系統の熱源ポンプ回りの全てのバルブが全開になるように調整されている か。	実施	1
0		インハーダ制御糸統のハルノの開度調整 熱源不要期間の熱源機器等停止			
0	1b.5		か。 熱源機器及び熱源ポンプで、熱源不要期間の電源供給停止、又は夜間の運転停止が実	実施	1
	1b.5 1b.6	熱源不要期間の熱源機器等停止	か。 熱源機器及び熱源ポンプで、熱源不要期間の電源供給停止、又は夜間の運転停止が実施されているか。	実施実施	1
0	1b.5 1b.6 1b.7	熱源不要期間の熱源機器等停止 空調停止時の熱源運転時間の短縮	か。 熱源機器及び熱源ポンプで、熱源不要期間の電源供給停止、又は夜間の運転停止が実施されているか。 熱源機器が空調停止時間の15分以上前に停止されているか。	実施 実施 実施無し	1 1 0
0	1b.5 1b.6 1b.7 1b.8	熱源不要期間の熱源機器等停止 空調停止時の熱源運転時間の短縮 熱源機器の冷温水出口温度設定値の調整	か。 熱源機器及び熱源ポンプで、熱源不要期間の電源供給停止、又は夜間の運転停止が実施されているか。 熱源機器が空調停止時間の15分以上前に停止されているか。 熱源機器の効率向上のために、冷温水出口温度設定値が調整されているか。 部分負荷時の負荷熱量に応じた熱源機器運転の適正化が、熱源群系統数に対して、どの	実施 実施 実施無し 実施無し	1 1 0 0
0	1b.5 1b.6 1b.7 1b.8 1b.9	熱源不要期間の熱源機器等停止 空調停止時の熱源運転時間の短縮 熱源機器の冷温水出口温度設定値の調整 部分負荷時の熱源運転の適正化	か。 熱源機器及び熱源ボンプで、熱源不要期間の電源供給停止、又は夜間の運転停止が実施されているか。 熱源機器が空調停止時間の15分以上前に停止されているか。 熱源機器の効率向上のために、冷温水出口温度設定値が調整されているか。 部分負荷時の負荷熱量に応じた熱源機器運転の適正化が、熱源群系統数に対して、どの 程度の割合で実施されているか。 部分負荷時の負荷熱量に応じた熱源ポンプ運転の適正化が、熱源2次ポンプ群及び冷却	実施 実施 実施無し 実施無し 80%以上で実施	1 1 0 0 1

	レーション設備
コーンエム	ノー・ノヨ・ノミデ (面)

+

1b.12 空調開始時の熱源起動時間の適正化

	C.	コーンエイレーンヨノ設備			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	1c.1	コージェネレーションの運転の適正化	コージェネレーションの排熱が有効に利用できるように、発電及び排熱利用の状況が適正 に管理されているか。	実施	1

熟源機器及び熱源2次ボンブの起動時間が、空調開始時間に合わせて季節ごとに適正に 管理されているか。

	d.	受変電設備、配電設備			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	1d.1	不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断	負荷がない時期、夜間等に、変圧器の遮断が実施されているか。	実施	1
0	1d.2	変圧器タップ切換による電圧の最適化	定格電圧から外れている変圧器の出力端子電圧のタップ切換による調整が実施されているか。	実施	1
+	1d.3	昼間運転設備の夜間移行	昼間運転している電気使用設備の夜間運転への移行を実施しているか。	実施無し	0

	e.	圧縮空気供給設備			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
O	1e.1	非使用エリアの圧縮空気供給バルブの閉止	非使用エリアの圧縮空気供給バルブが閉止されているか。	実施	1
O	1e.2	非使用時間帯のエアコンプレッサーの停止	非使用時間帯のエアコンプレッサーの停止が実施されているか。	実施	1
O	1e.3	部分負荷時のエアコンプレッサー運転の適正化	部分負荷時の負荷に応じたエアコンプレッサー運転の適正化が実施されているか。	実施	1
0	1e.4	エアコンプレッサーの設定圧力の適正化	エアコンプレッサーの設定圧力がエア使用端の必要圧カ+0.1MPa以下に調整されているか。	実施	1
0	1e.5	エアコンプレッサー吸入空気温度の管理	充分な換気の確保等、エアコンプレッサーの吸入空気温度が高くならないように管理されて いるか。	実施	1
+	1e.6	ドライエアの設定露点温度の緩和	ドライエアの設定露点温度の緩和が実施されているか。	実施無し	0

f.	給水·給湯設備、排水処理設備	※ 上水道施設、下水道施設は評価対象外とする。		
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
1f.1	給水・給湯バルブの調整	節水のために給水・給湯の分岐バルブが使用上支障のない範囲で絞られているか。	実施	1
1f.2	給水圧力の管理	バルブ全開時の末端圧力が過剰にならないように、給水ポンプユニットの設定圧力が調整 されているか。	実施無し	0
1f.3	揚水ポンプのバルブの開度調整	揚水ポンプ系統のバルブが極力抵抗とならないように調整されているか。	実施	1
		衛生上可能な範囲で、貯湯温度設定の緩和が実施されているか。	実施無し	0
1f.5	給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止	給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止が実施されているか。	実施無し	0
	ばっ気設備の必要ばっ気圧力に応じた空気供給 圧力の管理	排水処理設備のばっ気設備がある場合、必要ばっ気圧力に対して過剰にならないように、 空気供給圧力が調整されているか。	実施無し	0
	1f.1 1f.2 1f.3 1f.4 1f.5	No. 評価項目 1f.1 給水・給湯バルブの調整 1f.2 給水圧力の管理 1f.3 揚水ポンブのバルブの開度調整 1f.4 貯湯温度設定の緩和 1f.5 給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止 1f.6 ぱっ気設備の必要ばっ気圧力に応じた空気供給	No. 評価項目 評価内容 1f.1 給水・給湯バルブの調整 節水のために給水・給湯の分岐バルブが使用上支障のない範囲で絞られているか。 1f.2 給水圧力の管理 バルブ全開時の末端圧力が過剰にならないように、給水ポンプユニットの設定圧力が調整 されているか。 1f.3 揚水ポンプのバルブの開度調整 揚水ポンプ系統のバルブが極力抵抗とならないように調整されているか。 1f.4 貯湯温度設定の緩和 衛生上可能な範囲で、貯湯温度設定の緩和が実施されているか。 1f.5 給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止 給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止 1f.6 ぱっ気設備の必要ばっ気圧力に応じた空気供給 排水処理設備のばっ気設備がある場合、必要ばっ気圧力に対して過剰にならないように、	No. 評価項目 評価内容 取組状況の程度 1f.1 給水・給湯、バルブの調整 節水のために給水・給湯の分岐バルブが使用上支障のない範囲で絞られているか。 実施 1f.2 給水圧力の管理 バルブ全開時の末端圧力が過剰にならないように、給水ポンプユニットの設定圧力が調整 されているか。 実施無し 1f.3 揚水ポンプのバルブの開度調整 揚水ポンプ系統のバルブが極力抵抗とならないように調整されているか。 実施 1f.4 貯湯温度設定の緩和 衛生上可能な範囲で、貯湯温度設定の緩和が実施されているか。 実施無し 1f.5 給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止 給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止が支施されているか。 実施無し 1f.6 ばっ気設備の必要ばっ気圧力に応じた空気供給 排水処理設備のばっ気設備がある場合、必要ばっ気圧力に対して過剰にならないように、 実施無し

(日本工業規格A列4番)

実施無し

0

第1号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第二区分事業所))その21 2 コーティリティ設備等の保守管理 ※ 類度は同一設備に対するメンテナンス周期とし、設置後メンテナン

	2. ユーティリティ設備等の保守管理 ※ 頻度は同一設備に対するメンテナンス周期とし、設置後メンテナンス周期に達していない場合は予定時期で評価する。				
	а.	蒸気供給設備	1		
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	2a.1	蒸気ボイラーの点検・清掃	蒸気ボイラーの伝熱面及びバーナーノズルの点検及び清掃及びスケール除去が適切な頻 度で実施されているか。	実施	1
0		蒸気配管・バルブ・スチームトラップからの漏れ点 検	蒸気配管、バルブ等からの漏れ点検及びスチームトラップの点検が適切な頻度で実施されているか。	実施	1
0	2a.3	蒸気制御バルブ等の作動チェック	蒸気制御バルブ等の作動チェックが適切な頻度で実施されているか。	実施	1
+	2a.4	蒸気ボイラーのメーカーによる遠隔監視	予知予防保全のために蒸気ボイラーのメーカーによる遠隔監視が実施されているか。	実施無し	0

	b.	熱源・熱搬送設備、冷却設備			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
Ø	2b.1	熱源機器の点検・清掃	冷凍機のコンデンサ及びエバポレータの清掃、燃焼機器の伝熱面の清掃及びスケール除 去、バーナーノズルの点検等の熱源機器の点検・清掃が適切な頻度で実施されているか。	実施	1
0	2b.2	熱交換器の清掃	熱交換器の清掃が適切な頻度で実施されているか。	実施	1
0		熱源用制御機器の点検及び制御バルブ等の作動 チェック	熱源用制御機器の点検及び制御バルブ等の作動チェックが適切な頻度で実施されているか。	実施	1
0	2b.4	冷却水の適正な水質管理及び冷却塔の充填材の 清掃	冷却水の適正な水質管理及び冷却塔の充填材の清掃が適切な頻度で実施されているか。	実施	1
+	2b.5	熱源機器のメーカーによる遠隔監視	予知予防保全のために熱源機器のメーカーによる遠隔監視が実施されているか。	実施無し	0

c. コージェネレーション設備

	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	2c.1	コージェネレーション設備の定期的な点検	コージェネレーション設備がある場合、効率を高い状態で維持するため、定期的な点検が 実施されているか。	実施	1

<u>e. 圧縮空気供給設備</u>

	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	l
(2e.1	圧縮空気配管・バルブからの漏れ点検	圧縮空気配管及びバルブからの漏れ点検が実施されており、適切に処置されているか。	実施	1	
() 2e.2	エアコンプレッサー吸込みフィルターの清掃	エアコンプレッサーの吸込みフィルターの清掃が定期的に実施されているか。	実施	1	Ĺ
() 2e.3	インタークーラーの清掃	冷却効率維持のために、インタークーラーの清掃が定期的に実施されているか。	実施無し	0	ĺ

建築設備の運用管理 空調・換気設備 3. а

	a.	生祠 " 揆 丸 故 禰			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
Ø	3a.1	居室の室内温度の適正化	居室の実際の室内温度の適正化(夏季26℃以上)と定期的な記録が、事務室の床面積に 対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
0	3a.2	室使用開始時の空調起動時間の適正化	室の使用開始時間に合わせた季節ごとの空調起動時間の適正化が、事務室の床面積に 対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
0	3a.3	換気ファンの間欠運転の実施	スケジュール又は自動制御による換気ファンの間欠運転が、機械室(燃焼系統、臭気系統 を除く。)及び倉庫のファンに対して、どの程度で実施されているか。	3時間超6時間以下	0.8
0	3a.4	クールビズ・ウォームビズの実施	クールビズ(夏季27℃以上)又はウォームビズ(冬季20℃以下)による空調設定温度の緩和 が、事務室の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
0	3a.5	エレベーター機械室・電気室の室内設定温度の適 正化	エレベーター機械室及び電気室の室内設定温度の適正化が、全エレベーター機械室数及 び全電気室数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
+	3a.6	CO2濃度・外気温湿度による外気取入量の調整	外気負荷低減、外気冷房等のために、室内CO2濃度及び外気温湿度による外気取入量の 調整が、事務室の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	実施無し	0
+	3a.7	居室以外の室内温度の緩和	主たるエントランスホール、廊下等の居室以外の室内温度が、居室に対して、夏季は高 め、冬季は低め、又は夏季27℃以上、冬季20℃以下に設定されているか。	実施無し	0
+	3a.8	エレベーター機械室・電気室の換気ファンの夏季 停止	エレベーター機械室及び電気室の換気ファンの夏季停止が、空調機併用方式の全エレベーター機械室数及び全電気室数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
+	3a.9	エレベーター機械室・電気室の空調機の給気・還 気設定温度の適正化	エレベーター機械室及び電気室の空調機又はパッケージ形空調機の給気設定温度又は 還気設定温度の適正化が、室内温度とは別に給気温度又は還気温度の設定が可能な全 エレベーター機械室数及び全電気室数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	実施無し	0
+	3a.10	ファンのプーリーダウンの実施	ダンパが絞られている系統のファンのプーリーダウンが実施されているか。	実施無し	0
+	3a.11	パッケージ形空調機の省エネチューニングの実施	パッケージ形空調機の冷媒蒸発温度設定値の調整が実施されているか。	実施無し	0

	b.	照明設備			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	3b.1	事務室以外の照度条件の緩和	間引き点灯又は調光等による照度条件の緩和が、工場・プラント及び廊下に対して、どの 程度実施されているか。	エ場・プラントで実施	0.8
0	3b.2	照明のタイムスケジュールによる消灯	昼休み一斉消灯など照明のタイムスケジュールによる消灯が、工場・プラント、事務室及び 廊下に対して、どの程度実施されているか。	全て実施	1
0	3b.3	事務室の室内照度の適正化	事務室の室内照度の適正化(概ね5001×以下)が、事務室の床面積に対して、どの程度の 割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
+	3b.4	事務室の照度条件の緩和	事務室の照明の間引き点灯又は調光等による照度条件の緩和(概ね3001×以下)が、事務 室の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	50%以上で実施	1
+	3b.5	時間外等の照明点灯エリアの集約化	時間外等の照明点灯エリアを集約するエ夫が行われているか。	実施無し	0

	C.	衛生設備			
F	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
+	3c.1	洗浄便座暖房の夏季停止	洗浄便座暖房の夏季停止が実施されているか。	実施	1
+	3c.2	給湯温度設定の緩和	季節や用途等に応じた給湯温度設定の緩和が実施されているか。	実施	1
+	3c.3	貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止	貯湯式電気温水器の夜間及び休日の電源停止が実施されているか。	実施	1
+	3c.4	便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮	便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮が実施されているか。	夏季の給湯中止	0.8
-					

d.	昇降機設備			
No		評価内容	取組状況の程度	評価点
⊢ 3d.	1 夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減	夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減が実施されているか。	実施無し	0
e.	その他			
No	. 評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価の
3e.	の管理	冷房時・暖房時の閉鎖など空調空間と非空調空間の境にある出入口の開閉の適正な管理 が、主たる動線の出入口で実施されているか。	実施	1
- 3e.	2 自動販売機の照明の消灯	自動販売機の照明消灯が実施されているか。	実施	1
4. a.	建築設備の保守管理 空調・換気設備	※頻度は同一設備に対するメンテナンス周期とし、設置後メンテナンス周期に達していない		
No		評価内容	取組状況の程度	評価
4a.			実施	1
	2 センサー類の精度チェック及び制御ダンパ等の作 動チェック	センサー類の精度チェック及び制御ダンパ等の作動チェックが適切な頻度で実施されているか。	実施	1
)	3 空調機・ファンコイルユニット等のコイルフィンの清 浄	空調機、ファンコイルユニット等のコイルフィンの清浄が適切な頻度で実施されているか。	実施	1
) 4a.	4 パッケージ屋外機のフィンコイル洗浄	パッケージ屋外機のフィンコイル洗浄が適切な頻度で実施されているか。	実施	1
4a.	5 ファンベルトの張力調整	ファンベルトの張力調整が実施されているか。	実施	1
4a.	8 省エネファンベルトへの交換	省エネファンベルトへの交換が、ベルト駆動ファンの全台数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	20%未満で実施又は実施無し	0
b.	照明設備			
No		評価内容	取組状況の程度	評価
^{4b.}	1 照明器具の清掃	照明器具の清掃が、汚れの状態や照明器具の用途に応じて定期的に実施されているか。	実施無し	0
⊢ 4b.	2 照明用制御設備の作動チェック	照明用制御設備の作動チェックが適切な頻度で実施されているか。	実施	1
4b.	3 ランプ交換時の初期照度補正リセットの実施	タイマー式の初期照度補正制御付きの照明器具のランプ交換時に、リセット操作が実施さ	実施無し	0

れているか。

(日本工業規格A列4番)

0

実施無し

-	121-0	、、懷民特正地球區废化対來爭某所の認止	ガイドライン(第二区分事業所))その23			
Ę	5.	備及び建物の性能に関する事項 生産・プラント・特殊設備の省エネルギー	性能 ※上水道施設、下水道施設、廃到	更物処理施設は評価対象外とする	0	
Γ	a.	燃料の燃焼 評価項目	評価内容		取組状況の程度	シート
┝	No. 5a.1	計画項日 燃料の供給量・空気比を調整できるバーナー等の	計画内谷 燃焼設備及び燃料の種類に適合し、かつ、負荷及び燃焼	計能の変動に応じて燃料の供給	取祖仏元の住皮	評価点
0		導入	量及び空気比(空気比は密閉型燃焼設備に限る。)を調整 総定格燃料消費量に対して、どの程度の割合で導入され	をできるバーナー等が、燃焼設備 ているか。	70%以上95%未満に採用	0.8
С	5a.2	通風量・燃焼室内の圧力を調整できる通風装置の 導入	通風量又は燃焼室内の圧力(圧力は密閉型燃焼設備に) 通風装置のある燃焼設備総定格燃料消費量に対して、と か。		70%以上95%未満に採用	0.8
Э	5a.3	通風装置のインバータ制御の導入	通風装置のインバータ制御が、通風装置総電動機出力に されているか。	ニ対して、どの程度の割合で導入	70%以上95%未満に採用	0.8
+		工業炉のリジェネレイティブバーナーの導入	工業炉のリジェネレイティブバーナーが、燃焼設備総定格 の割合で導入されているか。		5%未満に採用又は採用無し	0
+	5a.5	工業炉のリジェネレーターの導入	工業炉に高温予熱空気燃焼と高温排熱回収の両方が可 備総定格燃料消費量に対して、どの程度の割合で導入さ		5%未満に採用又は採用無し	0
	b.	加熱及び冷却並びに伝熱	部冲中空		取得些にの知識	=== /== +=
┝	No. 5b.1	評価項目 加熱・冷却制御システムの導入	評価内容 センサー、コントローラ等を利用した加熱制御システム又	は今却判御システムが 燃焼設	取組状況の程度	評価点
С	JD. I	加索で中型型型ノステムの令人	備及び熱利用設備総定格エネルギー消費量に対して、と か。		70%以上95%未満に採用	0.8
+	5b.2	塗装ブースの3WET塗装システムの導入	塗装ブースの中塗乾燥炉削減のために、3WET塗装シス	、テムが導入されているか。	採用無し	0
	_	廃熱回収				
	C. No.	評価項目	評価内容		取組状況の程度	評価点
		排ガスの廃熱回収設備の導入	排ガスの廃熱回収設備が、燃焼設備総定格燃料消費量	に対して、どの程度の割合で導入		
D			されているか。		5%以上30%未満に採用	0.2
Ľ	d.	_ 断熱•保温				
L	No.	評価項目			取組状況の程度	評価点
~	5d.1	燃焼設備・熱利用設備への二重扉の導入	燃焼設備及び熱利用設備に二重扉が導入されているか。		採用無し	0
С	5d.2	燃焼設備・熱利用設備への空気流等による遮断設 備の導入	燃焼設備及び熱利用設備に内部からの空気流等による	遮断設備が導入されているか。	採用	1
٥ŀ	5d.3	工業炉の炉壁外面温度による断熱強化	工業炉の炉壁外面温度による断熱強化がどの程度実施	されているか。	目標炉壁外面温度	1
	5d.4	燃焼設備・熱利用設備炉体開口部の縮小・密閉	燃焼設備又は熱利用設備に対して、炉体開口部の縮小	又は密閉が行われているか。	縮小又は密閉	1
-	5d.5	既存の燃焼設備・熱利用設備の断熱強化	既存の燃焼設備又は熱利用設備に対して、断熱が強化る	されているか。	断熱強化無し	0
	e. No. 5e.1	電動力応用設備・電気加熱設備 評価項目 生産プロセスにおける電動機の台数制御の導入	評価内容 生産プロセスにおいて複数の電動機を使用する場合、電		取組状況の程度 30%以上70%未満に採用	評価点 0.5
L	5e.2	 中・大容量モータ冷却ファンのモータ連動制御の導	機を使用する設備総電動機出力に対して、どの程度の割 中・大容量モータ冷却ファンのモータ連動制御が導入され		採用	1
- L	5e.3	人 エアブロー機器への省エネ型エアノズルの導入	エアブロー機器への省エネ型エアノズルが、エアノズル全	個数に対して、どの程度の割合	40%以上80%未満に採用	0.5
F	5e.4	生産プロセスにおける電動機の回転数制御の導	で導入されているか。 生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において電動機(7			
) 	5.5	へ 電気溶接機のインバータ制御の導入	インバータによる回転数制御が、電動力応用設備総電動 合で導入されているか。 電気溶接機のインバータ制御が、電気溶接機総定格消費		30%以上70%未満に採用	0.5
		電気溶接後のインバータ制御の導入 加圧・空圧駆動成型機の電動化	電気溶接酸のインハータ制御が、電気溶接破認定俗消費 で導入されているか。 油圧・空圧駆動成型機の電動化が、成型機全台数に対し		70%以上95%未満に採用	0.8
		油圧・空圧縮動成空機の電動化 高効率クレーンの導入	油注・空圧感動成空機の電動化が、成空機主日数に対しているか。 高効率クレーンが、クレーン総電動機出力に対して、どの		30%以上70%未満に採用	0.5
C	Je./		同効率クレーンが、クレーン応電動機由力に対して、とのか。	住反の司口で守八てれている		0.088
				速度制御	5%以上30%未満に採用	0.2
				吊上げ荷重制御	5%未満に採用又は採用無し	0
F				巻下げ電源回生制動	5%未満に採用又は採用無し	0
1	5e.8	生産プロセスにおける高効率ポンプの導入	生産プロセス(純水供給設備を含む。)において、高効率 総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されてい	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		0.16
-				永久磁石(IPM)モータ	5%未満に採用又は採用無し	0
-					5%未満に採用又は採用無し	0
-				プレミアム効率(IE3)モータ		
-				フレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ	5%以上30%未満に採用	0.2
-	5e.9	生産プロセスにおける高効率ブロワ・ファンの導入	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率	高効率(IE2)モータ ブロワ・ファンが、生産プロセス用		
	5e.9	生産プロセスにおける高効率ブロワ・ファンの導入	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で	高効率(IE2)モータ ブロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。	5%以上30%未満に採用	0.2
	5e.9	生産プロセスにおける高効率ブロワ・ファンの導入	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で	高効率(IE2)モータ ブロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形ブロワ・ファン	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用	0.2 0.3 0.5
	5e.9	生産プロセスにおける高効率ブロワ・ファンの導入	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で	高効率(IE2)モータ ブロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形ブロワ・ファン 永久磁石(IPM)モータ	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用 5%未満に採用又は採用無し	0.2 0.3 0.5 0
	5e.9	生産プロセスにおける高効率ブロワ・ファンの導入	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で	高効率(IE2)モータ ブロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形ブロワ・ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し	0.2 0.3 0.5 0 0
-			生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で	高効率(IE2)モータ プロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形プロワ・ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し	0.2 0.3 0.5 0 0 0
+	5e.10	油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で 油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化が導入されている	高効率(IE2)モータ ブロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形ブロワ・ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ らか。	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 採用	0.2 0.3 0.5 0 0 0 0 1
	5e.10 5e.11	油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化 空圧駆動アクチュエータの低圧化	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で 油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化が導入されている 高圧仕様の空圧駆動アクチュエータが低圧仕様に変更さ	高効率(IE2)モータ ブロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形ブロワ・ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ らか。 れているか。	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 採用 採用無し	0.2 0.3 0.5 0 0 0 0 1 0
	5e.10 5e.11 5e.12	油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化 空圧駆動アクチュエータの低圧化	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で 油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化が導入されている	高効率(IE2)モータ ブロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形ブロワ・ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ らか。 れているか。	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 採用 採用無し 採用無し 採用無し	0.2 0.3 0.5 0 0 0 0 1 0 0
	5e.10 5e.11 5e.12 5e.13	油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化 空圧駆動アクチュエータの低圧化 ブロー工程におけるエアコンプレッサーのブロワ化	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で 油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化が導入されている 高圧仕様の空圧駆動アクチュエータが低圧仕様に変更さ ブロー工程において、エアコンプレッサーがブロワ化され	高効率(IE2)モータ ブロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形ブロワ・ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ らか。 れているか。	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 採用無し 採用無し 採用無し 採用無し	0.2 0.3 0.5 0 0 0 0 1 0
	5e.10 5e.11 5e.12 5e.13 5e.14	油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化 空圧駆動アクチュエータの低圧化 ブローエ程におけるエアコンプレッサーのブロワ化 高効率コンベアの導入	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で 油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化が導入されている 高圧仕様の空圧駆動アクチュエータが低圧仕様に変更さ ブロー工程において、エアコンブレッサーがプロワ化され 高効率コンペアが導入されているか。 既存設備に対して、ブロー工程が縮小されているか。 ブロワのインレットペーン制御が、生産プロセス用ブロワ・	高効率(IE2)モータ プロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形プロワ・ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ か。 れているか。 ているか。	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 採用 採用無し 採用無し 採用無し	0.2 0.3 0.5 0 0 0 1 0 0 0 0 0
	5e.10 5e.11 5e.12 5e.13 5e.14 5e.15	油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化 空圧駆動アクチュエータの低圧化 ブロー工程におけるエアコンプレッサーのブロワ化 高効率コンベアの導入 ブロー工程の縮小	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で 油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化が導入されている 高圧仕様の空圧駆動アクチュエータが低圧仕様に変更さ ブロー工程において、エアコンプレッサーがプロワ化され 高効率コンペアが導入されているか。 既存設備に対して、ブロー工程が縮小されているか。 ブロワのインレットペーン制御が、生産プロセス用ブロワ・ の程度の割合で導入されているか。 プロワの動力伝達装置による減速が、生産プロセス用ブ	高効率(IE2)モータ プロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形プロワ・ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ あか。 れているか。 ているか。 ファン総電動機出力に対して、ど	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 採用無し 採用無し 採用無し 採用無し	0.2 0.3 0.5 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0
	5e.10 5e.11 5e.12 5e.13 5e.14 5e.15 5e.16	油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化 空圧駆動アクチュエータの低圧化 ブロー工程におけるエアコンプレッサーのブロワ化 高効率コンベアの導入 ブロー工程の縮小 ブロワのインレットペーン制御の導入	生産プロセス(特殊排気設備を含む。)において、高効率 ブロワ・ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で 油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化が導入されている 高圧仕様の空圧駆動アクチュエータが低圧仕様に変更さ ブロー工程において、エアコンプレッサーがブロワ化され 高効率コンペアが導入されているか。 ブロワインレットペーン制御が、生産プロセス用プロワ・ の程度の割合で導入されているか。	高効率(IE2)モータ プロワ・ファンが、生産プロセス用 導入されているか。 モータ直結形プロワ・ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ 高効率(IE2)モータ ふか。 れているか。 ているか。 ファン総電動機出力に対して、ど コワ・ファン総電動機出力に対し	5%以上30%未満に採用 30%以上70%未満に採用 5%未満に採用又は採用無し 5%未満に採用又は採用無し 採用無し 採用無し 採用無し 採用無し 採用無し 5%未満に採用又は採用無し	0.2 0.3 0.5 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0

511 ウリーンルームのローカルリターン方式の導入 クリーンルームの天井園にファンフィルタユニットのほろいで、回転商に対して、どの程度の割合で導入されているか。 全て採用 512 名エネ型ファンフィルタユニットの導入 名エネ型ファンフィルタユニットの導入 (ロブランレスモーダ) 95%以上に採用 512 名エネ型ファンフィルタユニットの導入 名エネ型ファンフィルタユニットの意動機能力に対して、どの程度の の割合で導入されているか。 (ロブランレスモーダ) 95%以上に採用 513 アンフス・クショニットの合数制制の導入 クリーンルームのアンフィルクユニットの合数制制が、クリーンルームの尿電商に対して、どの程度の割合で導入されているか。 全て採用 514 平薄体プロセス等1は15点所がリーン化の導入 半導体プロセス等には15点のパーレークジャンム 2012 2012 - 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 </th <th><u>f.</u></th> <th></th> <th>特殊空調設備</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>	<u>f.</u>		特殊空調設備				
ウーン方式が、クリーンルームの東亜剤に切て、どの程度の得らで導入されているか。 生で料用 ー 512 第14				評価内容		取組状況の程度	評価点
563 ウオンストレクショントの合数制御の導入 0) コンシルームのアンフィルクユニットの合数制御が、クリーンルームの床面描に対して、全て採用 1 563 ファンフィルクユニットの合数制御の導入 0) コンルームのアンフィルクユニットの合数制御が、クリーンルームの床面描に対して、全て採用 - 564 平導体プロセス等における局所クリーン化の導入 オーダムアンスクルクユニットの合数制御が、クリーンルームの床面描に対して、全て採用 - 565 クリーンルーム空調機にワリーンルームへの変調他にワリーンルーム人の原面トグリーンルーム 955 クリーンルームの変調他にワリーンルームのの高所クリーン化が 採用 1 565 クリーンルームの変調機にワリーンルームのの面子が見ていているか。 第日 国金国室室の高分を読力式のあ、 955 クリーンルームの変調機にワリーンルームの変調をで導入されているか。 955 クリーンルームの方法 第日 1 566 国金国室室の高分を読力式の事入 国金国室室の高分を読力式がして、認識問題に対して、どの程度の高合で導入されているか。 955 クリーンルームの参加を読力式がして、認識問題に対して、どの程度の高合で導入されているか。 955 会工) (5f.1	クリーンルームのローカルリターン方式の導入			全て採用	-
101 101 </td <td>) (</td> <td>5f.2</td> <td>省エネ型ファンフィルタユニットの導入</td> <td></td> <td>電動機出力に対して、どの程度</td> <td></td> <td>1</td>) (5f.2	省エネ型ファンフィルタユニットの導入		電動機出力に対して、どの程度		1
51:3 ファンフィルタユニットの合数制御の導入 フリーンルームのアンフィルタユニットの合数制御が、プリーンルームの床面積に対して、 20万度の割合で導入されているか。 金て復用 51:4 半導体プロセス等における局所クリーン化の導入 半導体プロセス等において、クリーンルーム全体の清浄度種和のための局所クリーン化が 調入されているか。 第5:5 クリーンルーム空調機のインバーク射御の導入 20万度の割合で導入されているか。 第5:5 クリーンルーム空調機のインバーク射御の導入 10 51:5 クリーンルーム空調機のインバーク射御の導入 20万度の部分層流力式の導入 10 2015(1) 2012(1) 95:5(1) 11 51:6 位置恒温室の部分層流力式の導入 10 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1) 2015(1) 2012(1)				DO	Cブラシレスモータ	95%以上に採用	1
ビの程度の割をで導入されているか。 全て採用				誘	導モータ+インバータ制御	5%未満に採用又は採用無し	0
時代 市人工の一会空調像(2) (1) <) {	5f.3	ファンフィルタユニットの台数制御の導入		ーンルームの床面積に対して、	全て採用	-
11 11 1958年に採用 1958年に採用 1958年に採用 1958年に採用 1 516 信濃恒湿室の部分層流方式の導入 信濃恒湿空の部分層流方式の導入 金て採用 - 517 信濃恒湿室の部分層流方式の導入 位置恒湿室において減価量量法、パパス法(生学物減速以子ンカン空調)又は廃熱回 収異熱法の再熱負荷の軽減手法が、信湿値湿室の床面積に対して、どの程度の割合で導入さ れているか。 金て採用 - 517 信濃恒湿室のあが層流方式の導入 パレックンジを認識機による除湿再熱システムがある場合、冷球ホットガスレビート除湿シス ケムパ、除湿再熟用パッケッンジ形空調機による除湿再熱システムがある場合、冷球ホットガスレビート除湿シス ケムパ、除湿再熱用パッケッンジ形空調機による除湿再熱システムがある場合、冷球ホットガスレビート除湿シス ケムパ、除湿再熱用/パッケーンドを認識機にある除湿再熱システムがある場合、冷球ホットガスレビート除湿シス ケムパ、除湿再熱用/パッケーンドを認識機にある除湿再剤を成功能力に対して、どの程度の割合で導入さ れているか。 グタネと マスパ 518 常滋ホット煮酸皮膚の両入 高効率冷冻・冷蔵設備の高入 ボタンテム グタントレート除湿システムの導入 パレシント・シンの発展 519 高効率冷冻・冷蔵設備の高入 高効率冷冻・冷蔵設備の高入 ボタントレーシン・ パレシント・シンの発展 パレシント 510 クリーンレームの顕然処理用にデライコイルの導入 パレーシルームの顕然処理用にデライコイルが導入されているか。 「確備したの不多利御 パレシンの未満したの未満したのよい 採用 511 クリーンレームの顕然処理用にデライコイルの導入 クリーンルームの顕然処理用にデライコイルが導入されているか。 採用 1 5113 含エネ制部システムの導入 クリーンルームの顕然の地理用にデラインボックシ利 採用無し 1 5113 クローンパーク調用 クリーンルームの顕然を取りたるれたいるか。 採用無し 1 5114 クリーンルームの新装用がシステムの導入	Ę	5f.4	半導体プロセス等における局所クリーン化の導入		暖和のための局所クリーン化が	採用	1
れているか。 全て採用 ー 567 恒温恒湿室の再熱負荷の軽減手法の導入 恒温恒湿室の下熱負荷の軽減手法が、恒温恒湿室の床部積に対して、どの程度の割合で導入されているか。 全て採用 ー 568 冷媒ホットガスレヒート除湿システムの導入 パッケージ形空調機による除湿再熱システムがある場合、冷媒ホットガスレヒート除湿システムの導入 パッケージ形空調機による除湿再熱システムがある場合、冷媒ホットガスレヒート除湿システムがある場合、冷媒ホットガスレヒート除湿システムの導入 パッケージ形空調機総合和能わに対して、どの程度の割合で導入されているか。 がまたいもか。 569 高効率冷凍・冷蔵設備の導入 高効率冷凍・冷蔵設備の導入 パッケージ形空調機能が、冷凍・冷蔵設備の圧縮機能電動機出カに対して、どの程度の 0.6 579 高効率冷凍・冷蔵設備の導入 高効率冷凍・冷蔵設備の導入 高効率冷凍・冷蔵設備の導入 パッケージ形空調機能の「冷凍・冷蔵設備の圧縮機能電動機出カに対して、どの程度の 0.6 5618 冷球や点・冷蔵設備の導入 高効率冷凍・冷蔵設備の導入 パッケージルの協力 パッケージが空調 パッケージの程度の割合で導入されているか。 パック パック パッケージの 0.6 5619 高効率冷凍・冷蔵設備の導入 高売本菜・冷蔵設備の消入 高売本売業、冷蔵設備の消入 パック パック パック パック) {	5f.5	クリーンルーム空調機のインバータ制御の導入			95%以上に採用	1
小菜科茶店の再熟負荷の経滅手法が、恒温恒温室の床面積に対して、どの程度の割合で導 入きれているか。 全て採用 568 冷媒ホッドガスレヒート除湿システムの導入 パッケージ形空調機による除温再整システムがある場合、冷媒ホッドガスレヒート除湿シス イムが、除温再熱用パッケーン浴空調機による除温再整システムがある場合、冷媒ホッドガスレビート除湿シス イムが、除温再熱用パッケーン浴空調機による除温再整システムがある場合、冷媒ホッドガスレビート除湿シス イムが、除温再熱用パッケーン浴空調機にある除温再整システムがある場合、冷媒ホッドガスレビート除湿シス イムが、除温再熱用パッケーン浴空調機にある除温電熱システムの場えして、どの程度の 0.6 56.9 高効率冷凍・冷蔵設備の導入 高効率冷凍・冷蔵設備が、冷凍・冷蔵設備の正確機総電動機出力に対して、どの程度の 割合で導入されているか。 0.6 第200月 アパトレニ950未満に採用 0. 10%以上950未満に採用 0. 70%以上950未満に採用 0. 70%以上950 70%以上950未満に採用 0. 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上950 70%以上95) (5f.6	恒温恒湿室の部分層流方式の導入		して、どの程度の割合で導入さ	全て採用	-
ライムが、除湿再熱用パッケージ形空調機総冷却能力に対して、どの程度の割合で導入されているか。れているか。れているか。 対象設備無し ・ 5f9 高効率冷凍・冷蔵設備の導入 高効率冷凍・冷蔵設備の正磁機総電動機出力に対して、どの程度の 0.6 第合で導入されているか。 冷凍庫壁面の高断熱化 70%以上95%未満に採用 0.0 第合で導入されているか。 冷凍庫壁面の高断熱化 70%以上95%未満に採用 0.0 第金の違み 高効率冷凍・冷蔵設備の目動間に 70%以上95%未満に採用 0.0 第金の違み 70%以上95%未満に採用 0.0 第金の違み 70%以上95%未満に採用 0.0 第金の違うのごのの勤務処理用ドライコイルの導入 70%以上95%未満に採用 0.0 「市磁催入口力ズをの断熱化 70%以上95%未満に採用 0.0 「市磁躍用のシスークの参数 70%以上95%未満に採用 0.0 「市磁躍和フシスームの顕然処理用ドライコイルの導入 70%シレームの顕然処理用にドライコイルが導入されているか。 採用 5f.11 クリーンルームの陽正排気が、一般道の空運調負荷(低添)に利用されているか。 採用 1 5f.12 クリーンルームの器用 アリーンルームの器用がシステムの導入 70%シレームのるエリアの急機構を整視した省である 採用 5f.14 クリーンルームの発展前電 70%シレンのシステムの導入 1 1 5f.14 クリーンルームの発展前後立ステムの導入 70%シレンのシスームの考査切りの決入 採用無し 0 5f.14 クリーンルームの参加数参支数に設のためが、システムの多 採用無し 0		5f.7	恒温恒湿室の再熱負荷の軽減手法の導入	収再熱法の再熱負荷の軽減手法が、恒温恒湿室の床面積		全て採用	-
前合で導入されているか。 ○66 冷凍庫望面の高断熱化 70%以上95%未満に採用 ○ 前空の導入 70%以上95%未満に採用 ○ 前空の導入 70%以上95%未満に採用 ○ 市空の導入 70%以上95%未満に採用 ○ 市空の導入 70%以上95%未満に採用 ○ 1 70%レン95%未満に採用 ○ 1 70%レン400高所治却システムの導入 70%レン400高所治却システムの導入 70%レン95%未満に採用 1 70%レン400高所治却システムの導入 70%レン400高所治却システムの導入 70%レン95%未満に採用 1 70%レン400高所治却システムの薄点 採用 1 56.11 70%レン400高調動 2 70%レン40公表会		5f.8	冷媒ホットガスレヒート除湿システムの導入	テムが、除湿再熱用パッケージ形空調機総冷却能力に対し		対象設備無し	-
前室の導入 70%以上95%未満に採用 0. 第へ口気程やアーによる扉の自動開開た 70%以上95%未満に採用 0. 第本のご見やアーによる扉の自動開用た 70%以上95%未満に採用 0. 第本のご見やアーによる扉の自動開用た 70%以上95%未満に採用 0. 第本のご見やアーによる扉の自動開用た 70%以上95%未満に採用 0. 第本のご見やアーによる扉の自動開た 70%以上95%未満に採用 0. 第本のご見やアーによる原の自動開用た 70%以上95%未満に採用 0. 「店舗 ペンパータ句刷 5%以上90%未満に採用 0. 「店舗 クリーンルームの周所冷却システムの導入 クリーンルームの周所冷却システムが導入されているか。 採用 1 56.12 クリーンルームの陽圧排気の一般室利用 クリーンルームの陽圧排気が、テムが導入されているか。 採用無し 0. 56.13 第エネ型クリーンルームの陽圧排気が、テムを空ご開食荷低減に利用されているか。 採用 1 56.14 クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入 数理計画型モデルア-新制師を温湿度 動創いに応用た省エネ型クリーンルーム空調コント 採用無し 0. 56.15 恒温恒温室の露点飽和散水システムの導入 1 1 1 1 1 56.16 動物実験施設の全人気ごの導入 1 1 1 1 1 56.16 動物実験施設の全人気ごの導入 数物実験施設の全人気になる部分換気方式のふる。 採用無し 0. 56.17 換気式前育育ックによる部分換気気方式の導入 ジャンパー) (5f.9	高効率冷凍・冷蔵設備の導入		機出力に対して、どの程度の		0.69
協力 Comp Comp <th< td=""><td></td><td></td><td></td><td>冷</td><td> 凍庫壁面の高断熱化</td><td>70%以上95%未満に採用</td><td>0.8</td></th<>				冷	凍庫壁面の高断熱化	70%以上95%未満に採用	0.8
				前	「室の導入	70%以上95%未満に採用	0.8
				搬	入口近接センサーによる扉の自動開閉化	70%以上95%未満に採用	0.8
小却器用ファンの台数制御 5%以上30%未満に採用 0. 万f.10 クリーンルームの顕熱処理用ドライコイルの導入 クリーンルームの顕熱処理用にドライコイルが導入されているか。 採用 1 5f.11 クリーンルームの局所冷却システムの導入 クリーンルームの局所冷却システムが導入されているか。 採用 1 5f.12 クリーンルームの局所冷却システムの導入 クリーンルームの陽圧排気が、一般室の空調負荷低減に利用されているか。 採用 1 5f.12 クリーンルームの陽圧排気の一般室利用 クリーンルームの陽圧排気が、一般室の空調負荷低減に利用されているか。 採用 1 5f.13 省エネ型クリーンルーム空調コントローラの導入 数理計画型モデル予測制御を温湿度制御に応用した省エネ型クリーンルーム空調コント 採用無し 0 5f.13 イネ型型クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入 数理計画型モデル予測制御を温湿度利御に応用した省エネ型クリーンルーム空調コント 採用無し 0 5f.14 クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入 数理計画型モデルを約負責 空動御台を当びの飲負債を監視して、外調機の給気温度を必要以上に高くする 採用無し 0 5f.15 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入 恒温恒湿室の露点飽和散水システム(DPC(Dew Point Control)方式)が導入されているか。 採用無し 0 5f.16 動物実験施設の全気会観の教え、からためたいるかに、シックントレンパームのか気負気電アンパーの海気 野物実験施設の会気気間育シックによる部分換気方式の導入 採用無し 0 5f.17 換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 動物実験施設の換気式創育ラックによる部分換気方式の導入 採用無し 0 5f.18 少排気量ドラフトチャンバーの海気 デラントチャンバーの海気目で導入されているか。 採用無し 0				着	f霜制御(デフロスト)	70%以上95%未満に採用	0.8
回用 Image: Second				匠	縮機入口ガス管の断熱化	70%以上95%未満に採用	0.8
5f.10 クリーンルームの顕熱処理用ドライコイルの導入 クリーンルームの顕熱処理用にドライコイルが導入されているか。 採用 1 5f.11 クリーンルームの局所冷却システムの導入 クリーンルームの陽圧排気の一般室利用 クリーンルームの陽圧排気が、一般室の空調負荷低減に利用されているか。 採用 1 5f.12 クリーンルームの陽圧排気の一般室利用 クリーンルームの陽圧排気が、一般室の空調負荷低減に利用されているか。 採用 1 5f.13 省エネ型クリーンルームの陽圧排気の一般室利用 クリーンルームの陽圧排気が、一般室の空調負荷低減に利用されているか。 採用 1 5f.13 インーンルームの陽圧排気の一般室利用 クリーンルームの陽圧排気が、一般室の空調負荷低減に利用されているか。 採用 1 5f.14 クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導 カリーンルームの陽圧排気が、一般室の空調クントローク空調コント 採用無し 0 5f.14 クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導 クリーンルームの各ェリアの熱負荷を監視して、外調機の給気温度を必要以上に高くする 採用無し 0 5f.15 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入 グリーンルームの各ェリアの熱負荷を監視して、外調機の給気温度を必要以上に高くする 採用無し 0 5f.16 動物実験施設の全気気気のの空気熱交換器の導入 動物実験施設の全外気空調方式の所え負荷低減のために、空気熱交換器が導入されているか。 採用無し 0 5f.16 動物実験施設の換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 小排気量ドラフトチャンパーのデンドランドチャンパーの海域気 採用無し 0 5f.17 換気式飼育ラックによる部分換気量可変制御システムの導入 少排気量ドラフトチャンパーのフード開口面積又は人検知センサー制御による換気量の割合で導入されているか。 採用無し 0 5f.19 ドラフトチャンパーの冷泳機気				冷	却器用ファンの台数制御	5%以上30%未満に採用	0.2
5f:11 クリーンルームの局所冷却システムの導入 クリーンルームの局所冷却システムが導入されているか。 採用無し 0 5f:12 クリーンルームの陽圧排気の一般室利用 クリーンルームの陽圧排気が、一般室の空調負荷低減に利用されているか。 採用 1 5f:13 省エネ型クリーンルーム空調コントローラの導入 数理計画型モデル予測制御を温湿度制御に応用した省エネ型クリーンルーム空調コント 採用無し 0 5f:14 クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入 クリーンルームの各エリアの熱負荷を監視して、外調機の給気温度を必要以上に高くする 採用無し 0 5f:14 クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入 クリーンルームの各エリアの熱負荷を監視して、外調機の給気温度を必要以上に高くする 採用無し 0 5f:15 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入 クリーンルームの各エリアの熱負荷を監視して、外調機の給気温度を必要以上に高くする 採用無し 0 5f:16 動物実験施設への空気熱交換器の導入 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入 採用無し 0 5f:16 動物実験施設の全外気空調方式の外気負荷低減のために、空気熱交換器が導入されているか。 採用無し 0 5f:17 換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 動物実験施設の換気式飼育ラックによる部分換気方式が導入されているか。 採用無し 0 5f:18 少排気量ドラフトチャンパーの換気量可変制御システムの導入 少排気量ドラフトチャンパーの会装したいて、どの程度の割合で導入 採用無し 0 5f:19 ドラフトチャンパーの換気量可変制御システムの導入 空調予約コイルへの冷凍機冷却水利用システムの導入 採用無し 0 0 5f:19 ドラフトチャンパーの換気量可変制御システムの導入 空調予約コイルへの冷凍機冷却水利用システムの導入 空調予約コイルへの冷凍機冷却水利用システムの導入 採用無し 0 5f:20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水				圧	縮機インバータ制御	70%以上95%未満に採用	0.8
5f:12 クリーンルームの陽圧排気の一般室利用 クリーンルームの陽圧排気が、一般室の空調負荷低減に利用されているか。 採用 1 5f:12 グリーンルーム空調コントローラの導入 数理計画型モデル予測制御を温湿度制御に応用した省エネ型クリーンルーム空調コント 採用無し 0 5f:14 グリーンルーム空調コントローラの導入 数理計画型モデル予測制御を温湿度制御に応用した省エネ型クリーンルーム空調コント 採用無し 0 5f:14 グリーンルームの外調機省エネ制御システムの導 グリーンルームの各工リアの熱負荷を監視して、外調機の給気温度を必要以上に高くする 採用無し 0 5f:15 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入 恒温恒湿空の露点飽和散水システム(DPC(Dew Point Control)方式)が導入されているか。 採用無し 0 5f:16 動物実験施設への空気熱交換器の導入 動物実験施設の全外気空調方式の外気負荷低減のために、空気熱交換器が導入されているか。 採用無し 0 5f:16 動物実験施設の全外気空調方式の外気負荷低減のために、空気熱交換器が導入されているか。 採用無し 0 5f:17 換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 動物実験施設の換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 採用無し 0 5f:18 少排気量ドラフトチャンバーの導入 少排気量ドラフトチャンバーのが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入 採用無し 0 5f:19 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導 デンが、ドラフトチャンバー会数に対して、どの程度の割合で導入 採用無し 0 5f:20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムが導入されているか。 採用無し 0 5f:21 塗装プース空調のウィンドウ制御の導入 塗装プースの有人ゾーン・以外のエリアへの排気リサイルシステムが導入されているか。 採用無し 0 5f:22 冷凍車ブラットホームへの冷房設備の導入 <t< td=""><td>5</td><td>if.10</td><td>クリーンルームの顕熱処理用ドライコイルの導入</td><td>クリーンルームの顕熱処理用にドライコイルが導入されてい</td><td>るか。</td><td>採用</td><td>1</td></t<>	5	if.10	クリーンルームの顕熱処理用ドライコイルの導入	クリーンルームの顕熱処理用にドライコイルが導入されてい	るか。	採用	1
5f:13 省エネ型クリーンルーム空調コントローラの導入 数理計画型モデル予測制御を温湿度制御に応用した省エネ型クリーンルーム空調コント 採用無し C 5f:14 クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入 クリーンルームの各エリアの熱負荷を監視して、外調機の給気温度を必要以上に高くする 採用無し C 5f:14 クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入 クリーンルームの各エリアの熱負荷を監視して、外調機の給気温度を必要以上に高くする 採用無し C 5f:15 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入 位温恒湿室の露点飽和散水システム(DPC(Dew Point Control)方式)が導入されているか。 採用無し C 5f:16 動物実験施設への空気熱交換器の導入 恒温恒湿室の露点飽和散水システム(DPC(Dew Point Control)方式)が導入されているか。 採用無し C 5f:16 動物実験施設の企外気空調方式の外気負荷低減のために、空気熱交換器が導入されているか。 採用無し C 5f:17 換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 動物実験施設の換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 採用無し C 5f:18 少排気量ドラフトチャンバーの導入 少排気量ドラフトチャンバーが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入 採用無し C 5f:19 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導 ドラフトチャンバーのフード開口面積又は人検知センサー制御による換気量可変制御シス テムが、ドラフトチャンバー金台数に対して、どの程度の割合で導入 採用無し C 5f:20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムの導入 採用無し C 5f:21 塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入 塗装ブース空調のウィンドウ制御が導入されているか。 採用無し C 5f:22 冷凍車ブラットホームへの冷凍酸(南導入) 塗装ブース空調のウィンドウトシステムの導入 塗装ブースの有人ゾーン以外のエリアへの排気(リサイクルシステムが導入されているか。 採用無し C </td <td>5</td> <td>if.11</td> <td>クリーンルームの局所冷却システムの導入</td> <td>クリーンルームの局所冷却システムが導入されているか。</td> <td></td> <td>採用無し</td> <td>0</td>	5	if.11	クリーンルームの局所冷却システムの導入	クリーンルームの局所冷却システムが導入されているか。		採用無し	0
ローラが導入されているか。 採用無し ローラが導入されているか。 5f.14 クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入 クリーンルームの各エリアの熱負荷を監視して、外調機の給気温度を必要以上に高くする のではなく、最適に調整する外調機省エネ制御システムが導入されているか。 採用無し CC 5f.15 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入 振用無し CC 5f.16 動物実験施設の全気熱交換器の導入 動物実験施設の全外気空調方式の外気負荷低減のために、空気熱交換器が導入されているか。 採用無し CC 5f.16 動物実験施設の全気熱交換器の導入 動物実験施設の全外気空調方式の外気負荷低減のために、空気熱交換器が導入されているか。 採用無し CC 5f.17 換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 動物実験施設の換気式飼育ラックによる部分換気方式が導入されているか。 採用無し CC 5f.18 少排気量ドラフトチャンバーの導入 少排気量ドラフトチャンバーのが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入 採用無し CC 5f.19 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導入 ドラフトチャンバーのつつード開口面積又は人検知センサー制御による換気量可変制御シス テムが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。 採用無し CC 5f.19 ドラフトチャンバーの冷凍機冷却水利用システムの導入 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムが導入されているか。 採用無し CC 5f.20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムが導入されているか。 採用無し CC 5f.22 塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入 塗装ブース空調のウィンドウ制御が導入されているか。 採用無し CC 5f.22 冷凍 車ブラットホームへの冷房設備の導入 冷凍 支 次車の負荷を低減するたのに、	5	if.12	クリーンルームの陽圧排気の一般室利用	クリーンルームの陽圧排気が、一般室の空調負荷低減に利	川用されているか。	採用	1
入 のではなく、最適に調整する外調機省エネ制御システムが導入されているか。 採用無し C 5f.15 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入 恒温恒湿室の露点飽和散水システム(DPC(Dew Point Control)方式)が導入されているか。 採用無し C 5f.16 動物実験施設への空気熱交換器の導入 動物実験施設の全外気空調方式の外気負荷低減のために、空気熱交換器が導入されているか。 採用無し C 5f.17 換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 動物実験施設の換気式飼育ラックによる部分換気方式が導入されているか。 採用無し C 5f.17 換気気量ドラフトチャンバーの導入 少排気量ドラフトチャンバーのたる部分換気方式の導入 販物実験施設の換気式飼育ラックによる部分換気方式が導入されているか。 採用無し C 5f.18 少排気量ドラフトチャンバーの導入 少排気量ドラフトチャンバーのクード開口面積又は人検知センサー制御による換気量可変制御シス たれているか。 採用無し C 5f.19 ドラフトチャンバーのの冷気量の割白で導入 ドラフトチャンバーのフード開口面積又は人検知センサー制御による換気量可変制御シス テムが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入 されているか。 採用無し C 5f.20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 採用無し C 5f.21 塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入 塗装ブース空調のウィンドウ制御が導入されているか。 採用無し C 5f.22 塗装ブース排気リサイクルシステムの冷房設備の導入 冷凍庫の負荷を低減するために、外部と仕切られた冷凍車のブラットホームに冷房設備が 採用無し C 5f.23 冷凍車ブラットホームへの冷房設備の導入 冷凍車の負荷を低減するために、外部と仕切られた冷凍車のブラットホームに冷房設備が 採用無し C	5	if.13	省エネ型クリーンルーム空調コントローラの導入		ネ型クリーンルーム空調コント	採用無し	0
か。 採用無し 次。 5f.16 動物実験施設への空気熱交換器の導入 動物実験施設の全外気空調方式の外気負荷低減のために、空気熱交換器が導入されているか。 採用無し CC 5f.16 動物実験施設の全外気空調方式の外気負荷低減のために、空気熱交換器が導入されているか。 採用無し CC 5f.17 換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 動物実験施設の換気式飼育ラックによる部分換気方式が導入されているか。 採用無し CC 5f.18 少排気量ドラフトチャンバーの導入 少排気量ドラフトチャンバーが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入 採用無し CC 5f.19 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導 入 デンドラフトチャンバーのつつード開口面積又は人検知センサー制御による換気量可変制御シス テムが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。 採用無し CC 5f.19 ドラフトチャンバーの冷凍機冷却水利用システムの導 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。 採用無し CC 5f.20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムが導入されているか。 採用無し CC 5f.21 塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入 塗装ブース空調のウィンドウ制御が導入されているか。 採用無し CC 5f.22 塗装ブース市具の 塗装ブースの有人ゾーン以外のエリアへの排気リサイクルシステムが導入 採用無し CC 5f.23 冷凍車ブラットホームへの冷房設備の導入 冷凍庫の負荷を低減するために、外部と仕切られた冷凍車のブラットホームに冷房設備が 採用無し CC	5	if.14	クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入			採用無し	0
いるか。 採用無し いるか。 5f.17 換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入 動物実験施設の換気式飼育ラックによる部分換気方式が導入されているか。 採用無し 0 5f.18 少排気量ドラフトチャンバーの導入 少排気量ドラフトチャンバーのが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入 採用無し 0 5f.19 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導 入 ゲラフトチャンバーのつつド開口面積又は人検知センサー制御による換気量可変制御シス テムが、ドラフトチャンバーの合力、 採用無し 0 5f.20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムが導入されているか。 採用無し 0 5f.21 塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入 塗装ブース空調のウィンドウ制御が導入されているか。 採用無し 0 5f.22 塗装ジースない、ジャンパーの有人ゾーン以外のエリアへの排気リサイクルシステムが導入されているか。 採用無し 0 5f.22 塗装ブース非気リサイクルシステムの導入 塗装ブースの有人ゾーン以外のエリアへの排気リサイクルシステムが導入されているか。 採用無し 0 5f.23 冷凍車プラットホームへの冷房設備の導入 冷凍庫の負荷を低減するために、外部と仕切られた冷凍車のブラットホームに冷房設備が 採用無し 0	. 5	if.15	恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入		ntrol)方式)が導入されている	採用無し	0
5f.18 少排気量ドラフトチャンバーの導入 少排気量ドラフトチャンバーのたいで、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入 採用無し C 5f.19 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導入 ドラフトチャンバーのフード開口面積又は人検知センサー制御による換気量可変制御システムの導入 採用無し C 5f.19 ドラフトチャンバーのの冷凍機冷却水利用システムの導入 ジボラフトチャンバーのフード開口面積又は人検知センサー制御による換気量可変制御システムのか。 採用無し C 5f.20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 採用無し C 5f.21 塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入 塗装ブース空調のウィンドウ制御が導入されているか。 採用無し C 5f.22 塗装ブース非気リサイクルシステムの導入 塗装ブースの有人ゾーン以外のエリアへの排気リサイクルシステムが導入されているか。 採用無し C 5f.23 冷凍車プラットホームへの冷房設備の導入 冷凍庫の負荷を低減するために、外部と仕切られた冷凍車のブラットホームに冷房設備が 採用無し C	. 5	if.16	動物実験施設への空気熱交換器の導入		こ、空気熱交換器が導入されて	採用無し	0
はれているか。 なれているか。 5f.19 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導 ドラフトチャンバーのつつド開口面積又は人検知センサー制御による換気量可変制御シス テムが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。 ゲームが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。 採用無し の導入 5f.20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムが導入されているか。 採用無し の 5f.22 塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入 塗装ブース空調のウィンドウ制御が導入されているか。 採用無し の な装装ブースの有人ゾーン以外のエリアへの排気リサイクルシステムが導入されているか。 採用無し の な装装ブースの有人ゾーン以外のエリアへの排気リサイクルシステムが導入されているか。 採用無し の	- 5	if.17	換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入	動物実験施設の換気式飼育ラックによる部分換気方式が導	導入されているか。	採用無し	0
入 テムが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。 採用無し C 5f.20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム の導入 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システム の導入 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムが導入されているか。 採用無し C 5f.21 塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入 塗装ブース空調のウィンドウ制御が導入されているか。 採用無し C 5f.22 塗装ブース排気リサイクルシステムの導入 塗装ブースの有人ゾーン以外のエリアへの排気リサイクルシステムが導入されているか。 採用無し C 5f.23 冷凍車プラットホームへの冷房設備の導入 冷凍庫の負荷を低減するために、外部と仕切られた冷凍車のブラットホームに冷房設備が 採用無し C				されているか。		採用無し	0
の導入 採用無し に 5f.21 塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入 塗装ブース空調のウィンドウ制御が導入されているか。 採用無し C 5f.22 塗装ブース排気リサイクルシステムの導入 塗装ブースの有人ゾーン以外のエリアへの排気リサイクルシステムが導入されているか。 採用無し C 5f.23 冷凍車プラットホームへの冷房設備の導入 冷凍庫の負荷を低減するために、外部と仕切られた冷凍車のブラットホームに冷房設備が 採用無し C	Ĺ		Л	テムが、ドラフトチャンバー全台数に対して、どの程度の割合	合で導入されているか。	採用無し	0
5f.22 塗装ブース排気リサイクルシステムの導入 塗装ブースの有人ゾーン以外のエリアへの排気リサイクルシステムが導入されているか。 採用無し 00 5f.23 冷凍車プラットホームへの冷房設備の導入 冷凍庫の負荷を低減するために、外部と仕切られた冷凍車のプラットホームに冷房設備が 採用無し 10			の導入		いるか。		0
5f.23 冷凍車プラットホームへの冷房設備の導入 冷凍庫の負荷を低減するために、外部と仕切られた冷凍車のプラットホームに冷房設備が 採用無 の							0
						採用無し	0
	- 5	if.23	冷凍車プラットホームへの冷房設備の導入		のプラットホームに冷房設備が	採用無し	0
	g.	-	特殊排気設備				

	5.	1 T 7/T 17F X 6 X 108			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	5g.1	高効率脱臭装置の導入	蓄熱燃焼式(リジェネ式)、吸着濃縮式、触媒燃焼式、又はマイクロガスタービン燃焼式の 高効率脱臭装置が導入されているか。	採用	1
0	5g.2	生産設備と脱臭装置の連動制御の導入	塗工機等の生産設備が24時間連続運転でない場合、生産設備と脱臭装置の連動制御が 導入されているか。	採用	1
+		直燃式脱臭装置の廃熱回収ボイラー・エコノマイ ザーの導入	直燃式脱臭装置に廃熱回収ボイラー又はエコノマイザーが導入されているか。	採用無し	0
+	5g.4	直燃式脱臭装置の精留副生液の混合燃焼システ ムの導入	直燃式脱臭装置に精留副生液の混合燃焼システムが導入されているか。	採用無し	0
+	5g.5	直燃式脱臭装置の待機時温度低下制御の導入	直燃式脱臭装置の待機時の設定温度を下げる待機時温度低下制御が導入されている	採用無し	0
+	5g.6	スクラバーの廃熱回収システムの導入	排気処理用スクラバーに熱交換器を設置した廃熱回収システムが導入されているか。	採用無し	0

	h.	純水供給設備			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	5h.1	純水ポンプのインバータ制御の導入	純水ポンプのインバータ制御が、純水ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%未満に採用又は採用無し	0
0	5h.2	超低圧RO膜の導入	ポンプの小型化又は押込圧力の低減のために、超低圧RO膜が導入されているか。	採用	1
0	5h.3	高効率UV酸化装置の導入	低圧UV酸化装置に電子式安定器が導入されているか。	採用	1
+	5h.4	純水ROブライン回収装置の導入	純水ROブライン回収装置が導入されているか。	採用無し	0
+	5h.5	純水冷却循環システムの導入	冷却水廃熱を回収し、1次純水の熱源に利用する純水冷却循環システムが導入されているか。	採用無し	0
+	5h.6	廃熱利用による蒸留式純水製造装置の導入	廃熱利用による蒸留式純水製造装置が導入されているか。	採用無し	0

i.	場内輸送設備			
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
5i.1	高効率フォークリフトの導入		過半に採用	-
5i.2	低燃費車の導入		過半に採用	-
5i.3	高効率トランスファークレーンの導入	高効率トランスファークレーンが、トランスファークレーン(電動のものを除く。)全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	港湾施設無し	-
	5i.1 5i.2	No. 評価項目 5i.1 高効率フォークリフトの導入 5i.2 低燃費車の導入	No. 評価項目 評価内容 5i.1 高効率フォークリフトの導入 電動、ハイブリッド又はブロパンなどの高効率フォークリフトが、フォークリフトを台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。 5i.2 低燃費車の導入 重機及び場内車両に低燃費車が、重機及び場内車両(ナンバープレートのあるものを除く。)全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。 5i.3 高効率トランスファークレーンの導入 高効率トランスファークレーン(電動のものを除く。)全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	No. 評価項目 評価内容 取組状況の程度 5i.1 高効率フォークリフトの導入 電動、ハイブリッド又はプロパンなどの高効率フォークリフトが、フォークリフトを台数に対し て、どの程度の割合で導入されているか。 過半に採用 5i.2 低燃費車の導入 重機及び場内車両に低燃費車が、重機及び場内車両(ケンパープレートのあるものを除 く。)全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。 過半に採用 5i.3 高効率トランスファークレーンの導入 高効率トランスファークレーン(電動のものを除く。)全台数に対し

	5. a.	備及び事業所の運用に関する事項 生産・プラント・特殊設備の運用管理 燃料の燃焼	※ 上水道施設、下水道施設、廃棄物処理施設は評価対象外とする。		
Γ	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
	5a.1	燃焼設備の空気比の管理	燃焼設備の空気比管理がどの程度実施されているか。	目標空気比	1
	5a.2	燃焼設備の運転台数の調整	複数の燃焼設備を使用する場合、負荷の集約化のために運転台数の調整が実施されて いるか。	実施	1
	5a.3	燃料の管理	燃料の性状に応じて、燃焼効率を改善するために、燃料の粒度、水分、粘度等が適切に調 整されているか。	対象燃料無し	-
	5a.4	燃焼設備の空運転時間の短縮	燃焼設備の空運転時間の短縮が実施されているか。	実施無し	0
ł	b.	加熱及び冷却並びに伝熱			
Γ	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価の
	5b.1	熱媒体の温度・圧力・量の管理	熱量の過剰な供給を無くすために、熱媒体の温度、圧力及び量が適切に管理されている か。	実施	1
	5b.2	非使用時の蒸気供給バルブの閉止	蒸気を使用する熱利用設備が24時間連続運転でない場合で、かつ全ての蒸気が廃熱利 用でない場合、非使用時に蒸気供給バルブが閉止されているか。	実施	1
	5b.3	被加熱物・被冷却物の装てん方法の調整	過大負荷及び過小負荷を避けるために、操業状況の変化に応じて被加熱物又は被冷却物 の量及び炉内配置の見直しなど装てん方法の調整が実施されているか。	実施	1
	5b.4	炉内被加熱物の温度管理	過熱防止のために、炉内被加熱やの温度管理が、燃焼設備及び熱利用設備総定格エネルギー ルギー消費量に対して、どの程度の割合で実施されているか。	30%以上70%未満に採用	0.5
	5b.5	ヒートパターンの改善	設備の構造、被加熱物の特性、加熱、熱処理等の前後の工程に応じて、熱効率を向上さ	実施	1
┝	5b.6	工程間の待ち時間の短縮	せるために、ヒートパターンの改善が実施されているか。 加熱を反復して行う工程の場合、工程の待ち時間の短縮が実施されているか。	中华	
⊢				実施	1
⊢		複数の加熱等を行う設備の負荷の集約化 断続的な運転を行う設備の運転の集約化	複数の加熱等を行う設備がある場合、負荷の集約化が実施されているか。 断続的な運転を行う設備がある場合、運転の集約が実施されているか。	実施無し	0
⊢	5b.8 5b.9		断続的な連転を行う設備がめる場合、連転の集約が美絶されているか。 燃焼設備及び熱利用設備において、対流伝熱性能を改善するために、炉内ガスの循環を	実施無し	0
L			高めるような方策が実施されているか。	実施無し	0
(C.	<u>· 廃熱回収</u>			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価
	5c.1	排ガスの廃熱回収率の管理	排ガスの廃熱回収率が管理されているか。	実施	1
•	d.	断熱·保温			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価
	5d.1	燃焼設備・熱利用設備の開閉回数・開閉時間・開 口面積の管理	燃焼設備及び熱利用設備の開閉回数、開閉時間又は開口面積の管理が、燃焼設備及び 熱利用設備総定格エネルギー消費量に対して、どの程度の割合で実施されているか。	30%以上70%未満に採用	0.5
e	e.	_ 電動力応用設備・電気加熱設備			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価
		非使用時の電気使用設備の停止	非使用時に電気使用設備の停止又は1次側電源遮断が、待機状態のある電動力応用設 備及び電気加熱設備総電動機出力に対して、どの程度の割合で実施されているか。	30%以上70%未満に採用	0.5
	5e.2	電気炉における被加熱物の装てん方法の調整	電気炉において、被加熱物の量及び炉内配置の見直しなど装てん方法の調整が実施されているか。	実施	1
	5e.3	電気炉における炉内被加熱物の温度管理	電気炉において、過熱防止のために炉内被加熱物の温度管理が実施されているか。	実施	1
	5e.4	エアブローの適正化	圧縮空気の削減のために、エアブローの吹き付け範囲、エア噴射時間等の適正化が実施 されているか。	実施	1
	5e.5	生産プロセスにおけるポンプ・ブロワ・ファンの間欠 運転の実施	生産プロセスにおいて、ポンプ、ブロワ又はファンの間欠運転が、生産プロセス用ポンプ・ブロワ・ファン総電動機出カに対して、どの程度の割合で実施されているか。	5%以上30%未満に採用	0.2
	5e.6	電気炉におけるヒートパターンの改善	電気炉において、設備の構造、被加熱物の特性、加熱・熱処理等の前後の工程等に応じて、熱効率を向上させるために、ヒートパターンの改善が実施されているか。	実施	1
	5e.7	電気炉における工程間の待ち時間の短縮	電気炉において、加熱を反復して行う工程の待ち時間の短縮が実施されているか。	実施	1
	5e.8		適当な形状及び特性の電極を採用し、電極間の距離、電解液の濃度等を適正な値とし、導	実施無し	0
	5e.9	電気加熱設備のタップ切替・ON/OFFの実施	体の接触抵抗等を低減するような電解効率の改善対策が実施されているか。 温度による電気加熱設備のタップ切替又はON/OFFが実施されているか。	実施無し	0
	£	杜陆立朝机体			
	<u>f.</u>	特殊空調設備 評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価
	No. 5f.1	評価項日 クリーンルームの清浄度の適正化	管理値を上回り過剰品質にならないように、クリーンルームの清浄度の適正化が実施され	取組状況の程度	=₩1曲 1
	5f.2	非使用時の特殊空調室の低風量運転の実施	ているか。 夜間及び休日、無人時など非使用時に、特殊空調室の低風量運転又は間引き運転(自動	実施	1
	5f.3	 冷凍・冷蔵設備冷却器の除霜(デフロスト)の実施	制御が有効に機能している場合を含む。)が実施されているか。 冷凍・冷蔵設備冷却器の除霜(デフロスト)が実施されているか。(着霜制御がある場合も	冷凍・冷蔵設備無し	-
f	5f /	特殊空調室の温度・湿度設定の緩和	除霜実施とみなす。) 季節に応じて、特殊空調室の温度・湿度設定の変更が実施されているか。		
f				実施無し	0
f		特殊空調室の運転時間の短縮 特殊空調室の温度・湿度PID制御の調整	夜間、休日など特殊空調室の運転時間の短縮が実施されているか。 特殊空調室の加熱・冷却制御のインターバル等を実測及び分析し、温度・湿度PID制御パ	<u>実施無し</u> 実施無し	0
f	01.0		ラメーターの調整が実施されているか。 気流シミュレーションを活用し、クリーンルームの気流改善が実施されているか。		
f		気流シミュレーションによるクリーンルームの気流		実施無し	0
1		気流シミュレーションによるクリーンルームの気流 改善			
		_{改善} 特殊排気設備			
	5f.7 g. No.	改善 特殊排気設備 評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価)
f	5f.7 g. No.	_{改善} 特殊排気設備	評価内容 生産設備での必要風量に合わせて、特殊排気設備の排気量の適正化が実施されている か。	取組状況の程度 実施	評価 1

	h.	純水供給設備			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0		純水原水加温設定温度の適正化	生産設備に問題ない範囲で、純水原水加温設定温度の適正化が実施されているか。	実施無し	0
0	5h.2	RO装置等の運転台数の適正化	RO装置等が複数ある場合、RO装置等の交互運転、減量運転又は停止など運転台数の 適正化が実施されているか。	実施	1
+	5h.3	UVランプ・UV酸化器の間引き・停止	UVランプ又はUV酸化器の間引き又は停止が実施されているか。	実施無し	0
+	5h.4	製品洗浄待ち時間中のスタンバイブロー低減の実	製品洗浄待ち時間中に機能上問題ない範囲で、スタンバイブローの低減が実施されている	実施無し	0
	5h.5	施 RO装置回収率の適正化	か。 原水水質を考慮して、RO装置回収率の適正化が実施されているか。		· ·
+	50.5	RO表直回収率の過止化	际小小貞を考慮して、RO表直回収卒の過止化が美地されているか。	実施無し	0
	i.	場内輸送設備			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
+	5i.1	燃費の管理	場内輸送設備の燃費の管理が実施されているか。	実施無し	0
	6. a.	生産・プラント・特殊設備の保守管理 燃料の燃焼	※ 上水道施設、下水道施設、廃棄物処理施設は評価対象外とする。		
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	6a.1	燃焼設備の定期的な保守・点検	燃料燃焼の良好な状態を維持するために、燃焼設備の定期的な保守及び点検が実施されているか。	実施	1
					4
	b.	加熱及び冷却並びに伝熱の管理			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	6b.1	熱交換器等の定期的な付着物の除去	伝熱性能低下を防止するために、熱交換器等の煤じん、スケールその他の付着物の定期 的な除去が実施されているか。	実施	1
	L	I			4
	C.	廃熱回収			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	6c.1	廃熱回収設備の定期的な保守・点検	廃熱回収及び廃熱利用の効率を維持するために、廃熱回収設備の定期的な保守及び点 検が実施されているか。	実施	1
	L	l			<u>_</u>
	d.	断熱-保温			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	6d.1	燃焼設備・熱利用設備の定期的な保守・点検	開口部等からの熱媒体の漏えい及び空気の流出入による熱の損失を防止するために、燃 焼設備及び熱利用設備の定期的な保守及び点検が実施されているか。	実施	1
	6d.2	配管の定期的な保守・点検	税設備及び款利用設備の定期的な保守及び急険が実施されているが。 配管表面からの熱損失、漏えい等を防止するために、配管の定期的な保守及び点検が実		
0			施されているか。	実施	1
0	6d.3	燃料・製品貯蔵設備の定期的な保守・点検	熱の漏えい等を防止するために、燃料・製品貯蔵設備の定期的な保守及び点検が実施されているか。	対象設備無し	-
	e.	電動力応用設備・電気加熱設備			
	No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
0	6e.1	電動力応用設備・電気加熱設備の定期的な保守・ 点検	電気使用の良好な状態を維持するために、電動力応用設備及び電気加熱設備の定期的 な保守及び点検が実施されているか。	実施	1
	6e.2		生産プロセスにおいて、ブロワ・ファンのフィルターの清掃が定期的に実施されているか。	実施	
0		清掃		天旭	1
	f. No.	特殊空調設備 評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
	6f 1	計回換日 特殊空調設備の定期的な保守・点検	計画内容 特殊空調の良好な状態を維持するために、特殊空調設備の定期的な保守及び点検が実		
0			施されているか。	実施	1
0	6f.2	冷凍・冷蔵庫の保温管理	冷凍・冷蔵庫の保温状況の点検及び保守が実施されているか。	冷凍・冷蔵庫無し	-
	.設(5. j.	添付して提出する。 ・一次エネルギー削減量実績値が有効であると は設備仕様及び実稼動条件に基づく推計値を ・2005年度以降に導入した設備であること。	ーーー 無いもので、次の条件を満足する評価対象にしたい対策がある場合は、下欄に概要を簡潔に 認められるとき。ただし、一次エネルギー削減量実績値は、原則として計量設備により把握し1	記入した上で、関連資 た実績値とし、不明なは	
	N	计体力社	<u></u>	ー次エネルギー 削減量実績値	≣क/≖ ⊢
	No.	対策名称	対策の概要	削減量実績値 [GJ/年]	評価点
	5j.1			-	1
+					
	5j.2				1
+					
	5j.3				1
+					0
	5j.4				-
+	-				
	F' -				4
+	5j.5				

蒸気ボイラー

r																															 1			 1
		採用値 [GJ/年]	I	⇒/℃00	0																													
	用量	実測値 [GJ/年]	I	0GJ/年																														
	エネルギー使用量	推計値 [GJ/年]	I	0GJ/年	0																													
	Ĥ	負荷率	I	I																														
		年間 稼働時 間 [h/年]	Ι	Ι																														
		ホイラ効率	I	I	0.900																													
2014	1.1	熱観 熟製造量 実績 [GJ/年]	I	0GJ/h																														
最も新しい設備の設置年度	Ш 1a.1	エネルキ [゛] ー 種別	I	I	[MJ/h]ガス																													
新しい設備		定 エ ボ 港 か イ ギ 消 格 イ イ ギ 潜 ル ー 都 ル ー 雪 雪	I	4,000MJ/h	4,000.0																													
最も		也 数	I	1台																														
2014		ボ 名 一 「 と の 一 一	I	1,000kW	1,000																													
最も古い設備の設置年度		茶 本 し ー 西 一			蒸気ボイラー																													
も古い設値		穖 祀 品	の程度		B-1																													
嚼		設 生 圏	取組状況の程度	合計	2014																													
※ 凤 小 イ フ 一		管理区分	取		ユーティリティ																													
変対、		° Z			-	2	З	4	5	6	7	8	6	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

10 11 1	示 《心死 1)及 有古	П	最も古い設備の設置年度	2000	最も	いいま	最も新しい設備の設置年度	雪年度	2014													
····································				藝丸:佰 5	L L L L L				П	1b.1			_				Ϋ́Η	ルギー使	用量			
Partial condition Reserve to the condition of the c				FK() (FK)			定格巧	いキー消星		F間熱製造: [GJ/年	量実績	定格CC *17効2		≡間稼働 [h/年]	間	負荷率		笔計値	Ж.	測値	採用]値
				心 把 七	1			-				5熱源 温		熱源 温	熟瀬 冷葉	。 通 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二						電気 [MWh/年]
····································		取組状況の)程度	I	1		1		1		1							I	1	I	I	I
		合計		7,198kW		14台	1			0GJ∕h	0GJ∕h	1				-			年 14,934GJ/年	⊑ 996MWh/年	21,905GJ/年	1,402MWh/年
	1 ユーティリティ			1,582	1,324				J/h]ガス									0	14,934		14,934	
$ \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	Ч			1,582	1,291				J/h]ガス									-			6,971	
	Ч	2000		87	90	10	28.0		VJ電気					3,000	0	30		252	2	966		966
	Ч	2000		1,582		-	254.0	[k/	い電気			6.23	7	1,000	5	40		40(9			406
	5																					
	9																					
8 1	7																					
0 1	8																					
$ \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1$	6					\mid																
11 1	10																					
13 1	11																					
13 14 1	12																					
14 14 1	13																					
16 1	14																					
16 1	15																					
$ \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	16					$\left \right $		$\left \right $														
18 33 33 34 <td< td=""><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	17																					
$ \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	18																					
30 31 33 31 33 <t< td=""><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	19																					
31 32 33 34 33 33 33 33 34 34 34 34 34 34 34 35 35 35 35 35 34 34 36 36 37 34 34 34 34 34 36 36 37 37 34	20																					
23 33 33 23 23 33 23 23 33 23 23 33 23 24 34 24 24 34 25 25 34 26 26 27 27 28 28 28 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29	21																					
23 34 24 24 25 24 26 27 27 28 28 29 29 29	22				-								_									
24 24 24 1 25 25 25 1 1 1 26 26 1 1 1 1 26 1 1 1 1 1 1 26 1 1 1 1 1 1 1 27 1 <td>23</td> <td></td>	23																					
$ \begin{bmatrix} 22 \\ 26 \\ 26 \\ 26 \\ 26 \\ 26 \\ 26 \\ 26$	24																					
26 26 27 27 28 27 29 29	25																					
21 21 28 1 1 1 28 1 1 1 1 29 1 1 1 1 1 29 1 1 1 1 1 1 30 30 30 1	26																					
28 39 30 30 30 30	27																					
	28												_									
	29																					
	30																					

BILEO Name Table Table <t< th=""><th></th><th></th><th>採用値 [MWh/年]</th><th>1</th><th>Nh/年</th><th>15</th><th>4</th><th>10</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>Γ</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>T</th></t<>			採用値 [MWh/年]	1	Nh/年	15	4	10																						Γ					T
$ \left \begin{array}{c} 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 $					/年 29MV																											H			╞
管理区分 報告 ····································	吏用量			Ι																															
管理[5] ····································	ルギー(推計値 MWh/年]	I	9MWh/年	15	4	10																											
確認の 1116 <t< td=""><td>ЧÅ</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>0.30</td><td>0.40</td><td>0.50</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	ЧÅ			1		0.30	0.40	0.50																											
管理区分 機構 機構 (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) <th< td=""><td></td><td>1</td><td></td><td> </td><td>1</td><td>000</td><td>000</td><td>000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td></th<>		1			1	000	000	000																											-
管理区分 撮影	0.16			%0	JkW	ĉ	4	4																						╞			-		-
管理区分 破點 ····································	II 1b	心力	奉 · タ プのイバ部	%0																															
管理区分 機器 機器名称 記号 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用		ŗ	4 高効 (IE2 モー																																1
管理区分 機器 機器名称 記号 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用 加引用		数水ポン	プレミアノ 効率 (IE3) モーク																																
管理区分 設計 設計 記号 記号 記号 記号 記号 記号 記号 記号 記号 記号 記号 記号 記号		-Hmr	米 (IPM) (IPM) ターキ	%0																															
伊達 Regent 3 (km) 「11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	.7		高効率 (IE2) モータ	%0	0.0kW																														
	П 1k	Ī	「ミアム」 効率 (IE3) ビータ	%0	0.0kW																														-
管理区分 競響 酸語 酸語 酸語 酸語 酸語 酸語 酸語 酸語 酸語 酸語		アン		%0																															-
管理区分 機器 機器 活用 11.14.4 管理区分 記号 記号 予約 7.21.4 記号 記号 活用 7.21.4 7.7.7 約.7.1.2 取相状況の程度 こ 二 二 1.14.4 2.7.7 約.7.13.4 第 1.14.4 2.7.7 約.7.13.4 第 1.14.4 2.7.7 約.7.13.4 1.15.4 1.14.7 1.11.7 0.00 1.15.4 1.14.7 1.11.7 0.01 1.15.4 1.14.7 1.11.7 0.01 1.15.4 1.15.14 1.15.14 1.11.7 1.15.4 1.14.7 1.11.7 0.01 1.15.4 1.15.14 1.15.14 1.11.7 1.15.4 1.15.14 1.11.7 0.01 1.15.4 1.15.14 1.15.14 0.01 1.15.4 1.15.14 1.15.14 1.11.4 1.15.4 1.15.14 1.15.14 0.01 1.15.4 1.15.14 1.15.14 1.11.15 1.15.4 1.15.14 1.15.14 0.01 1.15.4 1.15.11 1.1 0.01 1.15.4 1.15.11 1.1 0.01 1.15.4 1.1 1.1 0.01 1.15.4 1.1 1.1 0.01 1.15.4 1.1 1.1 0.01 1.15.4 1.1 1.1 0.01 1.15.4 1.1 1.1 0.01 1.15.4 1.1 1.1 0.01 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td>%0</td> <td></td> <td> </td> <td></td> <td>_</td>				%0																															_
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ <		-		83%		0	0																												_
管理区分 機器 機器名称 白鹿 浴油 日本 「 」 「 「	b.4	控	ン台御発御	%0																												\square			-
管理区分 機器 機器 機器 管理 予払 前号 機器 機器 予払 前号 第 第 第 第 第 第 11 11 1 1 1 1 11 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 1 11 1 1 1 1 1 11 1 1 1 1 1 11 1 1 1 1 1 11 1 1 1 1 1 11 1 1 1 1 1 11 1 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 1 1 1 1 11 </td <td>п1</td> <td>も</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>с С</td> <td>+</td> <td>-</td> <td></td> <td>-</td>	п1	も				с С	+	-																											-
	[۷																																		-
「 」 「 「 「 「 」 「 「 「 」 「 「 」 「 「 」 「 「 」 「 「 」 「 」 「 「 」 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 「 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 』 」 』 』 』 』 』 』 』 』 』 』	出力[k/		載れ																																
・ ・ ・ </td <td>電動機</td> <td></td> <td>しょう</td> <td>I</td> <td>22.4kV</td> <td>5.5</td> <td>2.2</td> <td>3.7</td> <td></td>	電動機		しょう	I	22.4kV	5.5	2.2	3.7																											
・ ・ ・ </td <td></td> <td>u+ √,</td> <td>が能」 あり (M)</td> <td>Ι</td> <td>1,248.2kW</td> <td>,942.5</td> <td>,056.6</td> <td>364.0</td> <td></td>		u+ √,	が能」 あり (M)	Ι	1,248.2kW	,942.5	,056.6	364.0																											
・ Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonce Backsonc			百 王 形	1	1.0kW		2																												
● 単田 11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1			<u> </u>			幾用																											-		_
			路名称			小油子	凍機用	セス用																											
			穖	鹿		直焚吸収	マーボル	主産プロ																											
			業号	k沢の程	合計	-1~3 <u>∎</u>			<u> </u>																										-
				取組力				CT-																						\vdash					_
			弯理区 5			ーティリラ	ーティリう	1工場																											
ž			o N N				2 1-		4	5	9	7	8	6	10	=	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	i

冷却塔

က

$\mathcal{O}4$		
3		
美所)		
事業		
区分		
第二		
× (1		
デイ		
ザイド		
見たう		
の認		
業所		
		
公対使		
暖化		
球温		
包地		L
特词		
優良	Ĵ	
	熱源ポンプ	L
第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所	熱源	
第2		

				/年	Ū	e C	0	œ	o	0													T		1									
		採用(i [MWh/4		E 1,396MWh/年	495	333	220	148	200																									
		推計值 実測値 探用値 [MWh/年] [MWh/年]	I	1,302MWh/年 200MWh/年					200																									
エネルギー使用量				1,302MWh/年	495	333	220	148	106	0																							_	
Η		負荷率	Ι	I	1.00	1.00	1.00	1.00	0.40																									
		年漆時 「h/u] [年]	Ι	I	3,000	3,000	4,000	4,000	4,000																									
Π1b.22		熱ポの圧定減、シェク圧定減、シェク圧定 源ン送力制次プ水設御	0%	0.0kW																														
Π 1b.13		熱ポの差源シ末圧御 源シ末圧御 次プ端制	%0	0.0kW																														
II 1b.12	冷却水ポ	ン数であり、シン数で、シン数で、アイレンが、アンドンで、アンクシンを、して、アンクを、して、アンク、アンク、シング、ビ湾、田田、	%0	0.0kW																														
II 1b.11	熱源1次	ポンプの する かした た し し し し し の の の の の の の の の の で た ろ ろ を ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ	%0	0.0kW																														
		高効率 (IE2) モータ	100%	479.0kW	0	0	0	0	0	0																								
II 1b.8	_	7°Lミアム 効率 (IE3) モータ	%0	0.0kW																														
		米 石 (IPM) モータ	%0	0.0kW																														
П 1b.6	熱源2次	ポのポージンで、10%であります。 10%での、10%での、10%での、10%での、10%での、10%である。	100%	111.0kW					0	0																								
II 1b.5	熱源2次	ポシー あるない の が し い の で い の で い で い で た ろ の で た ろ な ろ ろ ひ ろ ろ ひ ろ ろ ろ ひ ろ ろ ひ ろ ろ ひ ろ う ひ ろ う の ろ ろ う ろ う ひ ろ う ひ う ろ う の ひ う の ろ つ の ろ つ の ろ う の つ う の う の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ	100%	111.0kW					0	0																								
I		句 数	Ι	14台	З	3	1	1	3	С																								
No.1		置 田 ち ろ ろ ろ	Ι	220.0kW 479.0kW	55.0	37.0	55.0	37.0	22.0	15.0																								
No.4		あある	Ι		0		0																											
No.3	種別	熱・ポーズ、次ノン	Ι	111.0kW 148.0kW		0		0																										
No.2		熱。 次、ポンプ	I	111.0kW					0	0																								
		機器名称	0程度	-	直焚吸収冷温水機用冷却水ポンプ	PC-RH-1-3 直焚吸収冷温水機用冷水ポンプ	ユーティリティ PCD-TR-1 ターボ冷凍機用冷却水ポンプ	ユーティリティ PC-TR-1 ターボ冷凍機用冷水ポンプ	ユーティリティ PC-2-1~3 冷水2次ポンプ	ユーティリティ PH-2-1~3 温水水2次ポンプ																								
		機器記号	取組状況の程度	合計	PCD-RH-1-3	C-RH-1-3	CD-TR-1	PC-TR-1	C-2-1~3	H-2-1~3	_													_	_	_							_	-
		管理区分	4		ユーティリティ P	ユーティリティ P	ユーティリティ F	ユーティリティ F	ユーティリティ F	ユーティリティ F																								
		Ž			-	5	0 3	4	2	9	7	8	6	10	1	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

変圧器

		画任		年	32	53	4	11																										
		採用値 [MWh/年]	Ι	98MWh/年																														
	用量	実測値 [MWh/年]	I	0MWh/年																														
	エネルギー使用量	推計値 [MWh/年]	I	98MWh/年	32	53	4	11																										
	Ĥ	損失率	I	I	0.004	0.004	0.004	0.004																										
		年間 稼働時間 [h/年]	I	I	8,760	8,760	8,760	8,760																										
		トップラン ナー 変圧器	14%	400kVA			0	0																										
	<u>П</u> 1d.1	トップラン ナー 変圧器 2014	32%	900kVA	0																													
		超高効率 変圧器	54%	1,500kVA		0																												
		也 数	I	8台	3	3	1	1																										
0.0%		定 容量 [kVA]	1	2,800kVA	300	500	100	300																										
疫備の割合		600Vを超 え7,000V 以下	I	2,800kVA	0	0	0	0																										
2000 2008年度以降設置の設備の割合	[V]	2次側	I	I	210-105	210	210-105	210																										
2008年度じ	電圧[V]	1次側	I	I	6,600																													
2000		相	I	I	1 Ø 3W	3 ¢ 3W	1 Ø 3W	3 ¢ 3W																										
最も古い設備の設置年度		用途	度		一般電灯	一般動力		2000 非常保安動力																										
きも古い		設 街 倒	取組状況の程度	合計	2000	2000	2000	2000																										
		管理区分	取組制		ユーティリティ	ユーティリティ	ユーティリティ	ユーティリティ																										
炎江谷		No				2	ŝ	4	5	9	7	8	6	10	1	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

വ

		値 街		h/年	480	375	Τ			Τ																							
		採用値 [MWh/年]		: 855MW																													
	吏用量	実測値 [MWh/年]	I	855MWh/年 0MWh/年 855MWh/年																													
	エネルギー使用量	推計値 [MWh/年]	I	855MWh/年	480	375																											
	н	負荷率	1	I	0.40	0.50																											
		年嫁時 [h/記] [年]	1	I	4,000	3,000																											
	e.2	^制 御 中出圧 力制鎖	%0	0.0kW																													
	II 1e.2	合数制御 末端圧 力制御 力制	100%	550.0kW	0	0																											
		祾田 御御 御御	%0	0.0kW																													
		田 市 一人 一一 一 一 一 本 本 一 本 一 方 一 一 一 一 一 一 一 一 一	%0	0.0kW																													
		増風 一 一 に	%0	0.0kW																													
		インパータ 制御 冷却ファン	%0	0.0kW																													
	П 1е.1	2段圧縮 方式	%0	0.0kW																													
0.0%		高効率 (IE2) モータ	%0	0.0kW																													
備の割合		プレミアム 効率 (IE3) モータ	%0	0.0kW																													
設置の設け		米久 石 (IPM) モータ	%0	0.0kW																													
2013年度以降設置の設備の割合		インバータ制御	55%	300.0kW	0																												
		白数		2台	-	-																											
2000		圧電 縮動 想 教 様 教	I	550.0kW	300.0	250.0																											
最も古い設備の設置年度		機器名称	14.57		エアコンプレッサー1	エアコンプレッサー2																											
きも古い		耧 記 品	取組状況の程度	습計																													
]		設年置度	文組状沙	⊲□	2000 C-1	2000 C-2																											
エアコプレー		管理区分	ET .		ユーティリティ	ユーティリティ																											
Η		No			-		ო	4	5	i Q	ø	6	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

給水·排水処理設備

		排水処理 設備 採用値 [MWh/年]	Ι	434MWh/年			385	48																										
		給水設備 設備 採用値 [MWh/年]	I	53MWh/年	13	39																												
エネルギー使用量		実測値 [MWh/年]	1	0MWh/年																														
エネル		推計値 [MWh/年]	1	486MWh/年	13	39	385	48																										
		負荷率	1	I	0.10	0.30	1.00	1.00																										
		年漆時 ^{と]} 間働間年	1	I	8,760	8,760	8,760	8,760																										
	・ブロワ	高効率 (IE2) モータ	89%	44.0kW			0																											
Π1f.2	排水処理用ポンプ・ブロワ	プレミアム 効率 (IE3) モータ	%0	0.0kW																														
	排水処理	米 協力 (IPM) オータ	0%	0.0kW																														
		高効率 (IE2) モータ	1	15.0kW		0																												
E	給水ポンプ	プ いミアム 効率 (IE3) モータ	1	0.0kW																														
П 1f.1	彩	永 弦 (IPM) ター	1	0.0kW																														
	推定末	端一が御 王をであって 王か制。ホニー	100%	15.0kW		0																												
	<u>. </u>	也 教	I	12台	2	1	8	1																										
		電動機 出力 [FW]	Ι	79.5kW	7.5	15.0	5.5	5.5																										
I		# む で し り ・ フ	I	49.5kW			0	0																										
I	種別	場 ポ 水 プ	1	15.0kW	0																													
I		加給ポユ 正水ンニ ブハ	I	15.0kW		0																												
		機器名称	程度		揚水ポンプ	給水ポンプユニット	排水処理ポンプ	排水処理ブロワ																										
		慭記 瑞	取組状況の程度	合計	PW-1	PW-2	PD-1	BD-1																										
		管理区分	取糺		ユーティリティ	ユーティリティ	ユーティリティ	ユーティリティ																										
		Ž			-	2	ŝ	4	5	9	7	8	6	10	1	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

 \sim

パッケージ形空調機その1

<u> </u>		· · · · · ·	<u>_0</u>	<u> </u>	-	-		-	-	i	i —	-	i –	-	i –	-	1	-	-	.	i	i	-	-	-		-	i	i —	i —	-	 i	i —	<u> </u>
		暦 秋の あり で で で	100%	625.0kM	0	0	0																											
	設置方法	 	52%	325.0kW 625.0kW	0	0																												
		問 「 加 「 加 一 の の の の し に 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	<24m	1		<60m	<30m																											
II 2a.1		高効率 高効率 冷媒 (R410A)(84%	525.0kW	0		0																											
Π	цe	イ シー 数 御 路 部 に に に で	84%	525.0kW 52	0		0																											
	高効率機器		%0	0.0kW 525		3.63																										$\left - \right $		
	回小	→ 小 の の の P	%0			3																												
		通本 ギ費 年ネー教 エノー効 HA	0	0.0kW																														
条		牲st ೫調⊞	I	0.0kW 300.0kW			0																											
使用用途		厨房用	Ι																															
		一 空 観 謂 用	Ι	325.0kW	0	0																												
		也 数	I	9台	З	2	4																											
		感 「Kw] 「W]	I	690.0kM	86.0	56.0	80.0																											
	□々	^{记,5} 能力 [kW]	I	0.0kW 625.0kW 690.0kW	75.0	50.0	75.0																											
		電 田 田	I	0.0kW																														
	カ゛スエン	ジンピート ホンプ ゴ GHP GHP	I	0.0kW																														
種別		電気式 EHP	I	0.0kW 325.0kW	0	0																												
		水熱源	1	0.0kW																														
		鈬蔡 谖	1	625.0kW	0	0	0																											
		機器名称			工場スポットPAC	事務室PAC	クリーンルームPAC																											
		耧記 玷	取組状況の程度	습計	2000 PAC-1	2014 PAC-2	2000 PAC-3																											
		設年	取組北		2000	2014	2000																											
		管理区分			第1工場	事務棟	第1工場																											
		No			-	2	3	4	5	9	7	8	6	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

ω

パッケージ形空調機その2

											エネル	エネルギー使用量							
			·	定格エネルギー 消費量 [kW]	ルギー [kW]	年間稼働時間 [h/年]	ὑ時間 ⊡	負荷率		推計値	値	実測値	値	一般空調用 採用値	≘調用 ∃値	厨房用 採用値	専用 司値	特殊空調用 採用値	調用 I値
No	管理区分	機器記号	機器名称	影	暖房	影	暖房	影	暖。	燃料•熱 [GJ/年] [電気 [MWh/年]	燃料·熱 [GJ/年] [電気 [MWh/年]	燃料•熱 [GJ/年]	電気 [MWh/年]	燃料•熱 [GJ/年]	電気 [MWh/年]	燃料•熱 [GJ/年]	電気 [MWh/年]
11	日	取組状況の程度	度	1									1	1		1		1	I
1		습計		I	1	1	1	I	1	0GJ/年 5	573MWh/年	0GJ/年	0MWh/年	0GJ/年	123MWh/年	0GJ/年	0MWh/年	0GJ/年 1	450MWh/年
-	第1工場	PAC-1	工場スポットPAC	21.0	21.0	3,000	1,000	0.40	0.30		95				95				
2	事務棟	PAC-2	事務室PAC	13.0	13.0	2,000	1,000	0.40	0.30		29				29				
e	第1工場	PAC-3	ケリーンルームPAC	21.0	21.0	8,760	1,000	0.60	0.10		450								450
4																			
5							·												
6																			
_												<u> </u>							
ω																			
6																			
10																			
11																			
12							·												
13	_																		
14												<u> </u>							
15																			
16							·												
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			
23																			
24																			
25																			
26							·												
27																			
28																			
30																			

2a.17	機」運	%0	0.0kW																														
П	空間の火転御護の火転御運	%																															
<u></u> 14 П. 2а. 14	大 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	%0	0.0																														
П 2а.6	石 いく の の を し で く ス 子 で	58%	7.5kW	0																													
	楕熱 氏交器 管換	%0	0.0kW																														
	高効率 (IE2) モータ	35%	13.0kW	0	0																												
2a.3	プレミアム 効率 (IE3) モータ	%0	0.0kW																														
Π 2	ネ カ (IPM) モータ	%0	0.0kW																														
	モ恒フレ結トタ形シン	20%	7.5kW	0																													
	J し プ デ 、 ノ ア 、	20%	7.5kW	0																													
	レッシュ レンゴ 田 人	1	5.5kW		0							0																					
	ファフ シーマ フィア フィーマー レー	I	10.8kW				0					0																					
使用用途	特 空調用	1	16.3kW		0		0																										
	厨房用	I	7.5kW			0																											
	一 般 理調用	I	13.0kW	0				0																									
	白数	I	58台	-		-	54	-																									
	フ體 国内 シ織ち 切機	1	36.8kW	7.5	5.5	7.5	0.2	5.5																									
	で [w]	I	222.0kW	86.0	56.0	80.0																											
	作 能 以 よ	I	200.0kW 222.0kW	75.0	50.0	75.0																											
	機器名称	度		工場空調機	クリーンルーム空調機	厨房外調機	クリーンルームFFU	全熱交換器																									
	機器記号	取組状況の程度	습計	AHU-1	AHU-2	OHU-1	FFU-1	AHEX-1																									
	管理区分	取					mlß	事務棟																									
	No			-	2	ς Υ	4	5	9	7	8	6	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

空調機その1

空調機その2

									エネ/	エネルギー使用量	重臣						
			年間稼働時間 [h/年]	動時間 ^[1]		負荷率		推計値	値	実測値	帅值	一般空調用 採用値	≘調用 ∃値	厨房外調機 採用値	ト調機 月値	特殊空調用 採用値	調用 値
	機器記号	機器名称	医	暖	影	暖	レイト [熟 [GJ/年]	電気 [MWh/年]	熱 [GJ/年]	電気 [MWh/年]	熬 [GJ/年]	₩د	熱 [GJ/年]	· · Æ	熱 [GJ/年]	電気 [MWh/年]
	取組状況の程度	速	1	1	1	1	1	1	1	1	I	1		I	1	1	I
	合計		1	I	I	I	-	1,580GJ/年 164MWh/年	164MWh/年	0GJ/年	0MWh/年	0GJ/年 0MWh/年 386GJ/年 37MWh/年	37MWh/年	248GJ/年	248GJ/年 23MWh/年 946GJ/年		105MWh/年
	AHU-1	工場空調機	3,000	1,000	0.40	0.20	0.50	386	15			386	15				
I T	AHU-2	クリーンルーム空調機	8,760				0.60	946	29							946	29
	OHU-1	厨房外調機	2,000	1,000	0.30	0.30	1.00	248	23					248	23		ſ
	PFU-1 AHEX-1	クリーンルームFFU 全熱で梅器	8,760 3.000	1.000			0.80		22				22				/0
1																	T
1																	
ı																	
								L									
_																	
1																	
1								<u> </u>									
1																	
								L									
								<u> </u>									
				<u> </u>		<u> </u>											
								<u> </u>									
1																	
- 1																	

空調・換気用ファン

博理区分 機器 読号 読書 読号 語								Π2	2a.4			H	エネルギー使用量	重用	
取組状況の程度	No		裭 祀 马	機器名称	電動機 出力 [^[W]]	中数			プレミアム 効率 (IE3) モータ		年間 稼働時間 [h/年]	負荷率	推計値 [MWh/年]	実測値 [MWh/年]	採用値 [MWh/年]
第11番 合計 105 0.0M 0.0M 0.0M 75 0.0M - - 22000.45 2000.45	11		取組状況	の程度	I		%0	%0	%0	71%	1	-	I	I	I
第114編 [5-1] 工場約5(77) 75 2 4000 100 60 70 3-11134 [F:1] 工場約5(77) 75 2 0 0 100 <			₩	+	105.0kW	11台	0.0kW	0.0	0.0kW	75.0kW		1		99MWh/年	429MWh/年
第114編 E-1 1948年ダンジン 150 3 100 <t< td=""><td>1</td><td>第1工場</td><td>FS-1</td><td>工場給気ファン</td><td>7.5</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4,000</td><td>1.00</td><td>60</td><td></td><td>60</td></t<>	1	第1工場	FS-1	工場給気ファン	7.5	2					4,000	1.00	60		60
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2	第1工場	FE-1	工場排気ファン	15.0	3				0	4,000	1.00	180		180
兼務権 E:3< 防原係約77-7 75 2 0 3.00 1.00 45 第114編 FE-4 グリーンリレーム検約77-7 7.5 2 0 8,700 0.70 92 9 第114編 FE-4 グリーンリレーム検約77-7 7.5 2 0 8,700 0.70 92 9 第114編 FE-4 グリーンリレーム検約77-7 7.5 2 0 8,700 0.70 97 9 第114編 FE-4 グリーンリレーム検約77-7 7.5 7	3	(ルーテー エ	FE-2	機械室排気ファン	7.5	2					3,000	1.00	45		45
第11場 E4 D1-D1-D1# B3 B3 B3 B3 B3 第11場 1 <td>4</td> <td>事務棟</td> <td>FE-3</td> <td>厨房排気ファン</td> <td>7.5</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>3,000</td> <td>1.00</td> <td>45</td> <td></td> <td>45</td>	4	事務棟	FE-3	厨房排気ファン	7.5	2				0	3,000	1.00	45		45
	10	第1工場	FE-4		7.5	2				0	8,760	0.70	92	66	66
	9														
	\sim														
	0														
	0														
	+														
	10														
	6														
	8														
	9														
	0														
	+														
	10														
	(0														
	7														
	\sim														
	9														
	0														

E013	
業所));	
医分事	
(第二区分	
ドライン	
~	
所の認定ガー	
策事業	
援化対	
地球温	
亡(優良特定地球温	
試(優.	
第2号様过	
dim/	l

照明器具

			c		1 会 本 た い		TT 7D.1					エイントーマ王	重し	
管理区分	器 神 子	室名称等	し いかし 数 数	1 台あたり の灯数	の 第 初 で で で の に で の に の に の に の に の に の に の に	ণ 数	主たるランプ種類	高 ラ 率 プ	高反射 率板	年間 点灯時間 [h/年]	負荷率	推計値 [MWh/年]	実測値 [MWh/年]	採用値 [MWh/年]
取組北	取組状況の程度	度	1	1	I		1	966	%0					I
	合計		Ι	I	375.1 kW	6,400台	1	370.6kW	0.0kW	I	I	1,082MWh/年	0MWh/年	0MWh/年 1,082MWh/年
1 第1工場	a1	工場	32	2	64	3,000	直管形蛍光ランプHf(FHF,FHC)	1.0		4,000	0.80	614		614
E C	al	事務室	32	2	64	2,000		1.0		3,000	0.80	307		307
3 事務棟	b1	便所	9	1	9	100		1.0		3,000	0.70	1		1
	c1	廊下	15	1	15	300				3,000	0.70	6		6
5 第1工場	d1	工場	50	1	50	1,000	メタルハライドランプ	1.0		3,000	1.00	150		150

昇降機

						<u> </u>	П 2d.2	<u>П</u> 2d.3	<u>П</u> 2d.4		H	エネルギー使用量	壃	
No	管理区分	吊機名	電動機 出力 [kw]	中数	<u>コレベーターが</u> 複数台設 置してある 箇所	VVVF 制御方式	群 制御 御	かご内の照 明、ファン 等の不使 用時停止 制御	電力回生 制御	年間 稼働時間 [h/年]	負荷率	推計値 [MWh/年]	実測値 [MWh/年]	採用値 [MWh/年]
	取組わ	取組状況の程度	I	I		1 00%	1 00%	75%	60%	I	I	I	I	I
		合計	37.5kW	4台	22.5kW	37.5kW	22.5kW	3台	22.5kW	I	I	164MWh/年	20MWh/年	119MWh/年
1	事務棟	1~3号機	7.5	3	0	0	0	0	0	8,760	0.50	66		66
2	第1工場	4号機	15.0	1		0				8,760	0.50	66	20	20
3														
4														
2														
9														
7														
8														
6														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														